

市民アンケート報告書 (重点政策・施策評価)

平成 21 年（2009 年） 7 月
横須賀市都市政策研究所

報告書の見方

●報告書の中の集計表は、以下のように処理している。

＊ 回答率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が 100%とならない場合がある。

＊ D.I 値について

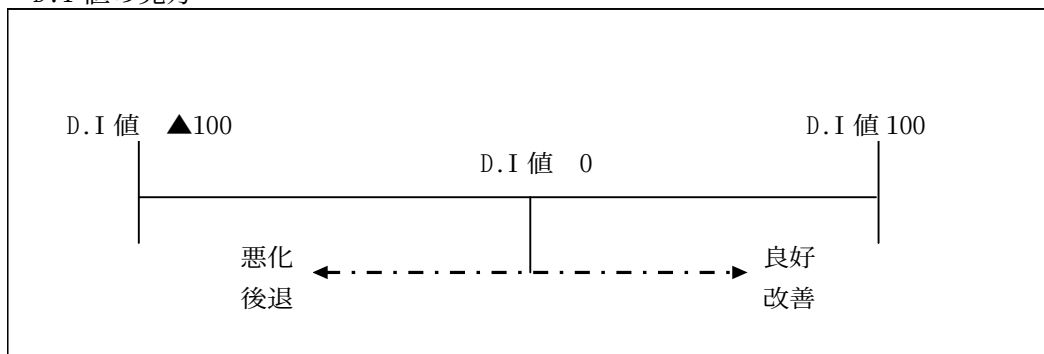
今回、アンケートの設問に対する回答者の傾向を観察するため、「D. I 値」（ディフュージョンインデックス 景気動向指数 / 拡散指数）を利用している。

D.I 値とは、「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して得られた指数をいう。－100 から＋100 の間を取る。

設問のうち、「現在について」は、D.I 値＝（「思う」＋「やや思う」）－（「あまり思わない」＋「思わない」）の回答数割合（％）により算出し、「以前との比較」については、（「よくなっている」＋「どちらかというよくなっている」）－（「どちらかという悪くなっている」＋「悪くなっている」）の回答数割合（％）により算出している。

D.I 値がプラスにあれば、設問に対して良好または改善の傾向、マイナスであれば悪化・後退の傾向という見方をしている。

D.I 値の見方



＊ 平均スコア

現在については、「① 思う」＋2点「② やや思う」＋1点「③ どちらともいえない」0点「④ あまり思わない」－1点「⑤ 思わない」－2点とし、以前との比較については「① よくなっている」＋2点「② どちらかというよくなっている」＋1点「③ どちらともいえない」0点「④ どちらかという悪くなっている」－1点「⑤ 悪くなっている」－2点として、各回答数を乗じた数値の合計を、総回答数で除して数値化している。

すべての回答者が③を選択した場合、平均スコアは0となる。

目 次

I	調査目的および実施方法等	1
1	調査目的	1
2	調査項目	1
3	調査項目と新世紀ビジョンの対応関係	1
4	調査対象および回収数	2
5	実施方法	2
6	実施時期	2
7	調査の企画・分析	2
II	調査結果の概要	3
III	集計結果	6
1	新世紀ビジョンに掲げた将来像と施策の方向性について（問1～12）	6
2	『元気な横須賀』（新世紀ビジョンの目標）について（問13）	48
3	優先して取り組むべき課題について（問14）	56
4	自由記述について	61
5	基本的な属性	63
(参考資料)		
	回答の理由欄の分類	66
	新世紀ビジョン市民アンケート質問・回答用紙	94
	新世紀ビジョン市民アンケート参考資料	112

I 調査目的および実施方法等

1 調査目的

- (1) 新世紀ビジョンの目標である「元気な横須賀」や、ビジョンに掲げた将来像について、市民の実感を把握し、今後の政策・施策の改善に活用する。
- (2) 重点政策・施策評価に活用する。

2 調査項目

問1～12 新世紀ビジョンに掲げた将来像、施策の方向性について 問13 『元気な横須賀』（新世紀ビジョンの目標）について 問14 優先して取り組むべき課題について 自由記述欄	<基本的な属性> F 1 性別 F 2 年齢 F 3 居住地域 F 4 職業 F 5 世帯の状況
---	---

3 調査項目と新世紀ビジョンの対応関係

アンケートの調査項目のうち、問1～問12は、新世紀ビジョンに掲げた4つの将来像および、将来像を実現するための施策の方向性に対応している。各将来像・施策の方向性と設問の対応は以下の通りである。

問13は、新世紀ビジョンの目標である『元気な横須賀』についての設問であり、新世紀ビジョンの実現に関する総合的な満足度を尋ねる項目となっている。

図表（I）1-1 調査項目と新世紀ビジョンの対応関係

将来像		対応する設問	施策の方向性		対応する設問
1 にぎわいを生む社会		問3	1-1 多くの人が訪れるまち横須賀		問1
			1-2 多くの人が働くことができるまち横須賀		問2
2 新しい芽が伸びゆく社会		問6	2-1 子育て世代に選ばれるまち横須賀		問4
			2-2 学びを大切にするまち横須賀		問5
3 長寿を楽しめる社会		問9	3-1 高齢者が活躍するまち横須賀		問7
			3-2 障害を感じさせないまち横須賀		問8
4 安全で安心して暮らせる社会		問12	4-1 犯罪がないまち横須賀		問10
			4-2 災害に備えのあるまち横須賀		問11

4 調査対象および回収数

調査対象：横須賀市に在住の 15 歳以上（4 月 1 日現在）の市民 2,000 人
（住民基本台帳から無作為抽出）

回収数	回収率
892 件	44.6 %

5 実施方法

郵送による発送・回収

なお、回答者が現状について理解しやすいよう、調査票には将来像の数値目標の動きを示した。

また、新世紀ビジョンの内容や市の取り組みを理解してもらうため、参考資料を同封した。

6 実施時期

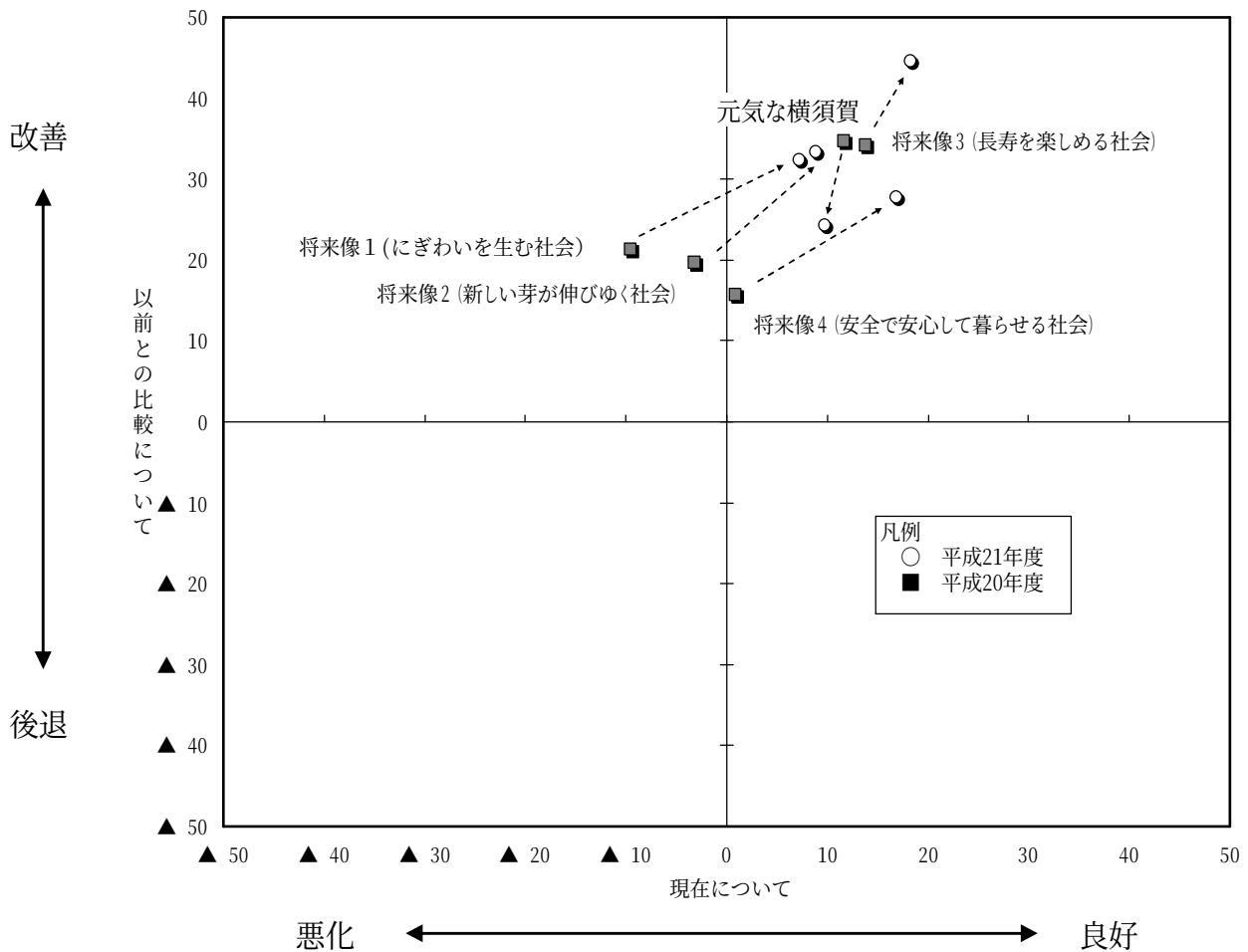
平成 21 年（2009 年）4 月 24 日 ～ 5 月 15 日

7 調査の企画・分析

横須賀市都市政策研究所

Ⅱ 調査結果の概要

- (1) D.I 値でみた、「元気な横須賀」と「将来像」の状況 (散布図)
 (「現在について」と「以前との比較」及び前年比 図表(Ⅱ) 1-1)



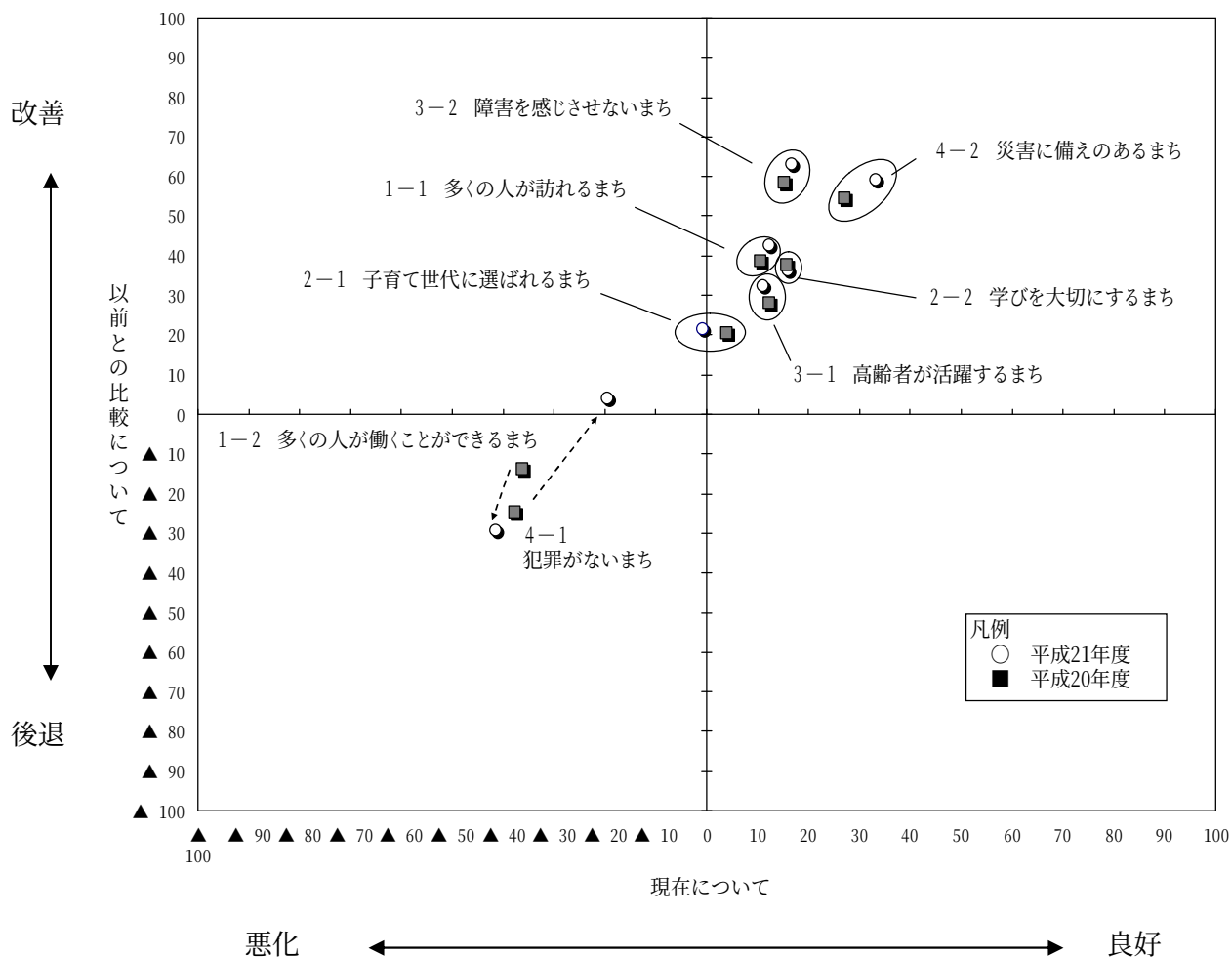
☆「元気な横須賀」に対する市民の実感は、「現在について」また、「以前との比較」においても良好な傾向を示している。一方、前年度との比較では、若干、後退の傾向が見られる。

☆各将来像に対する実感については、「現在について」、「以前との比較」とも、すべて良好な傾向を示している。また、前年度比も良好な傾向が見られる。

☆特に、「現在について」、前年度では悪化の傾向が見られた将来像 1 (にぎわいのある社会) と将来像 2 (若い芽が伸びゆく社会) は、良好な傾向へと反転している。

(2) D.I 値でみた、「施策の方向性別」の状況 (散布図)

(「現在について」と「以前との比較」及び前年比 図表(Ⅱ) 1-2)

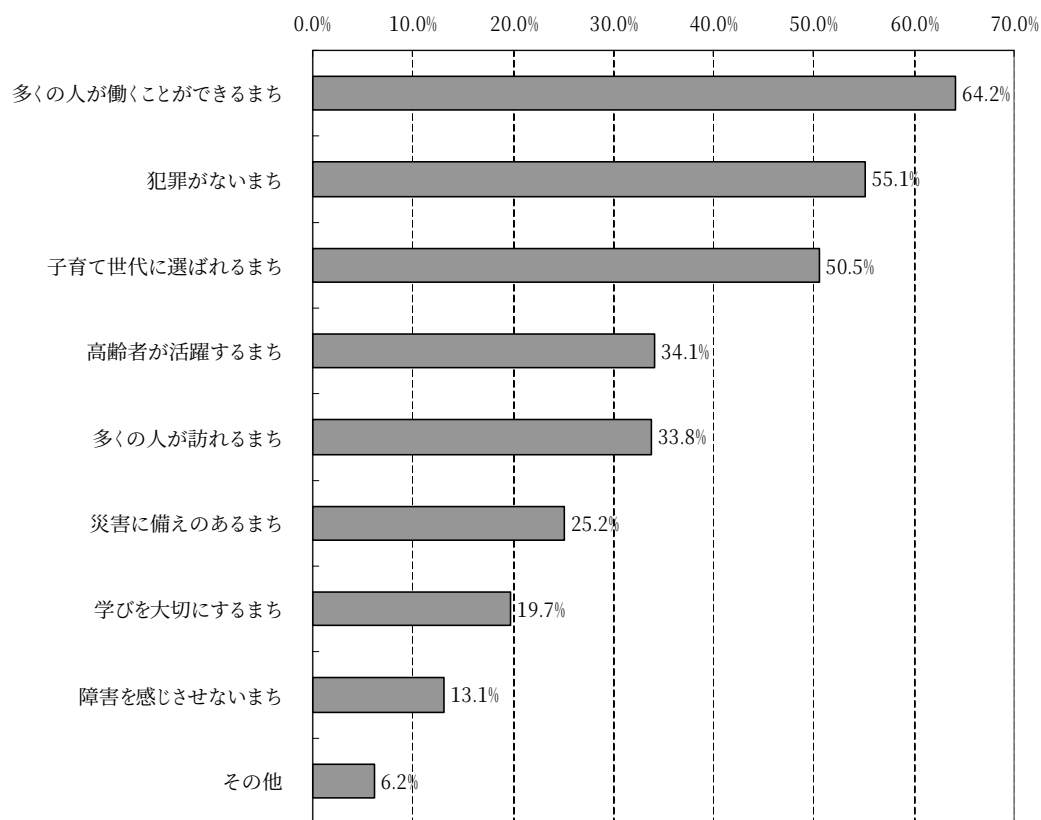


☆ 施策の方向性の多くが、「現在について」良好、「以前との比較」でも改善の傾向が示されている。また、前年度との比較でも良好な状況にある。

☆ 特に、「4-1 犯罪のないまち」は、良好な状況とは言えないものの、「現在について」及び「以前との比較」、前年度比、いずれにおいても、大きな改善の傾向が見られる。

☆ 一方、「1-2 多くの人が働くことができるまち」は、「現在について」、「以前との比較」、また前年度比のすべてで、悪化、後退の傾向が見られる。また、「2-1 子育て世代に選ばれるまち」は、「現在について」と前年度比で、若干、悪化の傾向が見られる。

(3) 施策の方向性別の優先度（3つの施策を選択回答）（図表（Ⅱ）1-3）



(図表（Ⅱ）1-4 今年度及び前年度との比較)

	施策の方向性	回答割合 (%)			前年との比較	
		21 年度	20 年度	前年差	順位	傾向
1	多くの人が働くことができるまち	64.2	57.4	6.8	2 位	↑
2	犯罪がないまち	55.1	62.3	▲7.2	1 位	↓
3	子育て世代に選ばれるまち	50.5	49.4	1.1	3 位	→
4	高齢者が活躍するまち	34.1	33.6	0.5	4 位	→
5	多くの人が訪れるまち	33.8	27.7	6.1	6 位	↑
6	災害に備えのあるまち	25.2	30.3	▲5.1	5 位	↓
7	学びを大切にするまち	19.7	18.9	0.8	7 位	→
8	障害を感じさせないまち	13.1	13.7	▲0.6	8 位	→
9	その他	6.2	7.1	▲0.9	9 位	→

注) その他には、市への個別、具体的な要望等が多く含まれている。

III 集計結果

1 新世紀ビジョンに掲げた将来像と施策の方向性について（問1～12）

新世紀ビジョン市民アンケートでは、4つの将来像と将来像を実現するための施策の方向性の状況について、以下のとおり設問している。

- (1) 現在の状況が将来像や施策の方向性の状態である・になっていると
「①思う」「② やや思う」「③どちらともいえない」「④ あまり思わない」「⑤思わない」の5段階で、
- (2) 以前と比較して将来像や施策の方向性の目指す状態に向かって
「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」「③どちらともいえない」「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」の5段階で、

また、それぞれに「⑥わからない」を設定し市民の実感を尋ねている。

以下、集計結果の概要は、

- 〔「①思う」＋「② やや思う」
「①よくなっている」＋「②どちらかというよくなっている」→プラスの回答割合
- 〔「④ あまり思わない」＋「⑤思わない」
「④どちらかという悪くなっている」＋「⑤悪くなっている」→マイナスの回答割合

プラスの回答割合－マイナスの回答割合＝D.I 値 として記述している。

※D.I 値がプラスであれば、将来像、施策の方向性が、良好、改善の傾向、マイナスであれば、悪化、後退の傾向といえる。

(1) 施策の方向性（現在の状況） 図表 (III) 1-1 参照

①プラスの回答割合（「①思う」＋「② やや思う」）

プラス値が最も高いのは、「災害に備えのあるまち(54.2%)」、次いで「障害を感じさせないまち(46.5%)」「多くの人が訪れるまち(46.1%)」という結果で、全体的にもみても 30%を超えているものが多い。一方「多くの人が働くことができるまち」は、プラス値が最も低く 16.1%で、最も高い値を示した「災害に備えのあるまち」とでは 30 ポイント以上の差がある。

②マイナスの回答割合（「④ あまり思わない」＋「⑤思わない」）

「多くの人が働くことができるまち(57.5%)」が最も高く、「犯罪がないまち(47.7%)」とともに非常に厳しい評価になっている。それ以外の項目については 20%～30%台の値を示している。

③D.I 値（プラスの回答割合－マイナスの回答割合）

8つの施策の方向性のうち D.I 値がプラスの項目は5項目。最も高い D.I 値を示したのは「災害に備えのあるまち」で 33.3 ポイントであった。

一方、マイナスを示した3項目のうち、「多くの人が働くことができるまち」が▲41.4 ポイントと突出した値を示している。

（２）将来像（現在の状況） 図表（Ⅲ） 1－1 参照

①プラスの回答割合（「①思う」＋「② やや思う」）

プラス値が最も高いのは、「長寿を楽しめる社会」の 44.3%であるが、4つの将来像の回答傾向に大きな差は見られない。

②マイナスの回答割合（「④ あまり思わない」＋「⑤思わない」）

「にぎわいを生む社会」のマイナス値が 32.9%と最も高いが、プラスの回答割合と同様、4つの将来像で大きな差は見られない。

③D.I 値（プラスの回答割合－マイナスの回答割合）

最も高い D.I 値を示したのは、「長寿を楽しめる社会」で 18.3 ポイント。一方、「にぎわいを生む社会」は 7.2 ポイントで、4つの将来像のうち最も低い値であった。

4つの将来像すべての D.I 値がプラスとなっており、全般的には、市民から一定の評価を受けていると言える。

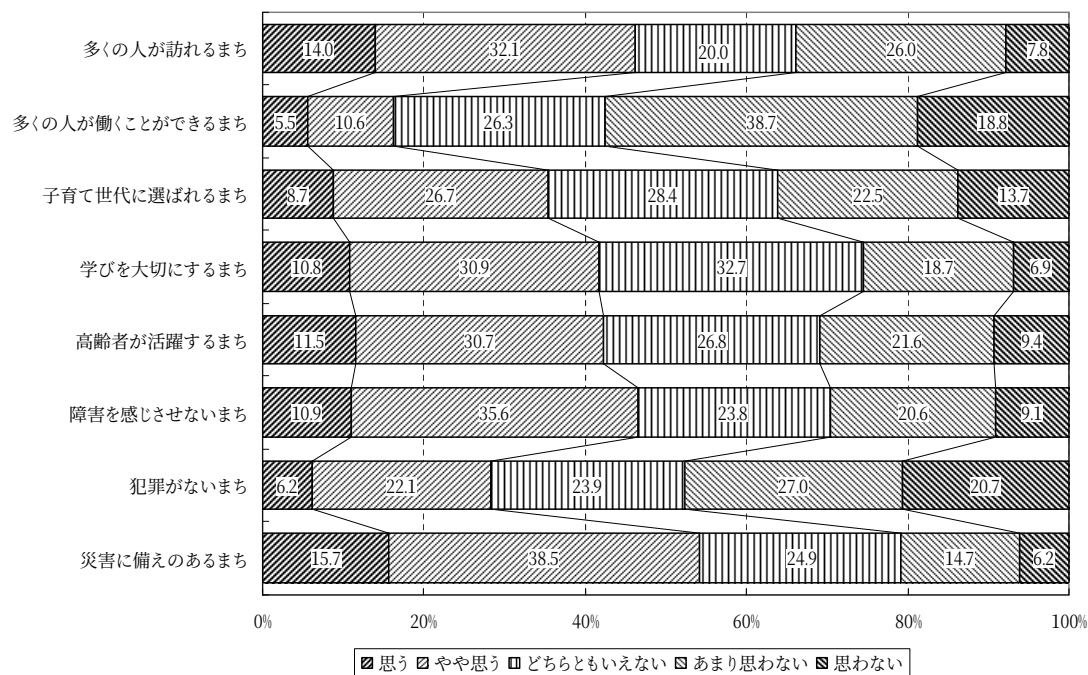
図表 (Ⅲ) 1-1 現在の状況

<現在について>		合 計 (人)	①思う	②やや 思う	③どちら ともいえ ない	④あま り思わ ない	⑤思わ ない	①+②	④+⑤	D.I値	平均 スコア
問1	多くの人が訪れるまち	843	14.0%	32.1%	20.0%	26.0%	7.8%	46.1%	33.8%	12.3	0.19
問2	多くの人が働くことができるまち	817	5.5%	10.6%	26.3%	38.7%	18.8%	16.1%	57.5%	-41.4	-0.55
問3	将来像1『にぎわいを生む社会』	839	8.8%	31.3%	26.9%	23.6%	9.3%	40.1%	32.9%	7.2	0.07
問4	子育て世代に選ばれるまち	750	8.7%	26.7%	28.4%	22.5%	13.7%	35.4%	36.2%	-0.8	-0.06
問5	学びを大切にするまち	722	10.8%	30.9%	32.7%	18.7%	6.9%	41.7%	25.6%	16.1	0.20
問6	将来像2『新しい芽が伸びゆく社会』	707	7.8%	28.0%	37.3%	21.1%	5.8%	35.8%	26.9%	8.9	0.11
問7	高齢者が活躍するまち	798	11.5%	30.7%	26.8%	21.6%	9.4%	42.2%	31.0%	11.2	0.13
問8	障害を感じさせないまち	806	10.9%	35.6%	23.8%	20.6%	9.1%	46.5%	29.7%	16.8	0.19
問9	将来像3『長寿を楽しめる社会』	766	11.5%	32.8%	29.8%	17.5%	8.5%	44.3%	26.0%	18.3	0.21
問10	犯罪がないまち	854	6.2%	22.1%	23.9%	27.0%	20.7%	28.3%	47.7%	-19.4	-0.34
問11	災害に備えのあるまち	762	15.7%	38.5%	24.9%	14.7%	6.2%	54.2%	20.9%	33.3	0.43
問12	将来像4『安全で安心して暮らせる社会』	838	9.8%	32.6%	32.1%	18.1%	7.4%	42.4%	25.5%	16.9	0.19
問13	『元氣な横須賀』	820	10.4%	28.4%	32.2%	19.9%	9.1%	38.8%	29.0%	9.8	0.11

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

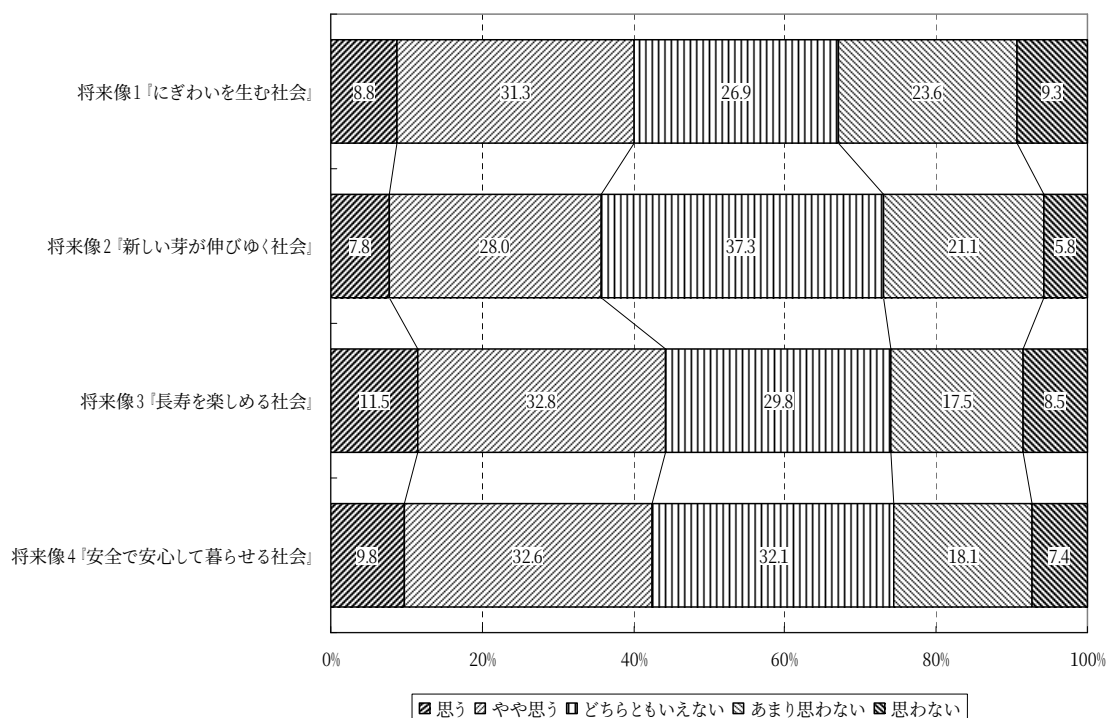
図表 (Ⅲ) 1-2 現在の状況－施策の方向性

※割合は、わからない、無回答を除いて算出



図表 (Ⅲ) 1-3 現在の状況－将来像

※割合は、わからない、無回答を除いて算出



(3) 施策の方向性（以前との比較） 図表 (Ⅲ) 1-4 参照

①プラスの回答割合（「①よくなっている」＋「②どちらかというよくなっている」）

最も高い施策は、「障害を感じさせないまち」が 68.4%、次いで「災害に備えのあるまち（63.8%）」「多くの人が訪れるまち（54.4%）」が高い値を示している。また、全体的にもみても 30%を超えているものが多い。一方「多くの人が働くことができるまち」は、プラス値が 14.7%で最も低く、「障害を感じさせないまち」との比較では 50 ポイント以上の差がある。

②マイナスの回答割合（「④どちらかという悪くなっている」＋「⑤悪くなっている」）

「多くの人が働くことができるまち」が 44.2%で最も高く、次いで「犯罪がないまち」が 28.4%となっている。それ以外の項目については 10%前後の値を示している。

③D.I 値（プラスの回答割合－マイナスの回答割合）

8つの施策の方向性のうちプラスは7項目。最も高い D.I 値を示したのは「障害を感じさせないまち」の 63.2 ポイントで良い評価を受けていると言える。

唯一、マイナスを示した「多くの人が働くことができるまち」は▲29.5 ポイントで現在の状況と同様に厳しい評価になっている。

(4) 将来像（以前との比較） 図表（Ⅲ）1-4 参照

①プラスの回答割合（「①よくなっている」＋「②どちらかというよくなっている」）

最も高い割合を示した将来像は、現在の状況と同様に「長寿を楽しめる社会」の52.6%であるが、4つの将来像で大きな差は見られない。

②マイナスの回答割合（「④どちらかという悪くなっている」＋「⑤悪くなっている」）

「安全で安心して暮らせる社会」が15.4%と最も高いが、4つの将来像のすべてが10%前後の値を示しており、大きな差は見られない。

③D.I 値（プラスの回答割合－マイナスの回答割合）

4つの将来像すべてのD.I 値がプラスとなっている。

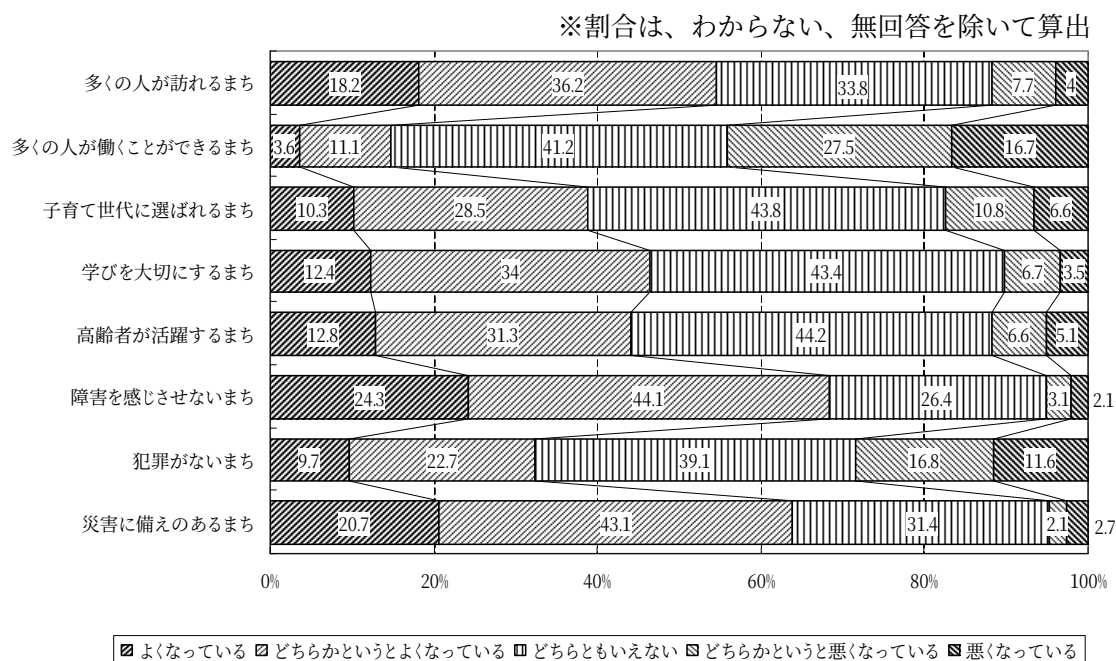
D.I 値が最も高い値を示したのは、「長寿を楽しめる社会」の44.5ポイントであるが、4つの将来像すべてが30ポイント前後の値で、以前より改善したとの評価を受けていると考えられる。

図表（Ⅲ）1-4 以前との比較

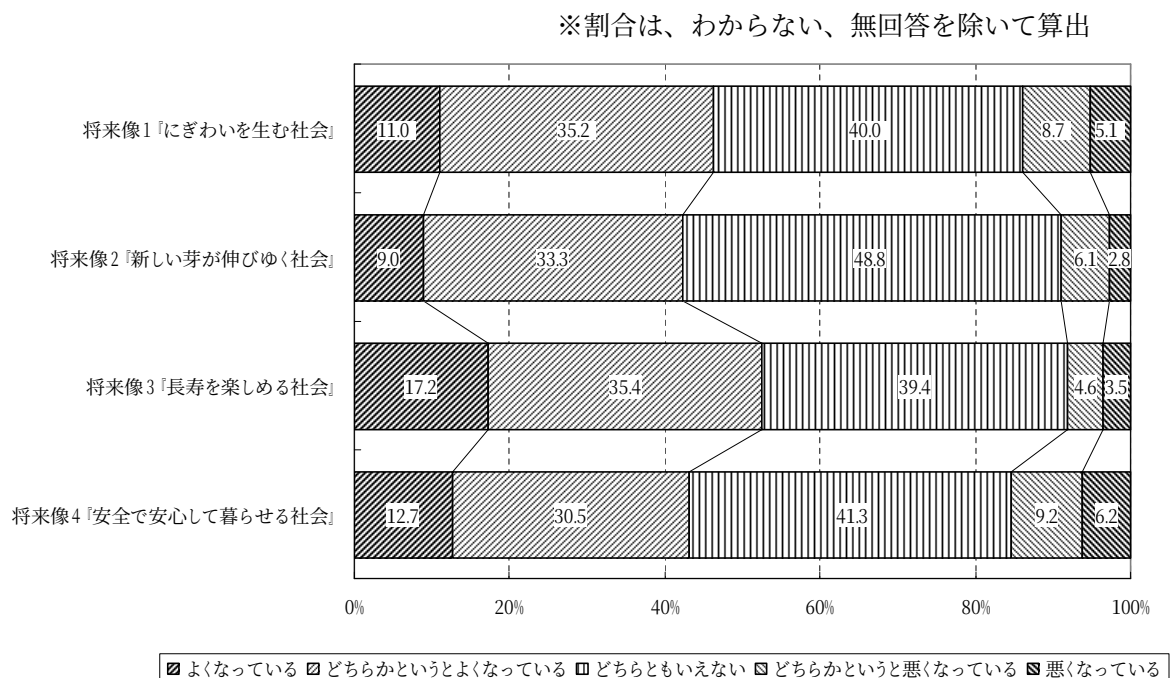
<以前との比較において>		合 計 (人)	①思う	②やや 思う	③どちら ともいえ ない	④あま り思わ ない	⑤思わ ない	①+②	④+⑤	D.I値	平均 スコア
問1	多くの人が訪れるまち	795	18.2%	36.2%	33.8%	7.7%	4.0%	54.4%	11.7%	42.7	0.57
問2	多くの人が働くことができるまち	750	3.6%	11.1%	41.2%	27.5%	16.7%	14.7%	44.2%	-29.5	-0.43
問3	将来像1『にぎわいを生む社会』	770	11.0%	35.2%	40.0%	8.7%	5.1%	46.2%	13.8%	32.4	0.38
問4	子育て世代に選ばれるまち	692	10.3%	28.5%	43.8%	10.8%	6.6%	38.8%	17.4%	21.4	0.25
問5	学びを大切にするまち	659	12.4%	34.0%	43.4%	6.7%	3.5%	46.4%	10.2%	36.2	0.45
問6	将来像2『新しい芽が伸びゆく社会』	642	9.0%	33.3%	48.8%	6.1%	2.8%	42.3%	8.9%	33.4	0.40
問7	高齢者が活躍するまち	702	12.8%	31.3%	44.2%	6.6%	5.1%	44.1%	11.7%	32.4	0.40
問8	障害を感じさせないまち	749	24.3%	44.1%	26.4%	3.1%	2.1%	68.4%	5.2%	63.2	0.85
問9	将来像3『長寿を楽しめる社会』	681	17.2%	35.4%	39.4%	4.6%	3.5%	52.6%	8.1%	44.5	0.58
問10	犯罪がないまち	792	9.7%	22.7%	39.1%	16.8%	11.6%	32.4%	28.4%	4	0.02
問11	災害に備えのあるまち	701	20.7%	43.1%	31.4%	2.1%	2.7%	63.8%	4.8%	59	0.77
問12	将来像4『安全で安心して暮らせる社会』	753	12.7%	30.5%	41.3%	9.2%	6.2%	43.2%	15.4%	27.8	0.34
問13	『元気な横須賀』	754	13.1%	28.8%	40.5%	11.1%	6.5%	41.9%	17.6%	24.3	0.31

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表 (Ⅲ) 1-5 以前との比較—施策の方向性



図表 (Ⅲ) 1-6 以前との比較—将来像



(5) 属性別の回答状況（クロス集計結果）

政策・施策の対象となる属性と回答者全体の実感に差が生じているかを検証するため、下記図表の項目について、クロス集計を行った。分析結果は、回答者全体と各層の比較をしたものである。

なお、属性により回答母数の少ないものがあることから、属性別の回答傾向を見るにあたっては注意が必要である。また、集計母数は、有効回答数からわからない・無回答の数を除いている。

図表（Ⅲ）1-7 対象とした設問

	将来像・施策の方向性	対象
①	多くの人が訪れるまち	年齢別、居住地域別
②	多くの人が働くことができるまち	性別、年齢別
③	将来像1『にぎわいを生む社会』	年齢別、居住地域別
④	子育て世代に選ばれるまち	性別、年齢別（20～29歳、30～39歳） 世帯状況別（小学生未満の子どもがいる・ 小学生～中学生の子どもがいる）
⑤	学びを大切にするまち	性別、年齢別 世帯状況別（小学生未満の子どもがいる・ 小学生～中学生の子どもがいる）
⑥	将来像2『新しい芽が伸びゆく社会』	性別、年齢別 世帯状況別（小学生未満の子どもがいる・ 小学生～中学生の子どもがいる）
⑦	高齢者が活躍する社会	性別、年齢別（60～69歳、70歳以上） 世帯状況別（65歳以上の高齢者がいる）
⑧	障害を感じさせないまち	年齢別
⑨	将来像3『長寿を楽しめる社会』	年齢別（60～69歳、70歳以上） 世帯状況別（65歳以上の高齢者がいる）
⑩	犯罪がないまち	性別、年齢別、居住地域別、世帯状況別
⑪	災害に備えのあるまち	居住地域別
⑫	将来像4 『安全で安心して暮らせる社会』	性別、年齢別、世帯状況別

① 多くの人が訪れるまち

【年齢別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、全体的に 40%以上の高い数値を示している。特に、15～19 歳、20～29 歳の若年層で高い割合を示している。
 - ・一方、マイナスの回答割合は全体的に 30%前後の値を示しているが、60 歳から 69 歳の割合が 42.6%と高い割合を示している。
 - ・D.I 値は、若年層でプラス値が高く、高齢層ではマイナスを示している年齢もあり、年齢により実感の差が見られる。
-
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合を見ると、全体的に 50%以上の高い数値を示している。特に 20～29 歳など若年層で高い割合を示している。
 - ・一方、マイナスの回答割合は全体的に 10%前後の値を示しているが、若年層では低い値を示している。
 - ・D.I 値は、すべての年齢層で 30～50 ポイントと高く、年齢による実感に大きな差は見られない。

図表（Ⅲ）1-8 多くの人が訪れるまち－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや 思う	どちらと もいえな い	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	843	14.0%	32.1%	20.0%	26.0%	7.8%	46.1%	33.8%	12.3	0.19
15～19歳	41	22.0%	39.0%	7.3%	24.4%	7.3%	61.0%	31.7%	29.3	0.44
20～29歳	68	14.7%	42.6%	14.7%	20.6%	7.4%	57.3%	28.0%	29.3	0.37
30～39歳	123	15.4%	30.9%	23.6%	22.8%	7.3%	46.3%	30.1%	16.2	0.24
40～49歳	137	12.4%	34.3%	24.1%	25.5%	3.6%	46.7%	29.1%	17.6	0.26
50～59歳	145	9.7%	29.7%	26.2%	26.2%	8.3%	39.4%	34.5%	4.9	0.06
60～69歳	169	10.1%	31.4%	16.0%	34.3%	8.3%	41.5%	42.6%	-1.1	0.01
70歳以上	152	19.7%	27.0%	18.4%	23.7%	11.2%	46.7%	34.9%	11.8	0.20
無回答	8	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	75.0%	12.5%	62.5	0.75

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ） 1-9 多くの人が訪れるまちー以前との比較一年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか というよ 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか というよ 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	795	18.2%	36.2%	33.8%	7.7%	4.0%	54.4%	11.7%	42.7	0.57
15～19歳	36	33.3%	25.0%	38.9%	2.8%	0.0%	58.3%	2.8%	55.5	0.89
20～29歳	53	26.4%	35.8%	30.2%	3.8%	3.8%	62.2%	7.6%	54.6	0.77
30～39歳	109	18.3%	39.4%	34.9%	3.7%	3.7%	57.7%	7.4%	50.3	0.65
40～49歳	133	14.3%	41.4%	30.8%	9.0%	4.5%	55.7%	13.5%	42.2	0.52
50～59歳	141	12.8%	32.6%	41.1%	11.3%	2.1%	45.4%	13.4%	32.0	0.43
60～69歳	168	14.9%	36.3%	32.7%	8.9%	7.1%	51.2%	16.0%	35.2	0.43
70歳以上	147	22.4%	35.4%	31.3%	7.5%	3.4%	57.8%	10.9%	46.9	0.66
無回答	8	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	87.5%	0.0%	87.5	1.38

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【居住地域別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、全体的に 40%以上の高い数値を示している。特に、逸見、本庁地域は 50%を超えている。
- ・一方、マイナスの回答割合は全体的に 30%前後の値を示していて回答傾向に大きな差はないが本庁地域のみ 20%台の値となっている。
- ・D.I 値は、すべての地域で、プラスとなっているが、地域によって数値にばらつきが見られる。最も高い本庁地域と最も低い衣笠地域では、約 25 ポイントの差があり、にぎわいの実感に地域差が見られる。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合を見ると、全体的に高い割合を示しているなか、逸見地域のプラス値が、若干低くなっている。
- ・一方、マイナスの回答割合は、追浜地域が 17%で最も高く、本町地域が 4.8%と最も低い値を示している。
- ・D.I 値は、すべての地域でプラスであるが、現在の状況と同様、地域によって、ばらつきが見られ、本庁地域と追浜地域とでは 40 ポイント近くの差が見られる。以前との比較においては、にぎわいの実感に地域差が見られる。

図表（Ⅲ）1-10 多くの人が訪れるまち－現在の状況－居住地域別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	843	14.0%	32.1%	20.0%	26.0%	7.8%	46.1%	33.8%	12.3	0.19
本庁地域	121	13.2%	38.8%	27.3%	12.4%	8.3%	52.0%	20.7%	31.3	0.36
追浜地域	43	7.0%	37.2%	20.9%	27.9%	7.0%	44.2%	34.9%	9.3	0.09
田浦地域	43	11.6%	34.9%	18.6%	27.9%	7.0%	46.5%	34.9%	11.6	0.16
逸見地域	23	17.4%	39.1%	8.7%	26.1%	8.7%	56.5%	34.8%	21.7	0.30
衣笠地域	135	15.6%	27.4%	18.5%	31.9%	6.7%	43.0%	38.6%	4.4	0.13
大津地域	96	13.5%	35.4%	16.7%	26.0%	8.3%	48.9%	34.3%	14.6	0.20
浦賀地域	112	12.5%	29.5%	20.5%	27.7%	9.8%	42.0%	37.5%	4.5	0.07
久里浜地域	120	14.2%	30.8%	19.2%	29.2%	6.7%	45.0%	35.9%	9.1	0.17
北下浦地域	57	14.0%	31.6%	15.8%	26.3%	12.3%	45.6%	38.6%	7.0	0.09
西地域	81	17.3%	23.5%	24.7%	28.4%	6.2%	40.8%	34.6%	6.2	0.17
無回答	12	25.0%	50.0%	8.3%	16.7%	0.0%	75.0%	16.7%	58.3	0.83

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-11 多くの人が訪れるまち－以前との比較－居住地域別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ うになっ ている	どちらと もいえな い	どちらか というよ うになっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ うになっ ている	どちらか というよ うになっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	892	18.2%	36.2%	33.8%	7.7%	4.0%	54.4%	11.7%	42.7	0.57
本庁地域	115	16.7%	45.2%	24.6%	4.0%	0.8%	61.9%	4.8%	57.1	0.80
追浜地域	39	12.8%	23.4%	29.8%	14.9%	2.1%	36.2%	17.0%	19.2	0.36
田浦地域	41	8.9%	28.9%	40.0%	6.7%	6.7%	37.8%	13.4%	24.4	0.29
逸見地域	18	20.8%	8.3%	37.5%	4.2%	4.2%	29.1%	8.4%	20.7	0.50
衣笠地域	127	17.0%	27.7%	31.9%	9.9%	3.5%	44.7%	13.4%	31.3	0.50
大津地域	94	16.5%	41.2%	32.0%	4.1%	3.1%	57.7%	7.2%	50.5	0.66
浦賀地域	106	17.2%	31.9%	31.9%	6.9%	3.4%	49.1%	10.3%	38.8	0.58
久里浜地域	114	12.1%	32.6%	28.0%	7.6%	6.1%	44.7%	13.7%	31.0	0.43
北下浦地域	57	14.3%	30.2%	36.5%	7.9%	1.6%	44.5%	9.5%	35.0	0.53
西地域	72	23.0%	24.1%	25.3%	4.6%	5.7%	47.1%	10.3%	36.8	0.65
無回答	12	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	71.5%	0.0%	71.5	1.17

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

② 多くの人が働くことができるまち

【性別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合の傾向に大きな違いは見られない。D.I 値は、いずれもマイナスでその値は高く、現状の厳しさを反映していると考えられる。
- ・「以前との比較」もプラスの回答割合、マイナスの回答割合で若干、数値に違いがみられる。D.I 値は、いずれもマイナスであるが、男性のマイナス値が約 10 ポイント高い。

図表（Ⅲ） 1-12 多くの人が働くことができるまち－現在の状況－性別

	合 計 (人)	思う	やや思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	思う＋ やや思う	あまり 思わない＋ 思わない	D.I値	平均 スコア
回答者全体	817	5.5%	10.6%	26.3%	38.7%	18.8%	16.1%	57.5%	-41.4	-0.55
男性	339	4.4%	11.2%	24.8%	39.2%	20.4%	15.6%	59.6%	-44.0	-0.60
女性	471	6.4%	10.4%	27.0%	38.6%	17.6%	16.8%	56.2%	-39.4	-0.51
無回答	7	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	42.9%	-42.9	-0.71

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ） 1-13 多くの人が働くことができるまち－以前との比較－性別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか という よくなっ ている	どちらとも いえない	どちらか という 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか という よくなっ ている	どちらか という 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	750	3.6%	11.1%	41.2%	27.5%	16.7%	14.7%	44.2%	-29.5	-0.43
男性	318	2.5%	11.0%	38.7%	29.9%	17.9%	13.5%	47.8%	-34.3	-0.50
女性	425	4.5%	11.3%	43.1%	25.4%	15.8%	15.8%	41.2%	-25.4	-0.37
無回答	7	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	57.2%	-57.2	-0.71

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【年齢別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、年齢層で回答傾向に差がある。特に、50～59歳のプラス値が低い値を示している。
- ・一方、マイナスの回答割合は全体的に50%以上の高い値を示している。特に50歳から59歳の割合は70.8%と突出している。
- ・D.I値は、すべてマイナスで、50歳から59歳では▲61.7ポイントで、雇用環境の厳しさの実感を反映していると言える。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合を見ると、全体的に10%～30%程度の値を示している。
- ・一方、マイナスの回答割合は年齢によって差が見られ、若年層で低く、50、60歳代では高い割合を示している。
- ・D.I値は、すべての年齢層でマイナスとなっているが、年齢によってばらつきが見られ、30ポイント以上の差がある。年齢により雇用環境に対する実感が異なると思われる。

図表（Ⅲ）1-14 多くの人が働くことができるまち－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	817	5.5%	10.6%	26.3%	38.7%	18.8%	16.1%	57.5%	-41.4	-0.55
15～19歳	32	15.6%	12.5%	18.8%	37.5%	15.6%	28.1%	53.1%	-25.0	-0.25
20～29歳	63	3.2%	12.7%	33.3%	33.3%	17.5%	15.9%	50.8%	-34.9	-0.49
30～39歳	123	6.5%	16.3%	27.6%	35.8%	13.8%	22.8%	49.6%	-26.8	-0.34
40～49歳	132	5.3%	11.4%	25.0%	35.6%	22.7%	16.7%	58.3%	-41.6	-0.59
50～59歳	144	3.5%	5.6%	20.1%	50.0%	20.8%	9.1%	70.8%	-61.7	-0.79
60～69歳	171	4.7%	7.6%	28.1%	39.8%	19.9%	12.3%	59.7%	-47.4	-0.63
70歳以上	144	6.9%	13.2%	27.8%	34.7%	17.4%	20.1%	52.1%	-32.0	-0.42
無回答	8	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	-50.0	-0.75

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表 (Ⅲ) 1-15 多くの人が働くことができるまち—以前との比較—年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえ ない	どちらか というよ 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている+ どちらか というよ くなっ ている	どちらか というよ 悪くなっ ている+ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	750	3.6%	11.1%	41.2%	27.5%	16.7%	14.7%	44.2%	-29.5	-0.43
15～19歳	25	8.0%	20.0%	40.0%	12.0%	20.0%	28.0%	32.0%	-4.0	-0.16
20～29歳	48	4.2%	18.8%	52.1%	12.5%	12.5%	23.0%	25.0%	-2.0	-0.10
30～39歳	102	2.0%	8.8%	43.1%	29.4%	16.7%	10.8%	46.1%	-35.3	-0.50
40～49歳	121	2.5%	10.7%	44.6%	24.8%	17.4%	13.2%	42.2%	-29.0	-0.44
50～59歳	135	4.4%	8.9%	36.3%	25.2%	25.2%	13.3%	50.4%	-37.1	-0.58
60～69歳	169	3.0%	6.5%	43.2%	33.1%	14.2%	9.5%	47.3%	-37.8	-0.49
70歳以上	142	4.9%	16.9%	35.2%	31.0%	12.0%	21.8%	43.0%	-21.2	-0.28
無回答	8	0.0%	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	50.0%	-50.0	-0.63

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

③ 将来像1『にぎわいを生む社会』

【年齢別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、全体的に高いプラス値を示している。特に、15～19歳、20～29歳の若年層で高い割合を示している。
- ・一方、マイナスの回答割合は全体的に30%前後の値を示しているが、50歳から59歳で高くなっている。
- ・D.I値は、若年層でプラス値が高く、50歳～59歳ではマイナスを示しており、年齢により実感に差が見られる。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合を見ると、一部のものを除き約40%以上の高い数値を示している。特に20～29歳で高い割合を示している。
- ・マイナスの回答割合は全体的に10%前後の値で大きな差は見られない。
- ・D.I値は、すべての年齢層でプラス値を示しており、特に若年層の評価が高い。

図表（Ⅲ）1-16 にぎわいを生む社会－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや 思う	どちらと もいえない	あまり 思わない	思わない	思う＋ やや 思う	あまり 思わない＋ 思わない	D.I値	平均 スコア
回答者全体	839	8.8%	31.3%	26.9%	23.6%	9.3%	40.1%	32.9%	7.2	0.07
15～19歳	41	26.8%	31.7%	12.2%	17.1%	12.2%	58.5%	29.3%	29.2	0.44
20～29歳	68	11.8%	52.9%	8.8%	20.6%	5.9%	64.7%	26.5%	38.2	0.44
30～39歳	121	9.9%	35.5%	24.0%	19.0%	11.6%	45.4%	30.6%	14.8	0.13
40～49歳	134	6.7%	28.4%	31.3%	24.6%	9.0%	35.1%	33.6%	1.5	-0.01
50～59歳	148	4.7%	25.0%	30.4%	29.1%	10.8%	29.7%	39.9%	-10.2	-0.16
60～69歳	172	5.8%	30.8%	32.6%	22.1%	8.7%	36.6%	30.8%	5.8	0.03
70歳以上	147	10.9%	27.2%	27.9%	26.5%	7.5%	38.1%	34.0%	4.1	0.07
無回答	8	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	50.0%	25.0%	25.0	0.25

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-17 にぎわいを生む社会－以前との比較－年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ うになっ ている	どちらと もいえない	どちらか というよ うに悪く なっている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ うになっ ている	どちらか というよ うに悪く なっている ＋悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	770	11.0%	35.2%	40.0%	8.7%	5.1%	46.2%	13.8%	32.4	0.38
15～19歳	33	30.3%	21.2%	39.4%	3.0%	6.1%	51.5%	9.1%	42.4	0.67
20～29歳	50	18.0%	42.0%	28.0%	8.0%	4.0%	60.0%	12.0%	48.0	0.62
30～39歳	106	15.1%	36.8%	32.1%	10.4%	5.7%	51.9%	16.1%	35.8	0.45
40～49歳	126	7.9%	36.5%	45.2%	4.8%	5.6%	44.4%	10.4%	34.0	0.37
50～59歳	139	5.0%	33.1%	46.0%	7.9%	7.9%	38.1%	15.8%	22.3	0.19
60～69歳	167	9.0%	39.5%	38.3%	9.6%	3.6%	48.5%	13.2%	35.3	0.41
70歳以上	142	11.3%	31.0%	41.5%	12.7%	3.5%	42.3%	16.2%	26.1	0.34
無回答	7	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	57.2%	0.0%	57.2	0.86

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【居住地域別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、全体的には40%以上の高い数値を示している。特に、逸見地域の値が60%を超えている。
- ・一方、マイナスの回答割合は地域によってばらつきが見られる。特に衣笠地域と追浜地域のマイナス値が高くなっている。
- ・D.I値は、地域によってばらつきが見られる。7地域で、プラスとなっているが、逸見地域以外のプラス値はそれほど大きくない。
マイナスを示したのは、田浦、衣笠、西地域で、にぎわいの実感に地域差が見られる。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合を見ると、全体的に高い割合を示しており、特に、逸見地域のプラス値が61.9%と最も高い。
- ・一方、マイナスの回答割合は、追浜地域が20%で最も高い割合を示している。
- ・D.I値は、すべての地域でプラスであるが、現在の状況と同様、地域によって、ばらつきが見られ、本庁地域と追浜地域では20ポイント近くの差がある。

図表（Ⅲ）1-18 にぎわいを生む社会－現在の状況－居住地域別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえない	あまり 思わない	思わない	思う＋ やや思 う	あまり 思わない＋思 わない	D.I値	平均 スコア
回答者全体	839	8.8%	31.3%	26.9%	23.6%	9.3%	40.1%	32.9%	7.2	0.07
本庁地域	121	9.1%	31.4%	34.7%	18.2%	6.6%	40.5%	24.8%	15.7	0.18
追浜地域	42	11.9%	33.3%	14.3%	28.6%	11.9%	45.2%	40.5%	4.7	0.05
田浦地域	41	12.2%	22.0%	29.3%	24.4%	12.2%	34.2%	36.6%	-2.4	-0.02
逸見地域	24	12.5%	50.0%	16.7%	16.7%	4.2%	62.5%	20.9%	41.6	0.50
衣笠地域	134	11.9%	25.4%	21.6%	32.1%	9.0%	37.3%	41.1%	-3.8	-0.01
大津地域	92	9.8%	33.7%	21.7%	26.1%	8.7%	43.5%	34.8%	8.7	0.10
浦賀地域	113	0.9%	37.2%	26.5%	22.1%	13.3%	38.1%	35.4%	2.7	-0.10
久里浜地域	122	9.0%	28.7%	36.1%	18.9%	7.4%	37.7%	26.3%	11.4	0.13
北下浦地域	60	8.3%	38.3%	25.0%	21.7%	6.7%	46.6%	28.4%	18.2	0.20
西地域	78	9.0%	25.6%	28.2%	26.9%	10.3%	34.6%	37.2%	-2.6	-0.04
無回答	12	8.3%	41.7%	16.7%	8.3%	25.0%	50.0%	33.3%	16.7	0.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ） 1-19 にぎわいを生む社会―以前との比較―居住地地域別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえ ない	どちらか というよ 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか というよ 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	770	11.0%	35.2%	40.0%	8.7%	5.1%	46.2%	13.8%	32.4	0.38
本庁地域	113	9.7%	41.6%	38.9%	7.1%	2.7%	51.3%	9.8%	41.5	0.49
追浜地域	35	14.3%	25.7%	40.0%	11.4%	8.6%	40.0%	20.0%	20.0	0.26
田浦地域	39	12.8%	23.1%	46.2%	15.4%	2.6%	35.9%	18.0%	17.9	0.28
逸見地域	21	28.6%	33.3%	28.6%	9.5%	0.0%	61.9%	9.5%	52.4	0.81
衣笠地域	124	12.1%	33.9%	37.1%	10.5%	6.5%	46.0%	17.0%	29.0	0.35
大津地域	87	8.0%	48.3%	33.3%	6.9%	3.4%	56.3%	10.3%	46.0	0.51
浦賀地域	105	5.7%	35.2%	41.9%	8.6%	8.6%	40.9%	17.2%	23.7	0.21
久里浜地域	111	11.7%	31.5%	43.2%	9.9%	3.6%	43.2%	13.5%	29.7	0.38
北下浦地域	56	10.7%	41.1%	37.5%	7.1%	3.6%	51.8%	10.7%	41.1	0.48
西地域	69	13.0%	24.6%	50.7%	5.8%	5.8%	37.6%	11.6%	26.0	0.33
無回答	10	20.0%	30.0%	30.0%	0.0%	20.0%	50.0%	20.0%	30.0	0.30

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

④ 子育て世代に選ばれるまち

【性別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合に大きな違いは見られない。D.I 値は、男女とも、良い状況とは言えない。
- ・「以前との比較」も現在と同様、男女で大きな違いは見られない。D.I 値は、いずれもプラス値で、現在の状況より評価が高い。

図表（Ⅲ） 1-20 子育て世代に選ばれるまち―現在の状況―性別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえ ない	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	750	8.7%	26.7%	28.4%	22.5%	13.7%	35.4%	36.2%	-0.8	-0.06
男 性	302	6.6%	27.8%	27.8%	24.8%	12.9%	34.4%	37.7%	-3.3	-0.10
女 性	443	10.2%	26.0%	28.4%	21.0%	14.4%	36.2%	35.4%	0.8	-0.04
無回答	5	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0	0.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ） 1-21 子育て世代に選ばれるまち—以前との比較—性別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえ ない	どちらか という 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか という 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	692	10.3%	28.5%	43.8%	10.8%	6.6%	38.8%	17.4%	21.4	0.25
男 性	279	8.2%	28.0%	45.9%	11.1%	6.8%	36.2%	17.9%	18.3	0.20
女 性	408	11.8%	28.7%	42.2%	10.8%	6.6%	40.5%	17.4%	23.1	0.28
無回答	5	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0	0.40

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【年齢別の集計結果】

20 歳代～40 歳代の回答傾向を、回答者全体と比較する。

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合ともに、20、30 歳代については、全体の回答傾向と大きな違いは見られない。一方、40 歳代はプラス値が低く、マイナスの回答割合は高い値を示している。
- ・D.I 値も 20、30 歳代は、回答者全体の回答傾向と大きな違いは見られないが、40 歳代のみマイナス値が大きく、評価が低い。
- ・「以前との比較」の回答者全体の傾向と比較して、20、30 歳代のプラス値は高くなっている。
- ・一方、マイナスの回答割合は全体の回答傾向と大きな差は見られない。
- ・D.I 値をみると、全体の回答傾向と比較して 20、30 歳代は高くなっており、一定の評価を得ていると言える。

図表 (Ⅲ) 1-22 子育て世代に選ばれるまち－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	750	8.7%	26.7%	28.4%	22.5%	13.7%	35.4%	36.2%	-0.8	-0.06
15～19歳	33	12.1%	24.2%	27.3%	18.2%	18.2%	36.3%	36.4%	-0.1	-0.06
20～29歳	59	6.8%	28.8%	27.1%	23.7%	13.6%	35.6%	37.3%	-1.7	-0.08
30～39歳	120	9.2%	28.3%	25.0%	20.0%	17.5%	37.5%	37.5%	0.0	-0.08
40～49歳	123	5.7%	22.8%	26.8%	26.0%	18.7%	28.5%	44.7%	-16.2	-0.29
50～59歳	134	9.7%	28.4%	23.9%	22.4%	15.7%	38.1%	38.1%	0.0	-0.06
60～69歳	157	8.9%	26.1%	31.2%	25.5%	8.3%	35.0%	33.8%	1.2	0.02
70歳以上	119	10.1%	27.7%	34.5%	18.5%	9.2%	37.8%	27.7%	10.1	0.11
無回答	5	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0	0.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表 (Ⅲ) 1-23 子育て世代に選ばれるまち－以前との比較－年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ うになっ ている	どちらと もいえな い	どちらか というよ うになっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ うになっ ている	どちらか というよ うになっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	692	10.3%	28.5%	43.8%	10.8%	6.6%	38.8%	17.4%	21.4	0.25
15～19歳	27	22.2%	25.9%	29.6%	14.8%	7.4%	48.1%	22.2%	25.9	0.41
20～29歳	44	13.6%	27.3%	45.5%	9.1%	4.5%	40.9%	13.6%	27.3	0.36
30～39歳	102	12.7%	30.4%	37.3%	11.8%	7.8%	43.1%	19.6%	23.5	0.28
40～49歳	116	5.2%	31.0%	46.6%	8.6%	8.6%	36.2%	17.2%	19.0	0.16
50～59歳	124	4.8%	28.2%	41.9%	16.9%	8.1%	33.0%	25.0%	8.0	0.05
60～69歳	157	12.1%	24.8%	45.9%	9.6%	7.6%	36.9%	17.2%	19.7	0.24
70歳以上	117	12.8%	29.9%	47.9%	7.7%	1.7%	42.7%	9.4%	33.3	0.44
無回答	5	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0	0.40

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【世帯状況別】

「小学生未満の子どもがいる」「小学生～中学生の子どもがいる」の回答傾向を、回答者全体と比較した。

- ・「現在の状況」と全体の回答傾向とを比較すると、プラスの回答割合に大きな差は見られない。一方、マイナスの回答割合については、「小学生～中学生の子どもがいる」世帯の割合が若干、高くなっている。
- ・D.I 値についても、「小学生～中学生の子どもがいる」世帯がマイナスで、厳しい評価となっている。
- ・「以前との比較」と全体の回答傾向とを比較すると、「小学生未満の子どもがいる」世帯で、プラスの回答割合が高くなっている。一方、マイナスの回答割合については、世帯の状況で大きな違いは見られない。
- ・D.I 値については、「小学生未満の子どもがいる」世帯で高く、一定の評価を得ていると考えられる。

図表（Ⅲ）1-24 子育て世代に選ばれるまち－現在について－世帯状況別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちら ともい えない	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	750	8.7%	26.7%	28.4%	22.5%	13.7%	35.4%	36.2%	-0.8	-0.06
小学生未満の子どもがいる	91	8.8%	31.9%	23.1%	19.8%	16.5%	40.7%	36.3%	4.4	-0.03
小学生～中学生の子どもがいる	115	7.8%	23.5%	26.1%	21.7%	20.9%	31.3%	42.6%	-11.3	-0.24

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-25 子育て世代に選ばれるまち－以前との比較について－世帯状況別

	合 計 (人)	よくな っている	どちら かという とよくな っている	どちら ともい えない	どちら かという と悪くな っている	悪くな っている	よくな っている＋ どちらか という とよくな っている	どちら かという と悪くな っている＋ 悪くな っている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	692	10.3%	28.5%	43.8%	10.8%	6.6%	38.8%	17.4%	21.4	0.25
小学生未満の子どもがいる	77	15.6%	36.4%	31.2%	11.7%	5.2%	52.0%	16.9%	35.1	0.45
小学生～中学生の子どもがいる	103	7.8%	30.1%	43.7%	11.7%	6.8%	37.9%	18.5%	19.4	0.20

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

⑤ 学びを大切にするまち

【性別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合に大きな違いは見られない。D.I 値もプラスで、男女に大きな差は見られない。
- ・「以前との比較」も現在と同様、男女に大きな違いは見られない。D.I 値は、いずれもプラス値で、現在の状況より評価が高い。

図表 (Ⅲ) 1-26 学びを大切にするまち－現在の状況－性別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえない	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	722	10.8%	30.9%	32.7%	18.7%	6.9%	41.7%	25.6%	16.1	0.20
男 性	296	9.8%	32.1%	30.4%	21.3%	6.4%	41.9%	27.7%	14.2	0.18
女 性	419	11.5%	29.6%	34.4%	17.2%	7.4%	41.1%	24.6%	16.5	0.21
無回答	7	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	71.4	0.86

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表 (Ⅲ) 1-27 学びを大切にするまち－以前との比較－性別

	合 計 (人)	よくな っている	どちらか という よくな っている	どちら ともい えない	どちらか という 悪くな っている	悪くな っている	よくな っている ＋ どちらか という よくな っている	どちらか という 悪くな っている ＋ 悪くな っている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	659	12.4%	34.0%	43.4%	6.7%	3.5%	46.4%	10.2%	36.2	0.45
男 性	277	10.8%	35.0%	42.2%	7.2%	4.7%	45.8%	11.9%	33.9	0.40
女 性	375	13.3%	33.1%	44.5%	6.4%	2.7%	46.4%	9.1%	37.3	0.48
無回答	7	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	71.5%	0.0%	71.5	1.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【年齢別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、年齢層で回答傾向に差がある。特に、40～49 歳のプラス値が低い値を示している。
- ・一方、マイナスの回答割合は全体的に大きな差は見られない。
- ・D.I 値は、すべてプラスだが、年齢層によってばらつきが見られ、特に 30 歳、40 歳代の評価が低い。

- ・「以前との比較」のプラスの回答割合を見ると、すべての年齢層で 40%を超えている。マイナスの回答割合は、年齢によって若干の差が見られる。
- ・ D.I 値は、すべての年齢層で高く、良い評価を得ていると言える。特に 20 歳代は 54.5 ポイントと突出している。

図表 (Ⅲ) 1-28 学びを大切にするまち—現在の状況—年齢別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わない	思わな い	思う+ やや思 う	あまり 思わな い+思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	722	10.8%	30.9%	32.7%	18.7%	6.9%	41.7%	25.6%	16.1	0.20
15～19歳	37	32.4%	24.3%	21.6%	10.8%	10.8%	56.7%	21.6%	35.1	0.57
20～29歳	53	7.5%	30.2%	43.4%	11.3%	7.5%	37.7%	18.8%	18.9	0.19
30～39歳	102	8.8%	26.5%	35.3%	19.6%	9.8%	35.3%	29.4%	5.9	0.05
40～49歳	120	5.8%	25.8%	40.8%	18.3%	9.2%	31.6%	27.5%	4.1	0.01
50～59歳	123	6.5%	33.3%	32.5%	22.0%	5.7%	39.8%	27.7%	12.1	0.13
60～69歳	151	11.9%	36.4%	24.5%	22.5%	4.6%	48.3%	27.1%	21.2	0.28
70歳以上	129	14.7%	31.8%	31.8%	16.3%	5.4%	46.5%	21.7%	24.8	0.34
無回答	7	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	57.2%	14.3%	42.9	0.57

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表 (Ⅲ) 1-29 学びを大切にするまち—以前との比較—年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか という よくなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか という 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている+ どちらか という よくなっ ている	どちらか という 悪くなっ ている+ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	659	12.4%	34.0%	43.4%	6.7%	3.5%	46.4%	10.2%	36.2	0.45
15～19歳	30	26.7%	23.3%	33.3%	6.7%	10.0%	50.0%	16.7%	33.3	0.50
20～29歳	44	9.1%	50.0%	36.4%	2.3%	2.3%	59.1%	4.6%	54.5	0.61
30～39歳	85	11.8%	28.2%	44.7%	12.9%	2.4%	40.0%	15.3%	24.7	0.34
40～49歳	113	8.0%	32.7%	47.8%	8.0%	3.5%	40.7%	11.5%	29.2	0.34
50～59歳	114	13.2%	33.3%	43.9%	5.3%	4.4%	46.5%	9.7%	36.8	0.46
60～69歳	142	14.1%	33.8%	40.8%	6.3%	4.9%	47.9%	11.2%	36.7	0.46
70歳以上	124	11.3%	37.1%	46.0%	4.8%	0.8%	48.4%	5.6%	42.8	0.53
無回答	7	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	57.2%	0.0%	57.2	0.86

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【世帯状況別】

「小学生未満の子どもがいる」「小学生～中学生の子どもがいる」の回答傾向を、回答者全体と比較した。

- ・「現在の状況」と全体の傾向とを比較すると、プラスの回答割合は低い値を示している。一方、マイナスの回答割合については、大きな違いは見られない。
- ・D.I 値は、回答者全体と比較して、「小学生未満の子どもがいる」「小学生～中学生の子どもがいる」世帯の値が 10 ポイント程度低く、厳しい評価になっている。

- ・「以前との比較」では、全体の傾向と比較して、プラスの回答割合、マイナスの回答割合、いずれの値も全体の回答傾向と大きな違いは見られない。

D.I 値は、プラス値が 30 ポイント前後で、子育て世帯からも一定の評価を得ていると考えられる。

図表（Ⅲ）1-30 学びを大切にするまち－現在の状況－世帯状況別

	合 計 (人)	思う	やや思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	思う＋ やや思う	あまり 思わない＋ 思わない	D.I値	平均 スコア
回答者全体	722	10.8%	30.9%	32.7%	18.7%	6.9%	41.7%	25.6%	16.1	0.20
小学生未満の子どもがいる	81	9.9%	23.5%	38.3%	17.3%	11.1%	33.4%	28.4%	5.0	0.04
小学生～中学生の子どもがいる	109	5.5%	26.6%	36.7%	22.9%	8.3%	32.1%	31.2%	0.9	-0.02

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-31 学びを大切にするまち－以前との比較－世帯状況別

	合 計 (人)	よくなっている	どちらか という よくなっている	どちらとも いえない	どちらか という 悪くなっている	悪くなっている	よくなっている＋ どちらか というよくなっている	どちらか という 悪くなっている＋ 悪くなっている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	659	12.4%	34.0%	43.4%	6.7%	3.5%	46.4%	10.2%	36.2	0.45
小学生未満の子どもがいる	67	10.4%	31.3%	43.3%	11.9%	3.0%	41.7%	14.9%	26.8	0.34
小学生～中学生の子どもがいる	95	11.6%	33.7%	41.1%	10.5%	3.2%	45.3%	13.7%	31.6	0.40

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

⑥ 将来像2『新しい芽が伸びゆく社会』

【性別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合に大きな違いは見られない。D.I 値では、男性の評価が低い。
- ・「以前との比較」も現在と同様、男女に大きな違いは見られない。D.I 値は、いずれも 30 ポイント前後で、現在の状況より評価が高い。

図表 (Ⅲ) 1-32 新しい芽が伸びゆく社会－現在の状況－性別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	707	7.8%	28.0%	37.3%	21.1%	5.8%	35.8%	26.9%	8.9	0.11
男 性	300	8.0%	24.3%	37.3%	25.3%	5.0%	32.3%	30.3%	2.0	0.05
女 性	401	7.7%	30.4%	37.2%	18.2%	6.5%	38.1%	24.7%	13.4	0.15
無回答	6	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0	0.50

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表 (Ⅲ) 1-33 新しい芽が伸びゆく社会－以前との比較－性別

	合 計 (人)	よくな っている	どちらか という よくな っている	どちら とも いえ ない	どちらか という 悪くな っている	悪くな っている	よくな っている ＋ どちら かとい うとよ くなっ ている	どちら かとい うと 悪くな っている ＋ 悪くな っている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	642	9.0%	33.3%	48.8%	6.1%	2.8%	42.3%	8.9%	33.4	0.40
男 性	278	7.6%	31.3%	50.4%	7.6%	3.2%	38.9%	10.8%	28.1	0.32
女 性	359	9.7%	35.1%	47.6%	5.0%	2.5%	44.8%	7.5%	37.3	0.45
無回答	5	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	60.0	1.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【年齢別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、年齢によって回答傾向に差がある。特に、50～59 歳では低い値を示している。マイナスの回答割合も同様に、50～59 歳のマイナス値が高い。
- ・D.I 値も年齢層によってばらつきが見られ、40 歳代、50 歳代の評価が低い。

- ・「以前との比較」のプラスの回答割合を見ると、50歳代以外の年齢層で40%を超える値を示している。マイナスの回答割合は年齢によって若干の差が見られ、全体のなかで見ると、50歳代のマイナス値が高い。
- ・D.I値は、すべての年齢層でプラス値となっており、一定の評価を得ていると言えるが、50歳代の評価は厳しいと言える。

図表(Ⅲ) 1-34 新しい芽が伸びゆく社会－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	707	7.8%	28.0%	37.3%	21.1%	5.8%	35.8%	26.9%	8.9	0.11
15～19歳	33	24.2%	27.3%	27.3%	15.2%	6.1%	51.5%	21.3%	30.2	0.48
20～29歳	54	7.4%	25.9%	44.4%	13.0%	9.3%	33.3%	22.3%	11.0	0.09
30～39歳	101	5.9%	33.7%	34.7%	20.8%	5.0%	39.6%	25.8%	13.8	0.15
40～49歳	109	6.4%	26.6%	35.8%	24.8%	6.4%	33.0%	31.2%	1.8	0.02
50～59歳	123	1.6%	22.0%	39.8%	32.5%	4.1%	23.6%	36.6%	-13.0	-0.15
60～69歳	153	5.9%	30.1%	39.2%	19.0%	5.9%	36.0%	24.9%	11.1	0.11
70歳以上	128	14.8%	28.1%	35.9%	15.6%	5.5%	42.9%	21.1%	21.8	0.31
無回答	6	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	33.3	0.17

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表(Ⅲ) 1-35 新しい芽が伸びゆく社会－以前との比較－年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ うになっ ている	どちらと もいえな い	どちらか というよ うになっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ うになっ ている	どちらか というよ うになっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	642	9.0%	33.3%	48.8%	6.1%	2.8%	42.3%	8.9%	33.4	0.40
15～19歳	26	23.1%	38.5%	38.5%	0.0%	0.0%	61.6%	0.0%	61.6	0.85
20～29歳	41	9.8%	36.6%	46.3%	4.9%	2.4%	46.4%	7.3%	39.1	0.46
30～39歳	79	7.6%	35.4%	46.8%	8.9%	1.3%	43.0%	10.2%	32.8	0.39
40～49歳	104	10.6%	29.8%	51.9%	3.8%	3.8%	40.4%	7.6%	32.8	0.39
50～59歳	114	5.3%	23.7%	56.1%	13.2%	1.8%	29.0%	15.0%	14.0	0.18
60～69歳	150	7.3%	36.0%	48.0%	4.7%	4.0%	43.3%	8.7%	34.6	0.38
70歳以上	122	9.8%	39.3%	44.3%	3.3%	3.3%	49.1%	6.6%	42.5	0.49
無回答	6	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0	0.83

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【世帯状況別の集計結果】

「小学生未満の子どもがいる」「小学生～中学生の子どもがいる」の回答傾向を、回答者全体と比較した。

- ・「現在の状況」と全体の回答傾向とを比較すると、「小学生未満の子どもがいる」世帯でプラスの回答割合が高く、マイナスの回答割合が低くなっている。
- ・D.I 値も、「小学生未満の子どもがいる」世帯の値が全体より 10 ポイント程度高く、良い評価を得ている。
- ・「以前との比較」も現在と同様の傾向である。
- ・D.I 値は、プラス値が 40 ポイント前後で、子育て世帯から高い評価を得ていると言える。

図表（Ⅲ）1-36 新しい芽が伸びゆく社会－現在の状況－世帯状況別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえない	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	707	7.8%	28.0%	37.3%	21.1%	5.8%	35.8%	26.9%	8.9	0.11
小学生未満の子 どもがいる	79	7.6%	36.7%	32.9%	20.3%	2.5%	44.3%	22.8%	21.5	0.27
小学生～中学生 の子どもがいる	100	6.0%	30.0%	36.0%	23.0%	5.0%	36.0%	28.0%	8.0	0.09

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-37 新しい芽が伸びゆく社会－以前との比較－世帯状況別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ うになっ ている	どちらと もいえない	どちらか というよ うに悪く なっている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ うになっ ている	どちらか というよ うに悪く なっている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	642	9.0%	33.3%	48.8%	6.1%	2.8%	42.3%	8.9%	33.4	0.40
小学生未満の子 どもがいる	63	11.1%	42.9%	41.3%	4.8%	0.0%	54.0%	4.8%	49.2	0.60
小学生～中学生 の子どもがいる	91	14.3%	34.1%	42.9%	7.7%	1.1%	48.4%	8.8%	39.6	0.53

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

⑦ 高齢者が活躍するまち

【性別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合は女性が高く、マイナスの回答割合は男性が高い。D.I 値は、男女で 15 ポイント以上の差が見られ、性別により実感に差が見られる。
- ・「以前との比較」も現在と同様、男女の回答に差が見られる。D.I 値も、15 ポイント程度の差が見られるが、現在の状況より評価は高い。

図表 (Ⅲ) 1-38 高齢者が活躍するまち－現在の状況－性別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえない	あまり 思わない	思わない	思う＋ やや思 う	あまり 思わない＋思 わない	D.I値	平均 スコア
回答者全体	798	11.5%	30.7%	26.8%	21.6%	9.4%	42.2%	31.0%	11.2	0.13
男 性	332	9.0%	28.0%	28.0%	23.8%	11.1%	37.0%	34.9%	2.1	0.00
女 性	460	13.0%	32.8%	25.9%	20.0%	8.3%	45.8%	28.3%	17.5	0.22
無回答	6	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	33.3	0.67

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表 (Ⅲ) 1-39 高齢者が活躍するまち－以前との比較－性別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえない	どちらか というよ 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか というよ 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	702	12.8%	31.3%	44.2%	6.6%	5.1%	44.1%	11.7%	32.4	0.40
男 性	298	8.1%	30.9%	46.0%	8.4%	6.7%	39.0%	15.1%	23.9	0.25
女 性	398	16.1%	31.7%	43.0%	5.3%	4.0%	47.8%	9.3%	38.5	0.51
無回答	6	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	66.6%	0.0%	66.6	1.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【年齢別の集計結果】

- 「60 歳～69 歳」「70 歳以上」の回答傾向を、回答者全体と比較した。
- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合とも全体の回答傾向と大きな違いは見られない。
- ・D.I 値でみると、全体の傾向と比較して、50、60 歳代の評価が低い。

- ・「以前との比較」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合ともに全体の回答傾向と大きな違いは見られない。
- ・D.I 値も全体の傾向と大きな違いはなく、高齢層から一定の評価を得ていると言える。

図表（Ⅲ）1-40 高齢者が活躍するまち－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	798	11.5%	30.7%	26.8%	21.6%	9.4%	42.2%	31.0%	11.2	0.13
15～19歳	36	19.4%	30.6%	25.0%	22.2%	2.8%	50.0%	25.0%	25.0	0.42
20～29歳	63	19.0%	38.1%	20.6%	15.9%	6.3%	57.1%	22.2%	34.9	0.48
30～39歳	111	17.1%	28.8%	27.0%	20.7%	6.3%	45.9%	27.0%	18.9	0.30
40～49歳	123	5.7%	35.0%	26.0%	22.0%	11.4%	40.7%	33.4%	7.3	0.02
50～59歳	142	7.7%	30.3%	26.8%	22.5%	12.7%	38.0%	35.2%	2.8	-0.02
60～69歳	168	7.1%	28.6%	31.0%	23.8%	9.5%	35.7%	33.3%	2.4	0.00
70歳以上	148	14.9%	29.1%	25.7%	20.9%	9.5%	44.0%	30.4%	13.6	0.19
無回答	7	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3	0.29

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-41 高齢者が活躍するまち－以前との比較－年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか という よくなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか という 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか という よくなっ ている	どちらか という 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	702	12.8%	31.3%	44.2%	6.6%	5.1%	44.1%	11.7%	32.4	0.40
15～19歳	24	25.0%	8.3%	62.5%	0.0%	4.2%	33.3%	4.2%	29.1	0.50
20～29歳	46	17.4%	41.3%	32.6%	4.3%	4.3%	58.7%	8.6%	50.1	0.63
30～39歳	86	16.3%	30.2%	45.3%	3.5%	4.7%	46.5%	8.2%	38.3	0.50
40～49歳	110	8.2%	33.6%	43.6%	9.1%	5.5%	41.8%	14.6%	27.2	0.30
50～59歳	129	9.3%	28.7%	48.8%	6.2%	7.0%	38.0%	13.2%	24.8	0.27
60～69歳	160	9.4%	36.9%	42.5%	6.3%	5.0%	46.3%	11.3%	35.0	0.39
70歳以上	140	17.1%	27.1%	42.9%	9.3%	3.6%	44.2%	12.9%	31.3	0.45
無回答	7	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	57.2%	14.3%	42.9	0.57

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【世帯状況別の集計結果】

「65歳以上の高齢者がいる」世帯の回答傾向を、回答者全体と比較した。

- ・「現在の状況」「以前との比較」いずれも、全体の回答傾向と比較して、プラスの回答割合、マイナスの回答割合ともに違いは見られない。
- ・D.I値についても、「現在の状況」「以前との比較」いずれも、回答者全体と傾向に大きな違いはなく、良好な状況を示していると言える。

図表（Ⅲ）1-42 高齢者が活躍するまち－現在の状況－世帯状況別

	合 計 (人)	思う	やや思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	思う＋ やや思う	あまり 思わない＋ 思わない	D.I値	平均 スコア
回答者全体	798	11.5%	30.7%	26.8%	21.6%	9.4%	42.2%	31.0%	11.2	0.13
小学生未満の子どもがいる	83	15.7%	36.1%	25.3%	20.5%	2.4%	51.8%	22.9%	28.9	0.42
小学生～中学生の子どもがいる	105	13.3%	35.2%	21.9%	22.9%	6.7%	48.5%	29.6%	18.9	0.26
65歳以上の高齢者がいる	333	11.4%	30.3%	26.1%	22.2%	9.9%	41.7%	32.1%	9.6	0.11
単身世帯（一人暮らし）	118	11.0%	22.9%	33.9%	16.1%	16.1%	33.9%	32.2%	1.7	-0.03
上記以外の世帯	224	10.7%	33.5%	24.6%	21.9%	9.4%	44.2%	31.3%	12.9	0.14
無回答	14	35.7%	7.1%	35.7%	14.3%	7.1%	42.8%	21.4%	21.4	0.50

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-43 高齢者が活躍するまち－以前との比較－世帯状況別

	合 計 (人)	よくなっている	どちらか という よくなっている	どちらとも いえない	どちらか という 悪くなっている	悪くなっている	よくなっている＋ どちらかという よくなっている	どちらか という 悪くなっている＋ 悪くなっている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	702	12.8%	31.3%	44.2%	6.6%	5.1%	44.1%	11.7%	32.4	0.40
小学生未満の子どもがいる	62	21.0%	33.9%	41.9%	1.6%	1.6%	54.9%	3.2%	51.7	0.71
小学生～中学生の子どもがいる	90	12.2%	38.9%	37.8%	6.7%	4.4%	51.1%	11.1%	40.0	0.48
65歳以上の高齢者がいる	309	14.2%	29.8%	42.7%	8.4%	4.9%	44.0%	13.3%	30.7	0.40
単身世帯（一人暮らし）	105	12.4%	28.6%	42.9%	8.6%	7.6%	41.0%	16.2%	24.8	0.30
上記以外の世帯	189	10.6%	29.6%	50.8%	4.8%	4.2%	40.2%	9.0%	31.2	0.38
無回答	14	28.6%	42.9%	21.4%	0.0%	7.1%	71.5%	7.1%	64.4	0.86

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

⑧ 障害を感じさせないまち

【年齢別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、年齢層で回答傾向に差が見られる。特に、若年層と高齢層で高い割合を示している。一方、マイナスの回答割合に大きな差は見られない。
- ・D.I 値も年齢層によってばらつきが見られ、若年層と 70 歳以上の評価が高い。
- ・「以前との比較」のすべての年齢層でプラスの回答割合が高く、60%を超える値を示している。マイナスの回答割合はすべての年齢層で、一桁台の低い値になっている。
- ・D.I 値は、すべての年齢層でプラス値が高く、高い評価を得ていると言える。

図表 (Ⅲ) 1-44 障害を感じさせないまち－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	806	10.9%	35.6%	23.8%	20.6%	9.1%	46.5%	29.7%	16.8	0.19
15～19歳	39	25.6%	35.9%	17.9%	12.8%	7.7%	61.5%	20.5%	41.0	0.59
20～29歳	67	13.4%	37.3%	22.4%	22.4%	4.5%	50.7%	26.9%	23.8	0.33
30～39歳	116	10.3%	38.8%	29.3%	12.9%	8.6%	49.1%	21.5%	27.6	0.29
40～49歳	136	7.4%	31.6%	29.4%	19.1%	12.5%	39.0%	31.6%	7.4	0.02
50～59歳	140	7.9%	30.0%	27.9%	25.0%	9.3%	37.9%	34.3%	3.6	0.02
60～69歳	167	6.0%	38.9%	19.2%	25.7%	10.2%	44.9%	35.9%	9.0	0.05
70歳以上	135	17.8%	37.8%	18.5%	18.5%	7.4%	55.6%	25.9%	29.7	0.40
無回答	6	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	66.6%	33.3%	33.3	0.67

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ） 1-45 障害を感じさせないまちー以前との比較ー年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか というよ 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか というよ 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	749	24.3%	44.1%	26.4%	3.1%	2.1%	68.4%	5.2%	63.2	0.85
15～19歳	30	56.7%	30.0%	10.0%	0.0%	3.3%	86.7%	3.3%	83.4	1.37
20～29歳	53	39.6%	39.6%	20.8%	0.0%	0.0%	79.2%	0.0%	79.2	1.19
30～39歳	102	30.4%	44.1%	22.5%	1.0%	2.0%	74.5%	3.0%	71.5	1.00
40～49歳	129	19.4%	49.6%	27.9%	1.6%	1.6%	69.0%	3.2%	65.8	0.84
50～59歳	134	16.4%	46.3%	31.3%	3.0%	3.0%	62.7%	6.0%	56.7	0.70
60～69歳	163	17.2%	45.4%	29.4%	5.5%	2.5%	62.6%	8.0%	54.6	0.69
70歳以上	132	26.5%	40.2%	25.8%	5.3%	2.3%	66.7%	7.6%	59.1	0.83
無回答	6	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	83.3	1.33

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

⑨ 将来像3『長寿を楽しめる社会』

【年齢別の集計結果】

「60歳～69歳」「70歳以上」回答傾向を、回答者全体と比較した。

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合とも全体の回答傾向と大きな違いは見られない。
- ・D.I値でみると、全体の傾向と比較して、60歳代の評価が低い。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合ともに全体の回答傾向と大きな違いは見られない。
- ・D.I値も全体の傾向と大きな違いはなく、プラス値も40ポイントを超えており、一定の評価を得ていると言える。

図表（Ⅲ）1-46 長寿を楽しめる社会－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえない	あまり 思わない	思わない	思う＋ やや思 う	あまり 思わない＋ 思わない	D.I値	平均 スコア
回答者全体	766	11.5%	32.8%	29.8%	17.5%	8.5%	44.3%	26.0%	18.3	0.21
15～19歳	35	34.3%	37.1%	11.4%	5.7%	11.4%	71.4%	17.1%	54.3	0.77
20～29歳	55	23.6%	40.0%	29.1%	5.5%	1.8%	63.6%	7.3%	56.3	0.78
30～39歳	104	14.4%	29.8%	33.7%	12.5%	9.6%	44.2%	22.1%	22.1	0.27
40～49歳	121	6.6%	38.8%	30.6%	15.7%	8.3%	45.4%	24.0%	21.4	0.20
50～59歳	133	7.5%	23.3%	36.8%	24.8%	7.5%	30.8%	32.3%	-1.5	-0.02
60～69歳	167	7.8%	29.9%	30.5%	21.6%	10.2%	37.7%	31.8%	5.9	0.04
70歳以上	147	10.2%	38.1%	24.5%	19.0%	8.2%	48.3%	27.2%	21.1	0.23
無回答	4	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	25.0%	50.0	0.75

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-47 長寿を楽しめる社会－以前との比較－年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえない	どちらか というよ 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか というよ 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	681	17.2%	35.4%	39.4%	4.6%	3.5%	52.6%	8.1%	44.5	0.58
15～19歳	27	37.0%	40.7%	18.5%	0.0%	3.7%	77.7%	3.7%	74.0	1.07
20～29歳	43	18.6%	44.2%	34.9%	0.0%	2.3%	62.8%	2.3%	60.5	0.77
30～39歳	84	19.0%	35.7%	38.1%	3.6%	3.6%	54.7%	7.2%	47.5	0.63
40～49歳	114	12.3%	35.1%	46.5%	4.4%	1.8%	47.4%	6.2%	41.2	0.52
50～59歳	115	10.4%	31.3%	48.7%	5.2%	4.3%	41.7%	9.5%	32.2	0.38
60～69歳	159	17.0%	36.5%	36.5%	5.7%	4.4%	53.5%	10.1%	43.4	0.56
70歳以上	135	20.0%	34.8%	35.6%	5.9%	3.7%	54.8%	9.6%	45.2	0.61
無回答	4	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	75.0	1.50

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【世帯状況別の集計結果】

「65 歳以上の高齢者がいる」世帯の回答傾向を、回答者全体と比較した。

- ・「現在の状況」「以前との比較」いずれも、全体の回答傾向と比較して、プラスの回答割合、マイナスの回答割合ともに大きな違いは見られない。
- ・D.I 値も、「現在の状況」「以前との比較」いずれも、回答者全体と傾向に大きな違いはなく、良好な状況を示していると言える。

図表（Ⅲ）1-48 長寿を楽しめる社会－現在の状況－世帯状況別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	766	11.5%	32.8%	29.8%	17.5%	8.5%	44.3%	26.0%	18.3	0.21
小学生未満の子 どもがいる	79	19.0%	34.2%	31.6%	10.1%	5.1%	53.2%	15.2%	38.0	0.52
小学生～中学生 の子どもがいる	101	15.8%	37.6%	27.7%	13.9%	5.0%	53.4%	18.9%	34.5	0.46
65歳以上の高 齢者がいる	322	8.4%	35.1%	27.0%	18.9%	10.6%	43.5%	29.5%	14.0	0.12
単身世帯（一人 暮らし）	119	8.4%	31.9%	27.7%	21.0%	10.9%	40.3%	31.9%	8.4	0.06
上記以外の世帯	216	12.0%	30.1%	32.4%	19.9%	5.6%	42.1%	25.5%	16.6	0.23
無回答	10	60.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	70.0%	10.0%	60.0	1.10

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-49 長寿を楽しめる社会－以前との比較－世帯状況別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ うによくな っている	どちらと もいえな い	どちらか というよ うに悪くな っている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ うによくな っている	どちらか というよ うに悪くな っている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	681	17.2%	35.4%	39.4%	4.6%	3.5%	52.6%	8.1%	44.5	0.58
小学生未満の子 どもがいる	65	24.6%	29.2%	43.1%	1.5%	1.5%	53.8%	3.0%	50.8	0.74
小学生～中学生 の子どもがいる	93	21.5%	32.3%	41.9%	3.2%	1.1%	53.8%	4.3%	49.5	0.70
65歳以上の高 齢者がいる	299	17.4%	36.1%	36.8%	5.0%	4.7%	53.5%	9.7%	43.8	0.57
単身世帯（一人 暮らし）	101	12.9%	34.7%	36.6%	9.9%	5.9%	47.6%	15.8%	31.8	0.39
上記以外の世帯	185	14.1%	37.3%	44.3%	2.7%	1.6%	51.4%	4.3%	47.1	0.59
無回答	10	60.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	70.0%	10.0%	60.0	1.10

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

⑩ 犯罪がないまち

【性別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合は男性が高く、マイナスの回答割合は女性が高い。
D.I 値は、男女で若干の違いがあり性別により実感に差が見られる。
- ・「以前との比較」も現在と同様、男女の回答に差が見られる。
- ・D.I 値も、男女で 20 ポイント程度の差が見られ、女性の評価が低い。

図表（Ⅲ）1-50 犯罪がないまち－現在の状況－性別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	854	6.2%	22.1%	23.9%	27.0%	20.7%	28.3%	47.7%	-19.4	-0.34
男 性	346	4.9%	25.7%	22.8%	25.1%	21.4%	30.6%	46.5%	-15.9	-0.32
女 性	501	6.8%	19.2%	24.8%	28.7%	20.6%	26.0%	49.3%	-23.3	-0.37
無回答	7	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	85.7	1.14

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-51 犯罪がないまち－以前との比較－性別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか という とよくなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか という と悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか という とよくなっ ている	どちらか という と悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	792	9.7%	22.7%	39.1%	16.8%	11.6%	32.4%	28.4%	4.0	0.02
男 性	325	10.8%	27.4%	38.2%	12.9%	10.8%	38.2%	23.7%	14.5	0.14
女 性	460	8.7%	19.1%	40.0%	19.8%	12.4%	27.8%	32.2%	-4.4	-0.08
無回答	7	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	71.5%	0.0%	71.5	1.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【年齢別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、年齢層で回答傾向に差が見られ、特に、高齢層で高い割合を示している。
- ・一方、マイナスの回答割合は、20 歳代～50 歳代で高くなっている。
- ・D.I 値も年齢層によってばらつきが見られ、特に 70 歳以上だけがプラス値を示しており、最も評価が低い 40 歳代との比較では、約 70 ポイントの違いがある。
- ・「以前との比較」も同様に、70 歳代のプラスの回答割合が高く、40 歳代の割合が低い。
- ・マイナスの回答割合は 30 歳、40 歳代の値が高い。
- ・D.I 値は、年齢によりばらつきが見られ、特に 40 歳代でマイナス値が高く、評価が低い。一方、70 歳以上ではプラス値を示しており、年齢により評価が異なる。

図表（Ⅲ）1-52 犯罪がないまち－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや 思う	どちらと もいえ ない	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	854	6.2%	22.1%	23.9%	27.0%	20.7%	28.3%	47.7%	-19.4	-0.34
15～19歳	42	9.5%	21.4%	23.8%	23.8%	21.4%	30.9%	45.2%	-14.3	-0.26
20～29歳	68	4.4%	11.8%	26.5%	23.5%	33.8%	16.2%	57.3%	-41.1	-0.71
30～39歳	126	5.6%	12.7%	25.4%	27.8%	28.6%	18.3%	56.4%	-38.1	-0.61
40～49歳	139	1.4%	14.4%	19.4%	36.0%	28.8%	15.8%	64.8%	-49.0	-0.76
50～59歳	149	3.4%	19.5%	22.1%	33.6%	21.5%	22.9%	55.1%	-32.2	-0.50
60～69歳	172	7.0%	28.5%	27.3%	25.0%	12.2%	35.5%	37.2%	-1.7	-0.07
70歳以上	151	11.9%	36.4%	23.8%	17.9%	9.9%	48.3%	27.8%	20.5	0.23
無回答	7	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	71.5%	14.3%	57.2	0.71

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ） 1-53 犯罪がないまち一以前との比較一年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか というよ 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか というよ 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	792	9.7%	22.7%	39.1%	16.8%	11.6%	32.4%	28.4%	4.0	0.02
15～19歳	34	23.5%	17.6%	38.2%	14.7%	5.9%	41.1%	20.6%	20.5	0.38
20～29歳	54	14.8%	14.8%	38.9%	14.8%	16.7%	29.6%	31.5%	-1.9	-0.04
30～39歳	109	8.3%	19.3%	35.8%	23.9%	12.8%	27.6%	36.7%	-9.1	-0.14
40～49歳	130	6.9%	12.3%	40.8%	26.2%	13.8%	19.2%	40.0%	-20.8	-0.28
50～59歳	143	5.6%	23.8%	37.8%	16.8%	16.1%	29.4%	32.9%	-3.5	-0.14
60～69歳	168	6.0%	28.6%	45.2%	14.3%	6.0%	34.6%	20.3%	14.3	0.14
70歳以上	147	15.6%	30.6%	35.4%	8.2%	10.2%	46.2%	18.4%	27.8	0.33
無回答	7	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	57.2%	14.3%	42.9	0.57

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【居住地域別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合ともに、地域で大きな差は見られない。
- ・D.I 値は、すべての地域で、マイナスを示しているが、地域によって数値に差が見られる。最も高い逸見地域と最も低い久里浜地域では、約 20 ポイントの差があり、犯罪に対する実感に地域差が見られる。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合を見ると、田浦、西地域の割合が高く、本庁地域のプラス値は若干、低くなっている。
- ・一方、マイナスの回答割合は、北下浦、本庁地域で高い値を示している。
- ・D.I 値は、地域によってプラス、マイナスに分かれ、本庁地域と久里浜地域がマイナスの値を示しており地域によって評価が分かれる。

図表（Ⅲ）1-54 犯罪がないまち－現在の状況－居住地域別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえ ない	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	854	6.2%	22.1%	23.9%	27.0%	20.7%	28.3%	47.7%	-19.4	-0.34
本庁地域	124	5.6%	18.5%	24.2%	26.6%	25.0%	24.1%	51.6%	-27.5	-0.47
追浜地域	44	6.8%	20.5%	25.0%	29.5%	18.2%	27.3%	47.7%	-20.4	-0.32
田浦地域	44	9.1%	18.2%	29.5%	27.3%	15.9%	27.3%	43.2%	-15.9	-0.23
逸見地域	24	8.3%	25.0%	25.0%	33.3%	8.3%	33.3%	41.6%	-8.3	-0.08
衣笠地域	136	5.1%	22.1%	25.7%	30.1%	16.9%	27.2%	47.0%	-19.8	-0.32
大津地域	92	5.4%	27.2%	18.5%	17.4%	31.5%	32.6%	48.9%	-16.3	-0.42
浦賀地域	113	4.4%	24.8%	22.1%	31.0%	17.7%	29.2%	48.7%	-19.5	-0.33
久里浜地域	123	4.9%	18.7%	24.4%	27.6%	24.4%	23.6%	52.0%	-28.4	-0.48
北下浦地域	62	9.7%	22.6%	16.1%	30.6%	21.0%	32.3%	51.6%	-19.3	-0.31
西地域	80	7.5%	22.5%	31.3%	23.8%	15.0%	30.0%	38.8%	-8.8	-0.16
無回答	12	16.7%	41.7%	16.7%	8.3%	16.7%	58.4%	25.0%	33.4	0.33

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-55 犯罪がないまち－以前との比較－居住地域別

	合 計 (人)	よくな っている	どちらか という よくな っている	どちら ともい えない	どちらか という 悪くな っている	悪くな っている	よくな っている ＋ どちらか という よくな っている	どちらか という 悪くな っている ＋ 悪くな っている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	792	9.7%	22.7%	39.1%	16.8%	11.6%	32.4%	28.4%	4.0	0.02
本庁地域	120	5.8%	19.2%	43.3%	17.5%	14.2%	25.0%	31.7%	-6.7	-0.15
追浜地域	39	17.9%	17.9%	41.0%	10.3%	12.8%	35.8%	23.1%	12.7	0.18
田浦地域	37	8.1%	32.4%	37.8%	13.5%	8.1%	40.5%	21.6%	18.9	0.19
逸見地域	20	10.0%	25.0%	45.0%	15.0%	5.0%	35.0%	20.0%	15.0	0.20
衣笠地域	132	8.3%	22.0%	40.9%	18.9%	9.8%	30.3%	28.7%	1.6	0.00
大津地域	86	4.7%	27.9%	43.0%	12.8%	11.6%	32.6%	24.4%	8.2	0.01
浦賀地域	102	11.8%	21.6%	39.2%	17.6%	9.8%	33.4%	27.4%	6.0	0.08
久里浜地域	113	9.7%	17.7%	38.9%	18.6%	15.0%	27.4%	33.6%	-6.2	-0.12
北下浦地域	59	11.9%	25.4%	25.4%	27.1%	10.2%	37.3%	37.3%	0.0	0.02
西地域	74	13.5%	28.4%	35.1%	10.8%	12.2%	41.9%	23.0%	18.9	0.20
無回答	10	30.0%	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	50.0%	20.0%	30.0	0.50

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【世帯状況別】

- ・「現在の状況」みると、「小学生未満の子どもがいる」「小学生～中学生の子どもがいる」世帯でプラスの回答割合が低く、逆に、マイナスの回答割合が高くなっている。
- ・D.I 値は、すべての世帯属性でマイナスを示しており、特に「小学生未満の子どもがいる」「小学生～中学生の子どもがいる」世帯の値が高く、厳しい評価になっている。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合、いずれの値も世帯属性で大きな違いは見られない。
- ・D.I 値は、「小学生～中学生の子どもがいる」世帯のみマイナスを示している。

図表（Ⅲ）1-56 犯罪がないまち－現在の状況－世帯状況別

	合 計 (人)	思う	やや 思う	どちらと もいえな い	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	854	6.2%	22.1%	23.9%	27.0%	20.7%	28.3%	47.7%	-19.4	-0.34
小学生未満の子 どもがいる	92	7.6%	13.0%	28.3%	23.9%	27.2%	20.6%	51.1%	-30.5	-0.50
小学生～中学生 の子どもがいる	113	4.4%	18.6%	23.0%	35.4%	18.6%	23.0%	54.0%	-31.0	-0.45
65歳以上の高 齢者がいる	339	8.6%	27.4%	21.8%	25.7%	16.5%	36.0%	42.2%	-6.2	-0.14
単身世帯（一人 暮らし）	128	5.5%	26.6%	19.5%	22.7%	25.8%	32.1%	48.5%	-16.4	-0.37

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-57 犯罪がないまち－以前との比較－世帯状況別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか という よくなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか という 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか という よくなっ ている	どちらか という 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	792	9.7%	22.7%	39.1%	16.8%	11.6%	32.4%	28.4%	4.0	0.02
小学生未満の子 どもがいる	75	13.3%	24.0%	33.3%	17.3%	12.0%	37.3%	29.3%	8.0	0.09
小学生～中学生 の子どもがいる	102	8.8%	19.6%	32.4%	24.5%	14.7%	28.4%	39.2%	-10.8	-0.17
65歳以上の高 齢者がいる	328	11.0%	25.3%	35.4%	17.7%	10.7%	36.3%	28.4%	7.9	0.08
単身世帯（一人 暮らし）	117	12.0%	25.6%	39.3%	9.4%	13.7%	37.6%	23.1%	14.5	0.13

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

⑪ 災害に備えのあるまち

【居住地域別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合はすべての地域で 40%以上の高い値を示している。
- ・マイナスの回答割合ともに、地域で大きな差は見られない。
- ・D.I 値は、すべてプラスで良好な状況と言えるが、地域によって大きな差が見られる。
特に、最も高い田浦地域と最も低い本庁地域では、40 ポイント以上の差があり、災害に対する実感に地域差が見られる。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合はすべての地域で 50%以上の高い値を示している。
- ・一方、マイナスの回答割合は、すべての地域が一桁台で低く、大きな差は見られない。
- ・D.I 値は、すべて 50 ポイント以上の良好な状況を示しており、地域による差は見られない。

図表（Ⅲ） 1-58 災害に備えのあるまち－現在の状況－居住地域別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえ ない	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	762	15.7%	38.5%	24.9%	14.7%	6.2%	54.2%	20.9%	33.3	0.43
本庁地域	106	9.4%	34.9%	32.1%	17.9%	5.7%	44.3%	23.6%	20.7	0.25
追浜地域	37	10.8%	48.6%	32.4%	5.4%	2.7%	59.4%	8.1%	51.3	0.59
田浦地域	41	34.1%	34.1%	26.8%	4.9%	0.0%	68.2%	4.9%	63.3	0.98
逸見地域	21	28.6%	28.6%	33.3%	4.8%	4.8%	57.2%	9.6%	47.6	0.71
衣笠地域	122	15.6%	39.3%	23.8%	16.4%	4.9%	54.9%	21.3%	33.6	0.44
大津地域	81	17.3%	42.0%	19.8%	12.3%	8.6%	59.3%	20.9%	38.4	0.47
浦賀地域	109	16.5%	39.4%	22.9%	11.0%	10.1%	55.9%	21.1%	34.8	0.41
久里浜地域	107	15.0%	34.6%	22.4%	20.6%	7.5%	49.6%	28.1%	21.5	0.29
北下浦地域	55	7.3%	40.0%	27.3%	23.6%	1.8%	47.3%	25.4%	21.9	0.27
西地域	72	15.3%	40.3%	23.6%	15.3%	5.6%	55.6%	20.9%	34.7	0.44
無回答	11	36.4%	45.5%	0.0%	0.0%	18.2%	81.9%	18.2%	63.7	0.82

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-59 災害に備えのあるまち—以前との比較—居住地地域別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえ ない	どちらか という 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか という 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	701	20.7%	43.1%	31.4%	2.1%	2.7%	63.8%	4.8%	59.0	0.77
本庁地域	94	16.0%	42.6%	38.3%	1.1%	2.1%	58.6%	3.2%	55.4	0.69
追浜地域	36	25.0%	44.4%	27.8%	2.8%	0.0%	69.4%	2.8%	66.6	0.92
田浦地域	38	34.2%	36.8%	26.3%	2.6%	0.0%	71.0%	2.6%	68.4	1.03
逸見地域	19	42.1%	26.3%	31.6%	0.0%	0.0%	68.4%	0.0%	68.4	1.11
衣笠地域	110	16.4%	48.2%	30.9%	3.6%	0.9%	64.6%	4.5%	60.1	0.75
大津地域	78	19.2%	42.3%	35.9%	2.6%	0.0%	61.5%	2.6%	58.9	0.78
浦賀地域	100	22.0%	36.0%	34.0%	2.0%	6.0%	58.0%	8.0%	50.0	0.66
久里浜地域	100	18.0%	49.0%	26.0%	2.0%	5.0%	67.0%	7.0%	60.0	0.73
北下浦地域	51	15.7%	41.2%	39.2%	2.0%	2.0%	56.9%	4.0%	52.9	0.67
西地域	65	23.1%	46.2%	24.6%	1.5%	4.6%	69.3%	6.1%	63.2	0.82
無回答	10	40.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	90.0%	10.0%	80.0	1.10

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

⑫ 安全で安心して暮らせる社会

【男女別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合は男性が高く、マイナスの回答割合は、ほぼ同じである。D.I 値は、男女で若干の違いがあり、性別により実感に差が見られる。
- ・「以前との比較」も現在と同様、男女で大きな差は見られない。
- ・D.I 値は良好な状況であるが、男女で若干の差が見られ、女性の評価がやや低い。

図表（Ⅲ）1-60 安全で安心して暮らせる社会—現在の状況—性別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえ ない	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	838	9.8%	32.6%	32.1%	18.1%	7.4%	42.4%	25.5%	16.9	0.19
男 性	339	8.8%	38.3%	27.7%	16.8%	8.3%	47.1%	25.1%	22.0	0.23
女 性	492	10.4%	28.0%	35.4%	19.3%	6.9%	38.4%	26.2%	12.2	0.16
無回答	7	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	85.7	1.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ） 1-61 安全で安心して暮らせる社会－以前との比較－性別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか というよ くなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか というよ 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか というよ くなっ ている	どちらか というよ 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	753	12.7%	30.5%	41.3%	9.2%	6.2%	43.2%	15.4%	27.8	0.34
男 性	313	11.5%	32.9%	41.9%	6.4%	7.3%	44.4%	13.7%	30.7	0.35
女 性	433	13.4%	28.6%	41.1%	11.3%	5.5%	42.0%	16.8%	25.2	0.33
無回答	7	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	71.5%	0.0%	71.5	1.00

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【年齢別の集計結果】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合を見ると、年齢で回答傾向に差が見られ、特に、高齢層が高い割合を示している。
- ・一方でマイナスの回答割合は、それほど大きな差は見られない。
- ・D.I 値も年齢層によってばらつきが見られ、特に 60 歳代、70 歳以上の評価が高く 30 歳代～50 歳代の評価が低い。両者の比較では、30 ポイント程度の違いがある。
- ・「以前との比較」では、若年層、高齢層のプラスの回答割合が高く、40 歳代の割合が低い。
- ・マイナスの回答割合は 30 歳、40 歳代の値が高い。
- ・D.I 値は、年齢によりばらつきが見られ若年層、高齢層の評価は高いものの、40 歳代の評価は低く、年齢により評価が異なる。

図表（Ⅲ）1-62 安全で安心して暮らせる社会－現在の状況－年齢別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえ ない	あまり 思わな い	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	838	9.8%	32.6%	32.1%	18.1%	7.4%	42.4%	25.5%	16.9	0.19
15～19歳	41	22.0%	26.8%	24.4%	22.0%	4.9%	48.8%	26.9%	21.9	0.39
20～29歳	67	6.0%	35.8%	31.3%	17.9%	9.0%	41.8%	26.9%	14.9	0.12
30～39歳	121	6.6%	24.0%	41.3%	17.4%	10.7%	30.6%	28.1%	2.5	-0.02
40～49歳	140	6.4%	27.9%	37.1%	22.9%	5.7%	34.3%	28.6%	5.7	0.06
50～59歳	147	6.1%	28.6%	31.3%	22.4%	11.6%	34.7%	34.0%	0.7	-0.05
60～69歳	168	10.7%	41.7%	29.2%	14.3%	4.2%	52.4%	18.5%	33.9	0.40
70歳以上	147	16.3%	36.7%	27.2%	14.3%	5.4%	53.0%	19.7%	33.3	0.44
無回答	7	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	57.1	0.57

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-63 安全で安心して暮らせる社会－以前との比較－年齢別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか という よくなっ ている	どちらと もいえ ない	どちらか という 悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか という よくなっ ている	どちらか という 悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	753	12.7%	30.5%	41.3%	9.2%	6.2%	43.2%	15.4%	27.8	0.34
15～19歳	33	33.3%	24.2%	39.4%	0.0%	3.0%	57.5%	3.0%	54.5	0.85
20～29歳	48	16.7%	33.3%	37.5%	6.3%	6.3%	50.0%	12.6%	37.4	0.48
30～39歳	98	9.2%	27.6%	41.8%	13.3%	8.2%	36.8%	21.5%	15.3	0.16
40～49歳	122	4.9%	23.0%	50.0%	13.9%	8.2%	27.9%	22.1%	5.8	0.02
50～59歳	137	4.4%	28.5%	47.4%	12.4%	7.3%	32.9%	19.7%	13.2	0.10
60～69歳	160	12.5%	40.6%	37.5%	5.6%	3.8%	53.1%	9.4%	43.7	0.53
70歳以上	148	23.0%	30.4%	34.5%	6.8%	5.4%	53.4%	12.2%	41.2	0.59
無回答	7	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	57.2%	14.3%	42.9	0.57

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

【世帯状況別】

- ・「現在の状況」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合ともに、世帯属性で大きな差は見られない。
- ・D.I 値は、すべての世帯属性でプラスの値を示しているものの、「小学生未満の子どもがいる」世帯の値が低く、厳しい評価になっている。
- ・「以前との比較」のプラスの回答割合、マイナスの回答割合、いずれの値も世帯属性で大きな違いは見られない。
- ・D.I 値をみると良好な状況と言えるが、「小学生～中学生の子どもがいる」世帯のプラス値が、若干低くなっている。

図表（Ⅲ）1-64 安全で安心して暮らせる社会－現在の状況－世帯状況別

	合 計 (人)	思う	やや思 う	どちらと もいえな い	あまり 思わない	思わな い	思う＋ やや思 う	あまり 思わな い＋思 わな い	D.I値	平均 スコア
回答者全体	838	9.8%	32.6%	32.1%	18.1%	7.4%	42.4%	25.5%	16.9	0.19
小学生未満の子どもがいる	87	6.9%	27.6%	35.6%	20.7%	9.2%	34.5%	29.9%	4.6	0.02
小学生～中学生の子どもがいる	114	7.9%	33.3%	34.2%	16.7%	7.9%	41.2%	24.6%	16.6	0.17
65歳以上の高齢者がいる	333	11.4%	33.3%	33.0%	15.3%	6.9%	44.7%	22.2%	22.5	0.27
単身世帯（一人暮らし）	126	10.3%	33.3%	28.6%	19.0%	8.7%	43.6%	27.7%	15.9	0.17

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

図表（Ⅲ）1-65 安全で安心して暮らせる社会－以前との比較－世帯状況別

	合 計 (人)	よくなっ ている	どちらか という とよくなっ ている	どちらと もいえな い	どちらか という と悪くなっ ている	悪くなっ ている	よくなっ ている＋ どちらか という とよくなっ ている	どちらか という と悪くなっ ている＋ 悪くなっ ている	D.I値	平均 スコア
回答者全体	753	12.7%	30.5%	41.3%	9.2%	6.2%	43.2%	15.4%	27.8	0.34
小学生未満の子どもがいる	67	16.4%	29.9%	37.3%	10.4%	6.0%	46.3%	16.4%	29.9	0.40
小学生～中学生の子どもがいる	98	7.1%	31.6%	43.9%	11.2%	6.1%	38.7%	17.3%	21.4	0.22
65歳以上の高齢者がいる	322	15.8%	31.1%	36.6%	8.7%	7.8%	46.9%	16.5%	30.4	0.39
単身世帯（一人暮らし）	112	10.7%	30.4%	42.0%	9.8%	7.1%	41.1%	16.9%	24.2	0.28

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

2 『元気な横須賀』（新世紀ビジョンの目標）について（問 13）

新世紀ビジョンの目標である『元気な横須賀』について、市民の実感を尋ねた。

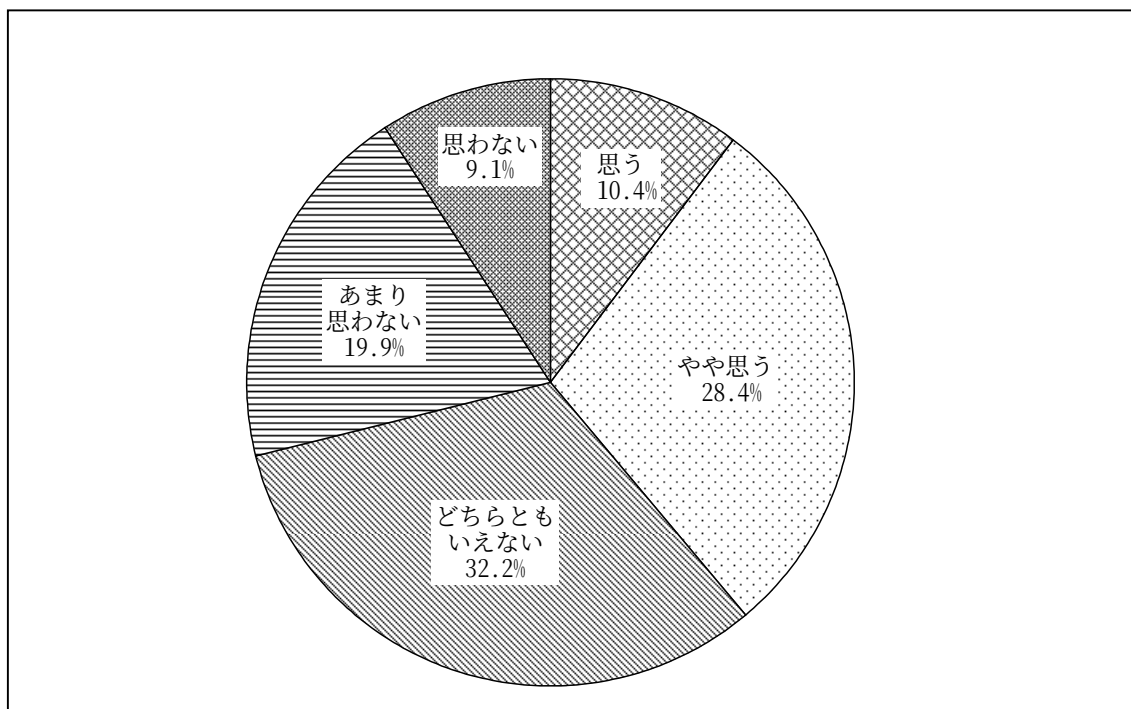
（1）現在の状況と以前との比較の回答傾向

現在の状況では、「思う(10.4%)」「やや思う(28.4%)」を合わせたプラスの回答は 38.8% であった。

一方、「あまり思わない(19.9%)」「思わない(9.1%)」を合わせたマイナスの回答は 29.0% で、D.I 値は約 10 ポイントとなり良好な状況と言える。

ただし、「どちらともいえない」とする回答が 32.2% となっており、注意が必要である。

図表（Ⅲ） 2-1 元気な横須賀－現在の状況（n=820）



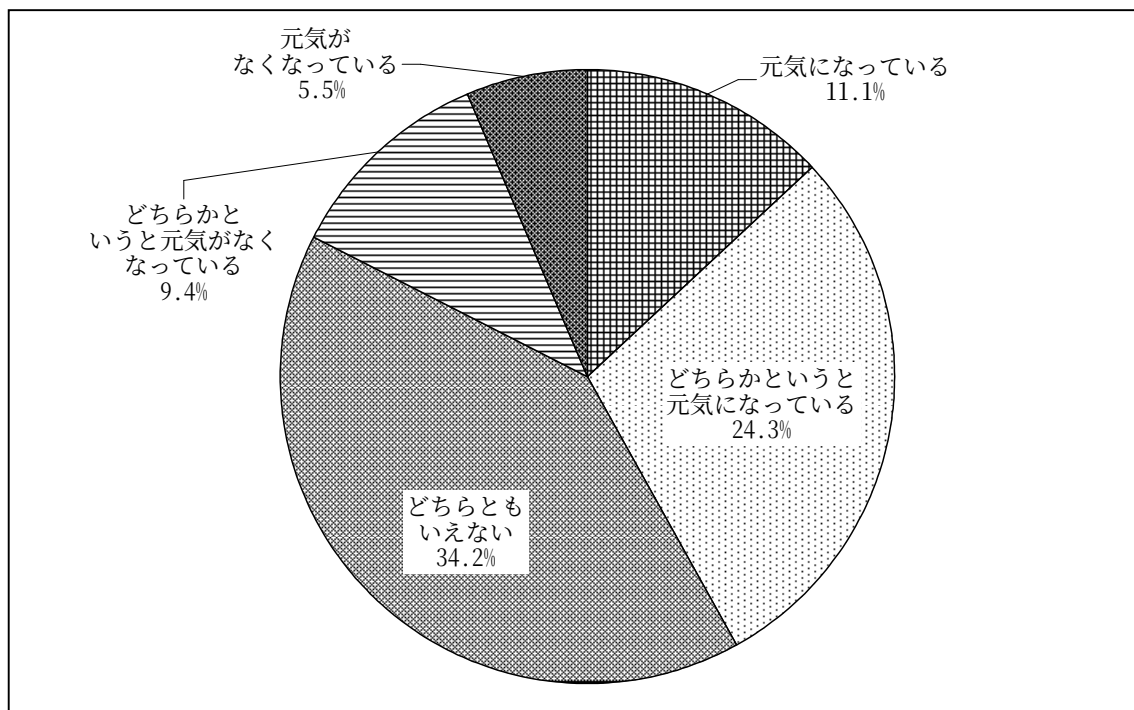
※割合は、わからない、無回答を除いて算出

以前との比較についてみると、「元気になっている(11.1%)」「どちらかという元気になっている(24.3%)」を合わせた、プラスの回答は 35% 以上になる。

一方、「どちらかという元気がなくなっている(9.4%)」「元気がなくなっている(5.5%)」というマイナスの回答は約 15% で、D.I 値はプラス 20 ポイントで改善傾向と言える。

ただし、「どちらともいえない」とする回答が約 35% を占めており、この点には注意が必要である。

図表（Ⅲ） 2-2 元気な横須賀ー以前との比較（n=754）



※割合は、わからない、無回答を除いて算出

（２）属性別の回答傾向

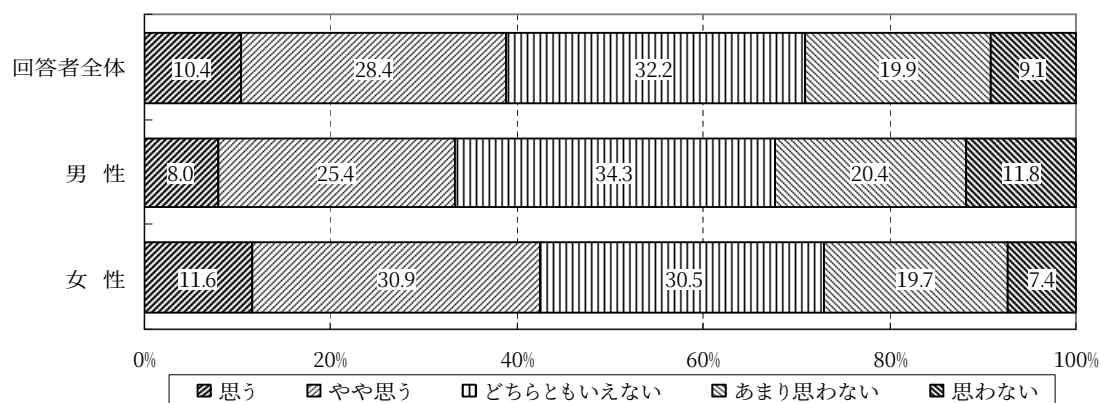
①性別

現在の状況の D.I 値を男女別にみると、男性の 1.2 ポイントに対し、女性は 15.4 ポイントで、女性が約 14 ポイント高い。

同様に、以前との比較で、D.I 値をみると、男性の 13.9 ポイントに対し、女性は 31.6 ポイントで、女性が約 16 ポイント高くなっており、いずれの場合も女性の評価が高い。

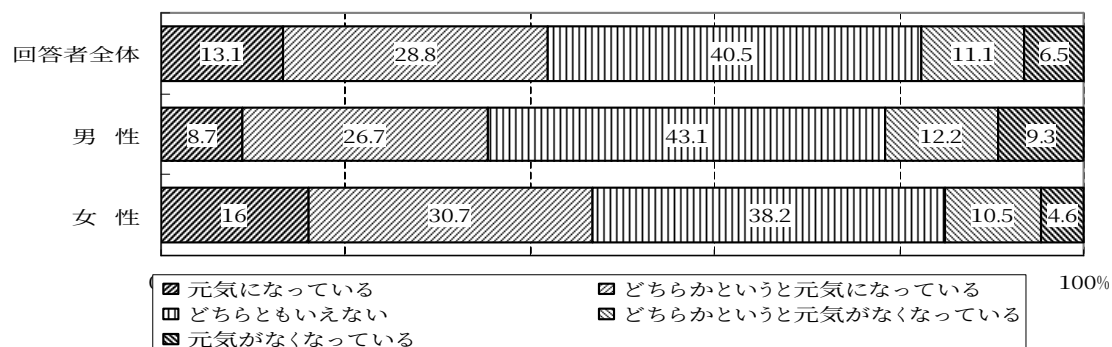
図表（Ⅲ） 2-3 現在について一性別

※割合は、わからない、無回答を除いて算出



図表（Ⅲ） 2-4 以前との比較一性別

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

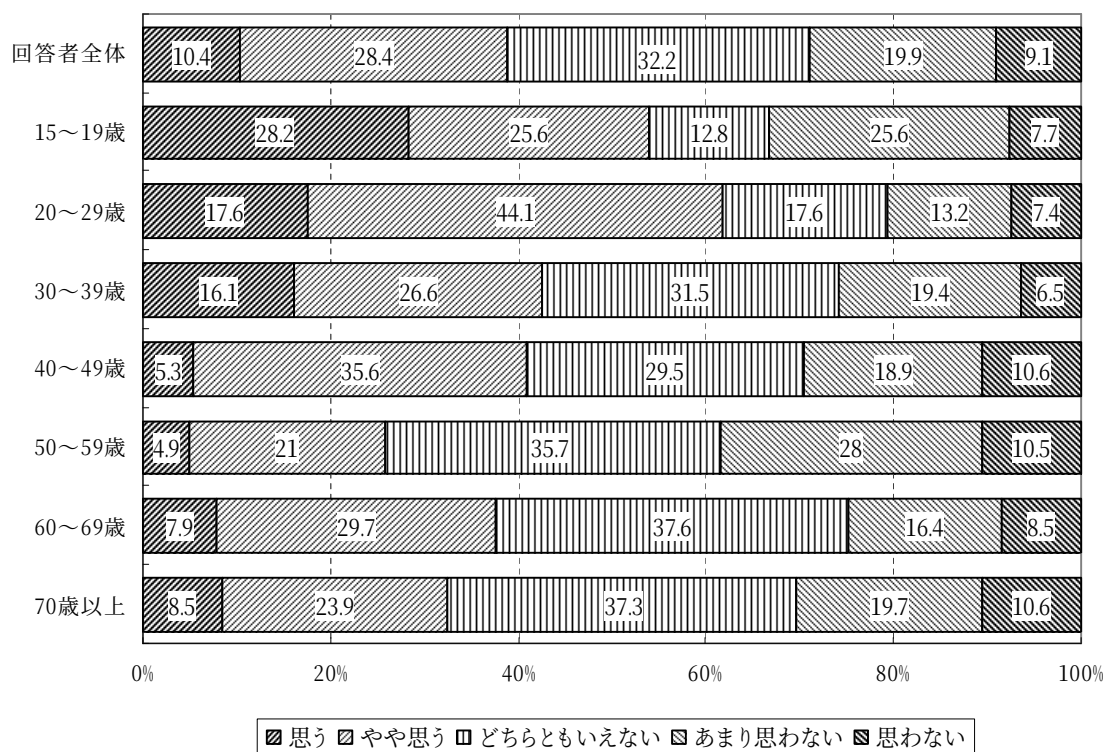


②年齢別

「現在の状況」の D.I 値を年齢別にみると 20 歳代の 41.1 ポイントを筆頭に、若年層で高くなっている。一方で、50 歳代は▲12.6 ポイントとなっており、年齢により実感が異なる。同様に、「以前との比較」でみると、すべての年齢層で D.I 値がプラスで。特に 15 歳～39 歳の年齢層で高く、10、20 歳代では、50 ポイントを上回る。一方で 50 歳代は 8.7 ポイントにとどまっており年齢により大きく実感が異なっている。

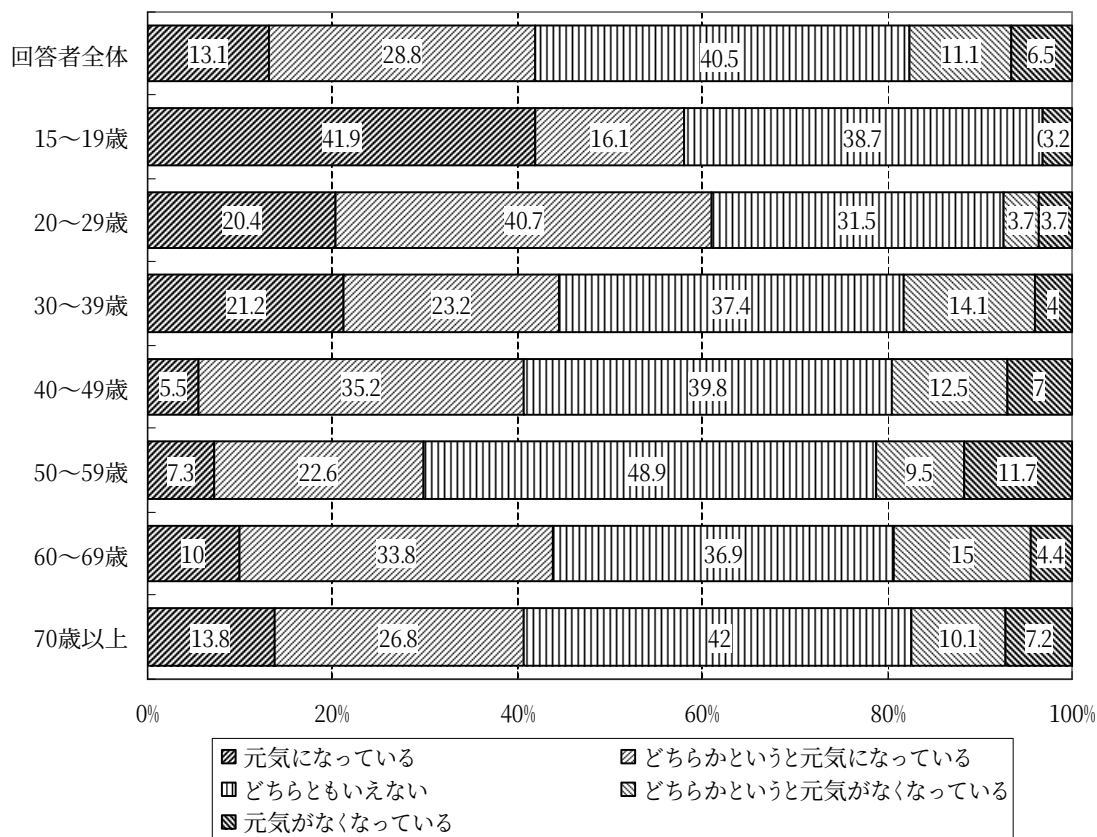
図表（Ⅲ） 2-5 現在の状況一年齢別

※割合は、わからない、無回答を除いて算出



図表（Ⅲ） 2-6 以前との比較一年齢別

※割合は、わからない、無回答を除いて算出



(3) 居住地域別

「現在の状況」のD.I値を、居住地域別にみると、すべての地域でプラスとなっている。このなかで、最も高い割合を示したのは逸見地域で、次いで田浦地域、本庁地域となっている。

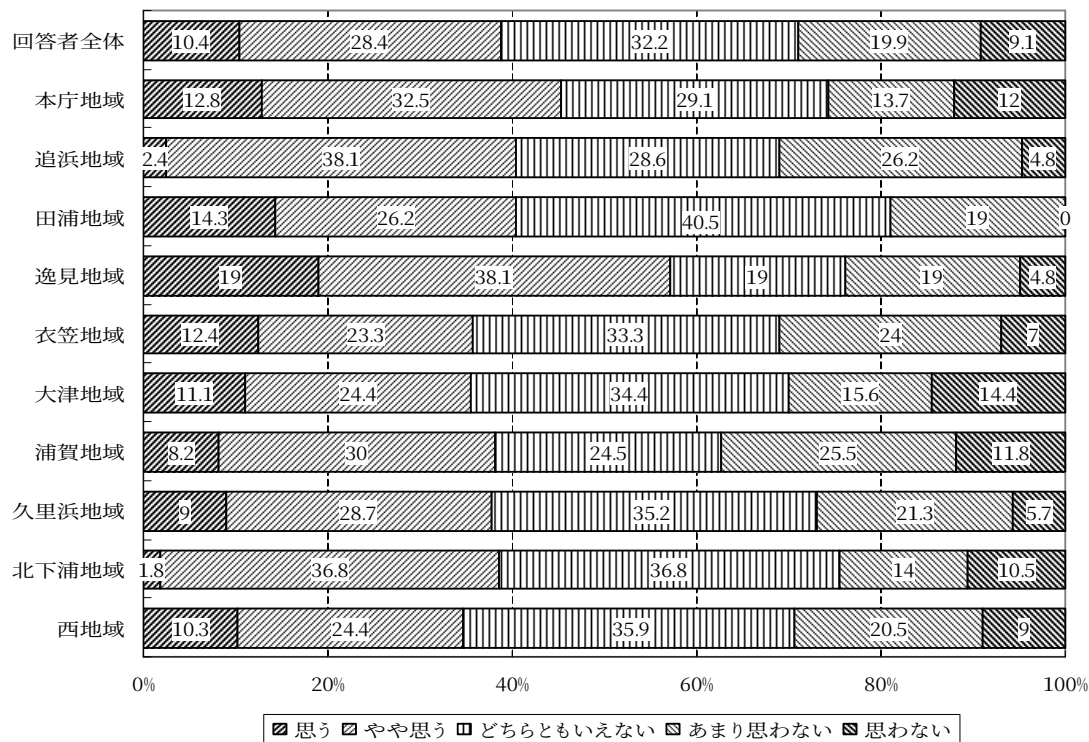
一方、最も低い値を示したのは浦賀地域で、逸見地域との差は30ポイント以上にのぼる。

同様に、「以前との比較」でみると、すべての地域で10ポイント以上のプラスとなっている。

最も高い値を示したのは「現在の状況」と同様、逸見地域だが、次いで高い地域は、大津地域、西地域で、地域によって実感に違いが見られる。

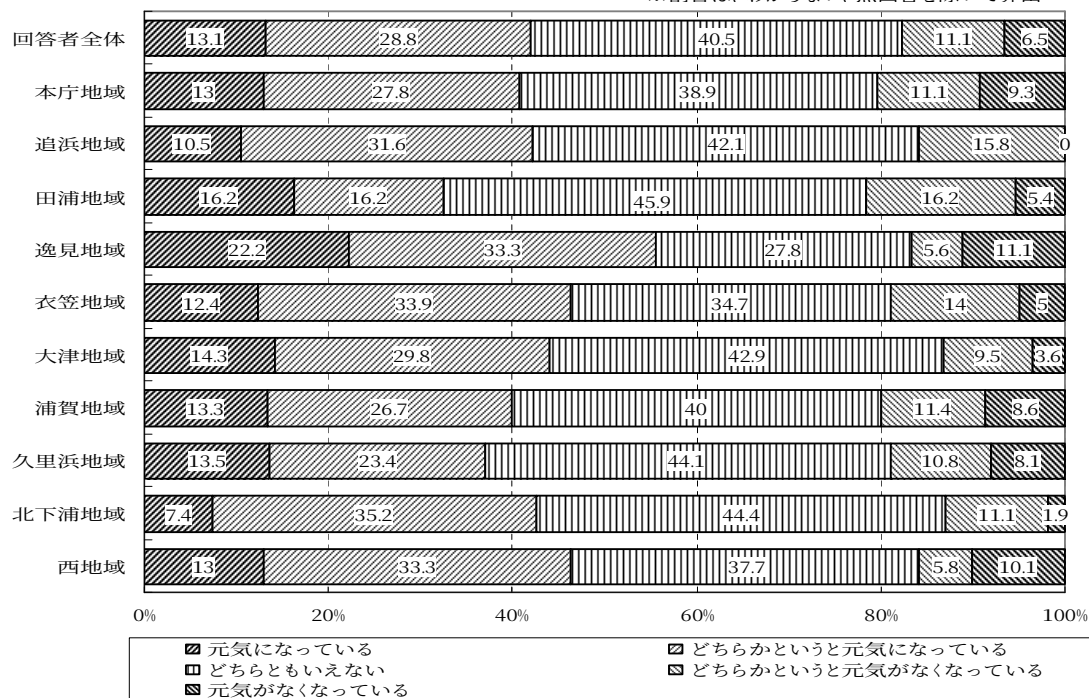
図表（Ⅲ）2-7 現在の状況－居住地域別

※割合は、わからない、無回答を除いて算出



図表（Ⅲ）2-8 以前との比較－居住地域別

※割合は、わからない、無回答を除いて算出



(4) 職業別

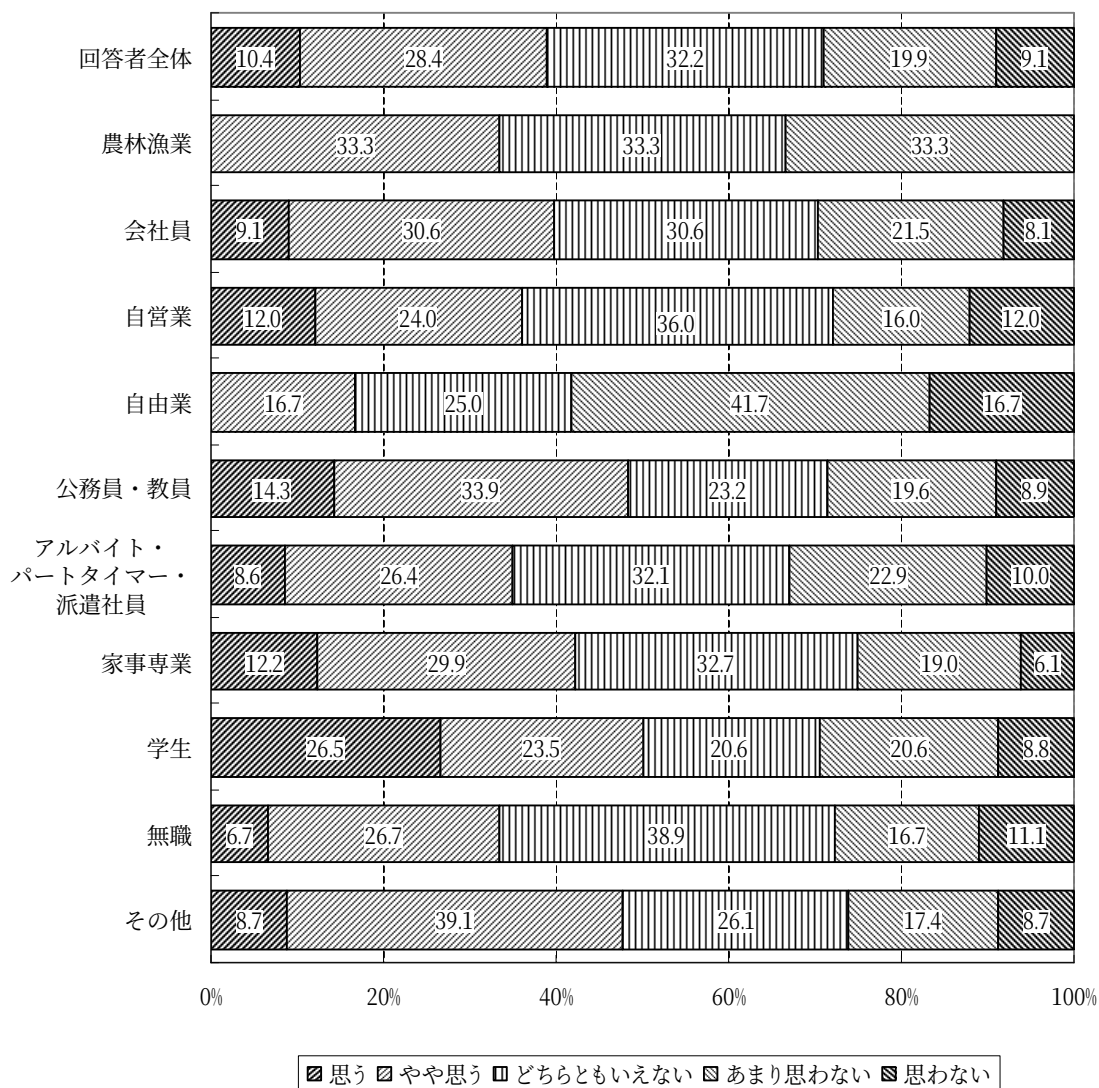
「現在の状況」の D.I 値を職業別にみると、自由業を除くすべての属性でプラスとなっている。なかでも、プラス割合が最も高い値を示したのは学生で、次いで公務員・教員、家事専業となっている。

同様に「以前との比較」でみると、農林漁業、自由業を除くすべての属性のプラス値が 10 ポイント以上となっている。

最も高い値を示したのは「現在の状況」と同様、学生で、48.4 ポイントに上る。一方で農林漁業は▲33.4 ポイントで、職業属性により実感におおきな違いが見られる。

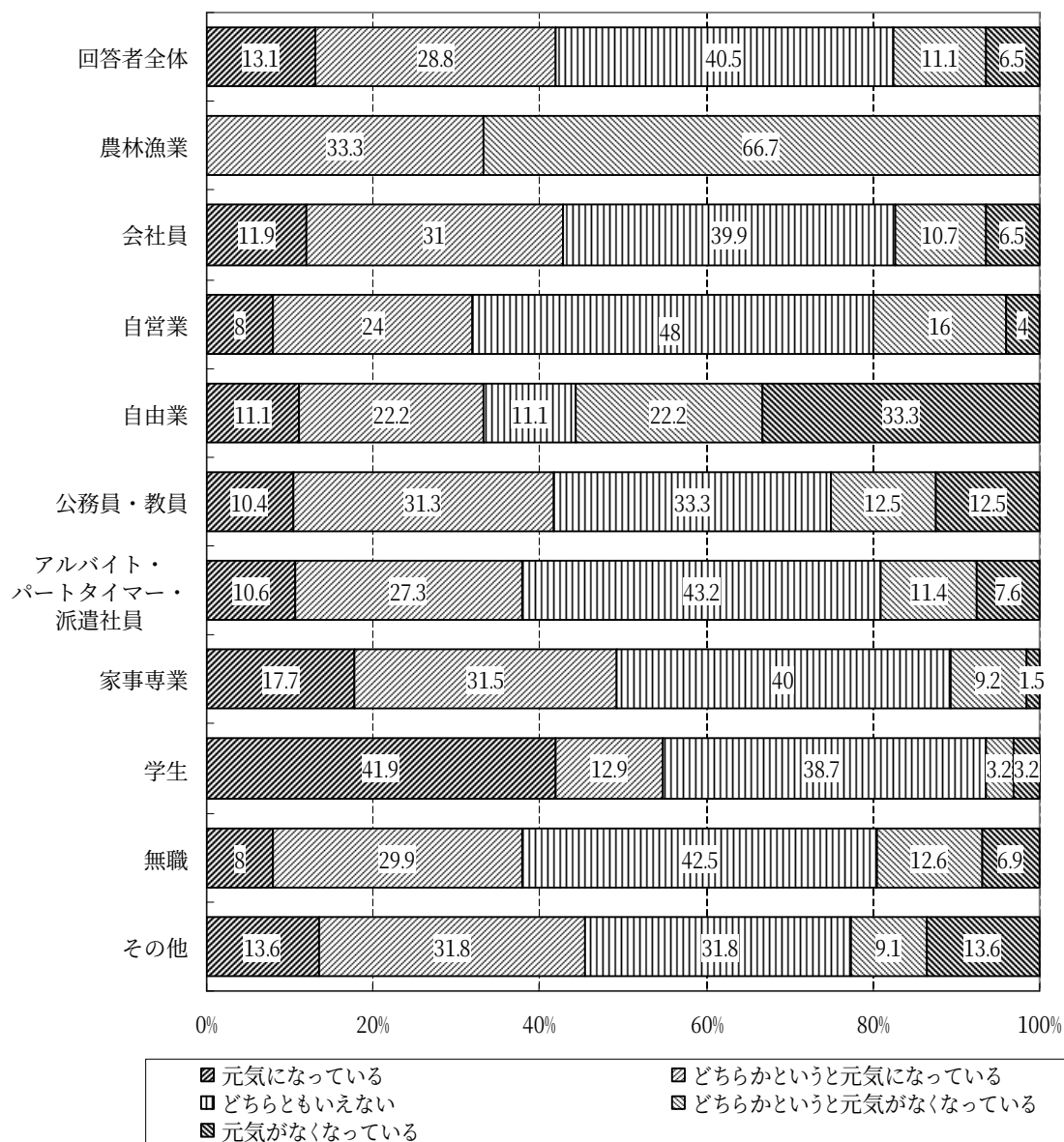
図表 (Ⅲ) 2-9 現在の状況－職業別

※割合は、わからない、無回答を除いて算出



図表（Ⅲ） 2-10 以前との比較―職業別

※割合は、わからない、無回答を除いて算出

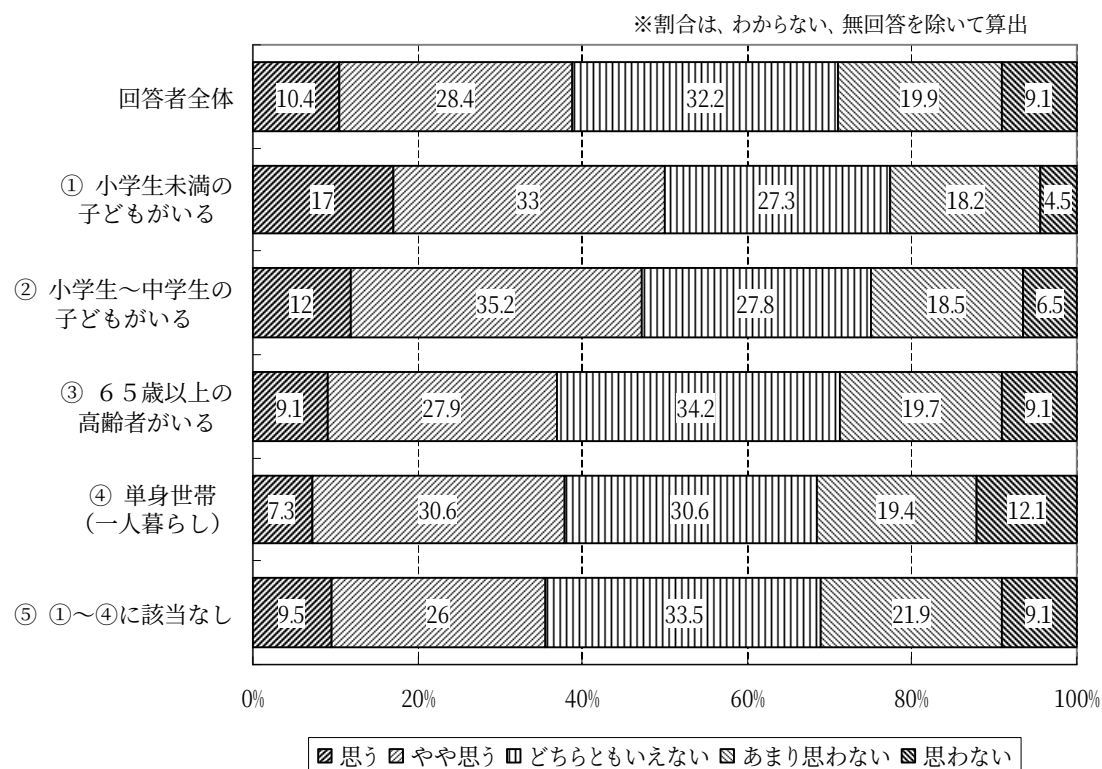


(5) 世帯状況別

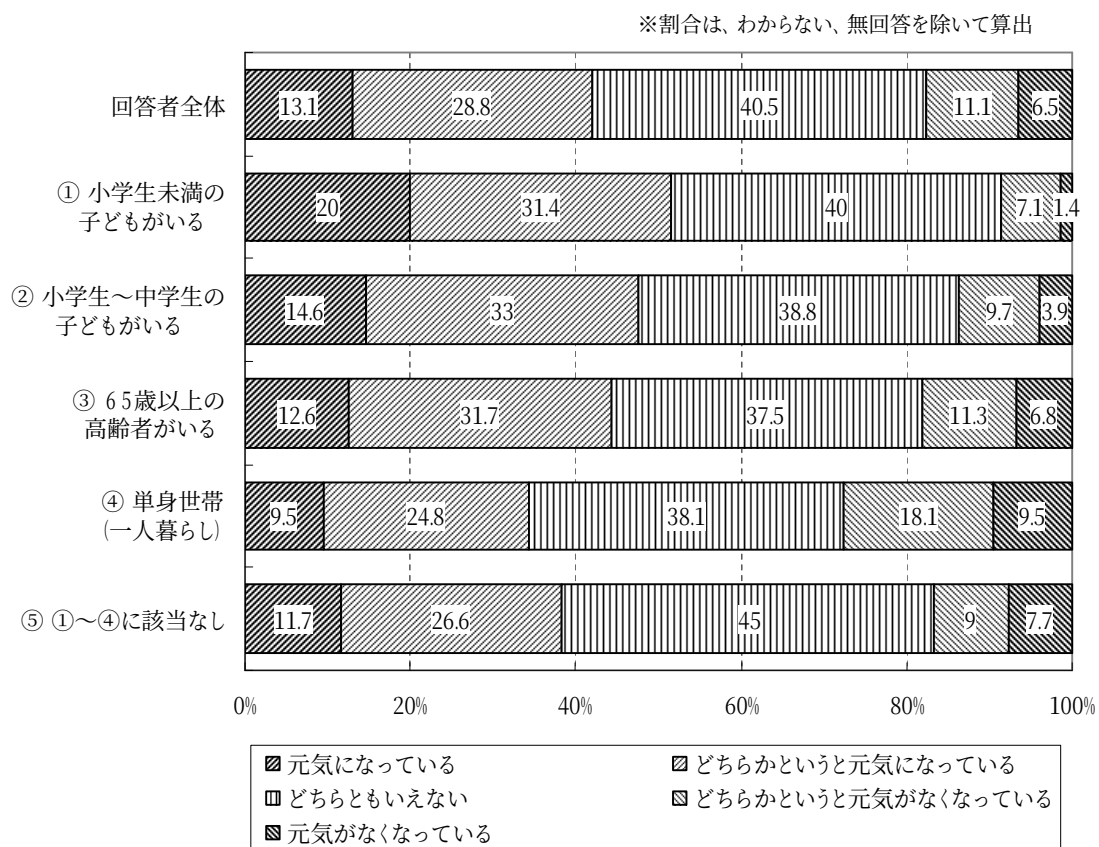
「現在の状況」の D.I 値を世帯の状況別にみると、すべての世帯属性がプラスである。最も高い値を示したのは「小学生未満の子どもがいる世帯」で 27.3 ポイントとなっている。

「以前との比較」も同様に、すべての世帯属性でプラス値となっている。最も高い値を示したのは「現在の状況」と同様、小学生未満の子どもがいる世帯で、プラス値は 40 ポイント以上に上る。一方、単身世帯のプラス値は 6.7 ポイントで、世帯の状況により実感に違いが見られる。

図表（Ⅲ） 2-11 現在について一世帯状況別



図表（Ⅲ） 2-12 以前との比較について一世帯状況別



3 優先して取り組むべき課題について（問 14）

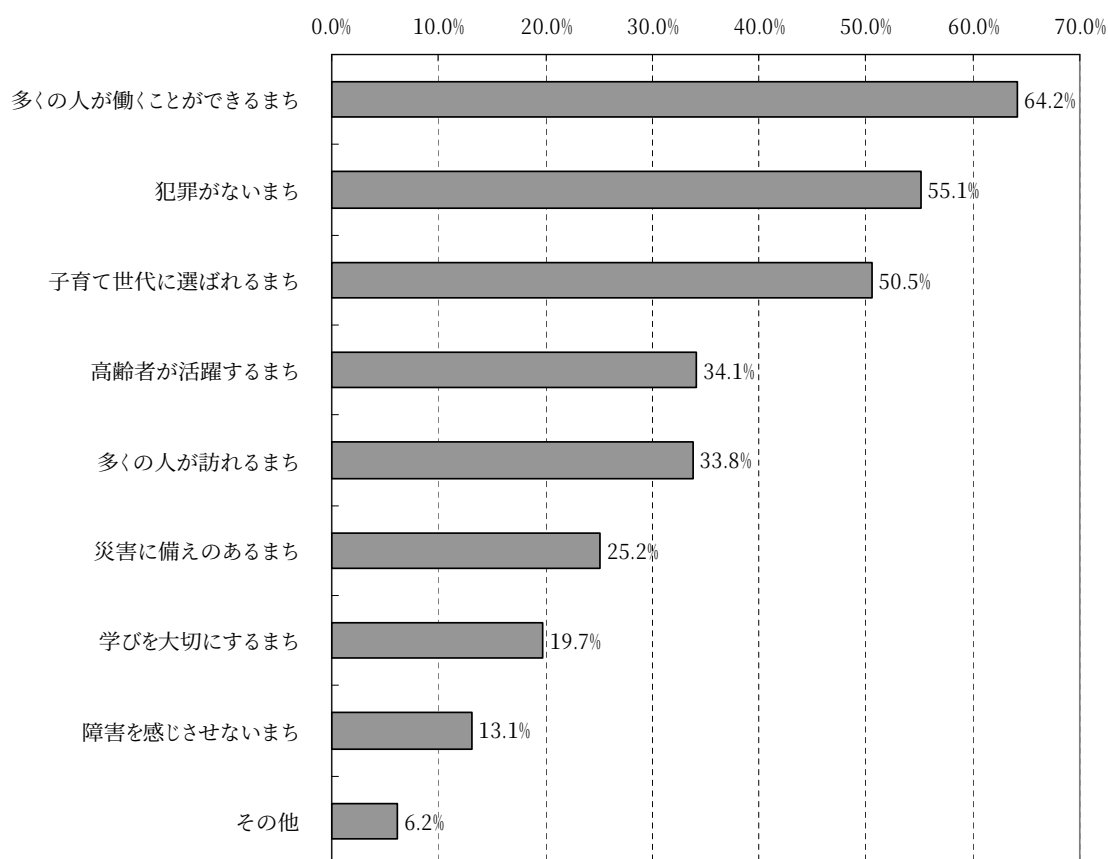
「元気な横須賀」を実現するために何から優先的に取り組むべきかを調査した。選択肢は、8つの施策の方向性とその他を設け、3つまで選択する方式とした。

「多くの人が働くことができるまち」が最も高く 64.2%、次いで「多くの人が働くことができるまち」が 55.1%、「子育て世代に選ばれるまち」となっており、4ページの散布図で表された結果で、現在、以前とも状況が良くない3項目と一致している。

前年との比較では、上位3項目については、順位の入れ替えはあったものの、その項目に変わりはない。

（1）施策の方向性別の優先度（3つの施策を選択回答）

図表（Ⅲ）3-1 優先して取り組むべき課題

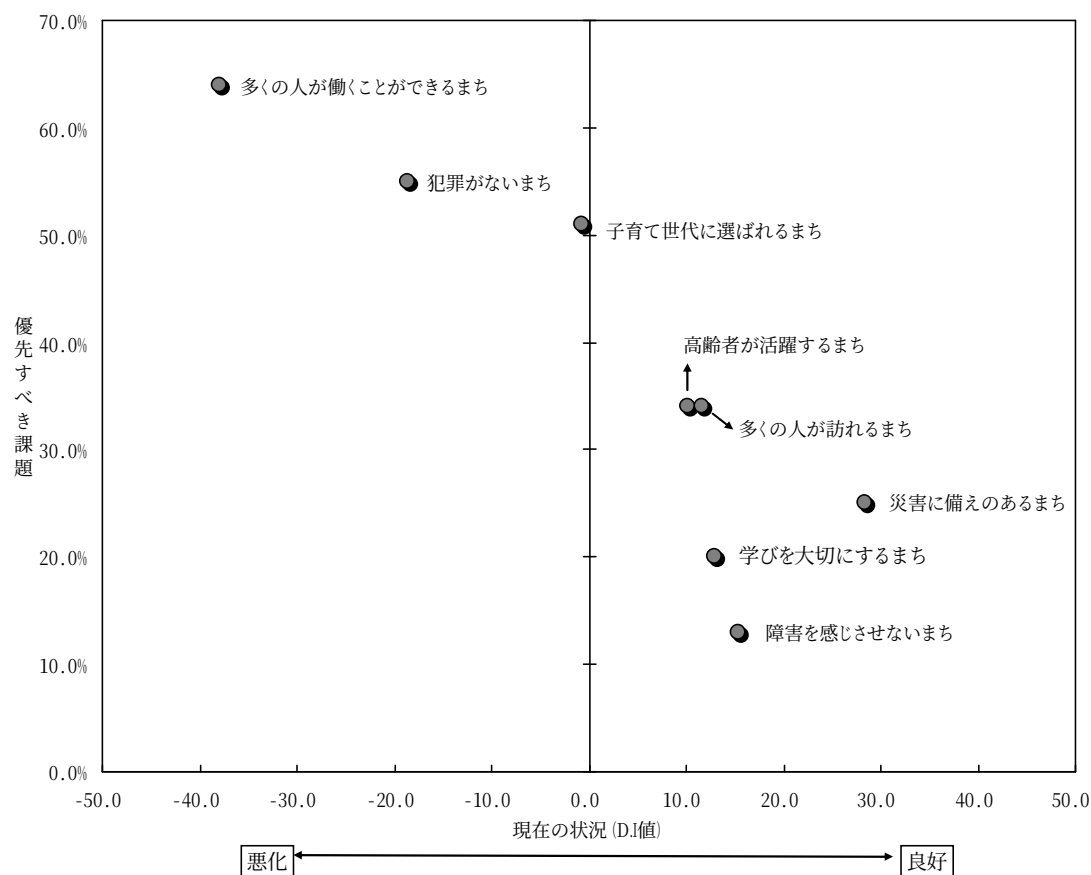


図表（Ⅲ）3-2 優先して取り組むべき課題（今年度と前年度の比較）

	施策の方向性	回答割合（％）			前年との比較	
		21 年度	20 年度	前年差	順位	傾向
1	多くの人が働くことができるまち	64.2	57.4	6.8	2 位	↑
2	犯罪がないまち	55.1	62.3	▲7.2	1 位	↓
3	子育て世代に選ばれるまち	50.5	49.4	1.1	3 位	→
4	高齢者が活躍するまち	34.1	33.6	0.5	4 位	→
5	多くの人が訪れるまち	33.8	27.7	6.1	6 位	↑
6	災害に備えのあるまち	25.2	30.3	▲5.1	5 位	↓
7	学びを大切にするまち	19.7	18.9	0.8	7 位	→
8	障害を感じさせないまち	13.1	13.7	▲0.6	8 位	→
9	その他	6.2	7.1	▲0.9	9 位	→

注）その他には、市への個別、具体的な要望等が多く含まれている。

図表（Ⅲ）3-3 優先して取り組むべき課題×現在の状況についての散布図



(2) 属性別にみた施策の方向性別の優先度

①男女別

施策の優先度は、男女とも特に大きな違いはない。

回答割合については、男女の比較で違いがあり、女性は「子育て」の割合が高く、男性は「災害への備え」についての割合が高い。

図表(Ⅲ) 3-4 優先して取り組むべき課題—性別(無回答を除く)

	回答数	多くの人が訪れるまち	多くの人が働くことができるまち	子育て世代に選ばれるまち	学びを大切にするまち	高齢者が活躍するまち	障害を感じさせないまち	犯罪がないまち	災害に備えのあるまち	その他
回答者全体	867	33.3%	63.0%	49.6%	19.4%	33.5%	12.8%	54.1%	24.7%	6.1%
男 性	358	36.3%	63.7%	45.3%	21.8%	34.9%	10.9%	53.4%	29.1%	6.4%
女 性	509	32.2%	64.4%	54.2%	18.3%	33.6%	14.5%	56.4%	22.4%	6.1%

②年齢別

優先度が最も高い「多くの人が働くことができるまち」は、特に、50歳、60歳代で高い割合を示している。「犯罪がないまち」については、全年齢層で優先割合が高い。

20歳代、30歳代では「子育て世代に選ばれるまち」の優先割合が高くなっている。

図表(Ⅲ) 3-5 優先して取り組むべき課題—年齢別(無回答を除く)

	回答数	多くの人が訪れるまち	多くの人が働くことができるまち	子育て世代に選ばれるまち	学びを大切にするまち	高齢者が活躍するまち	障害を感じさせないまち	犯罪がないまち	災害に備えのあるまち	その他
回答者全体	867	33.3%	63.0%	49.6%	19.4%	33.5%	12.8%	54.1%	24.7%	6.1%
15～19歳	41	48.8%	56.1%	43.9%	22.0%	24.4%	22.0%	51.2%	26.8%	9.8%
20～29歳	70	42.9%	57.1%	67.1%	14.3%	34.3%	15.7%	55.7%	12.9%	4.3%
30～39歳	132	32.6%	55.3%	69.7%	22.7%	18.9%	12.9%	57.6%	20.5%	9.1%
40～49歳	142	28.9%	65.5%	50.7%	21.1%	33.1%	17.6%	57.7%	18.3%	7.7%
50～59歳	151	30.5%	70.9%	45.0%	13.2%	39.7%	12.6%	60.3%	23.8%	5.3%
60～69歳	176	34.7%	71.0%	46.6%	20.5%	35.8%	9.1%	53.4%	27.3%	3.4%
70歳以上	155	34.2%	61.3%	38.1%	23.2%	42.6%	11.0%	47.7%	40.0%	6.5%

③居住地域別

居住地域で優先すべき施策の割合にばらつきが見られる。

逸見地域を除くすべての地域で「多くの人が働くことができるまち」の優先度が最も高い割合を示している。一方、逸見地域では、「犯罪がないまち」に対する優先度が70%近い割合を示している。

田浦、逸見、浦賀、西地域で「子育て世代に選ばれるまち」の優先割合が高い。

図表（Ⅲ）3-6 優先して取り組むべき課題－居住地域別（無回答を除く）

回答数	多くの人が訪れるまち	優先順位	多くの人が働くことができるまち	優先順位	子育て世代に選ばれるまち	優先順位	学びを大切にするまち	優先順位	高齢者が活躍するまち	優先順位	障害を感じさせないまち	優先順位	犯罪がないまち	優先順位	災害に備えのあるまち	優先順位	その他
867	33.3%	5	63.0%	1	49.6%	3	19.4%	7	33.5%	4	12.8%	8	54.1%	2	24.7%	6	6.1%
124	37.1%	4	62.1%	1	46.8%	3	21.8%	6	30.6%	5	14.5%	8	61.3%	2	21.0%	7	7.3%
46	34.8%	5	65.2%	1	41.3%	4	17.4%	7	43.5%	3	15.2%	8	56.5%	2	21.7%	6	8.7%
44	29.5%	5	61.4%	1	56.8%	2	22.7%	6	38.6%	4	18.2%	8	52.3%	3	20.5%	7	2.3%
23	39.1%	4	52.2%	2	52.2%	2	13.0%	7	34.8%	5	13.0%	7	69.6%	1	21.7%	6	4.3%
139	36.7%	4	65.5%	1	48.9%	3	18.7%	7	25.9%	5	10.1%	8	60.4%	2	29.5%	5	7.2%
97	32.0%	5	59.8%	1	49.5%	3	16.5%	7	40.2%	4	15.5%	8	51.5%	2	24.7%	6	6.2%
116	35.3%	4	69.8%	1	56.9%	2	23.3%	6	22.4%	7	12.1%	8	50.0%	3	25.9%	5	3.4%
128	35.9%	5	64.8%	1	51.6%	3	22.7%	7	39.8%	4	9.4%	8	53.9%	2	25.0%	6	6.3%
61	29.5%	5	67.2%	1	47.5%	3	14.8%	7	44.3%	4	9.8%	8	60.7%	2	29.5%	5	3.3%
86	24.4%	6	61.6%	1	50.0%	2	18.6%	7	38.4%	4	18.6%	7	45.3%	3	27.9%	5	10.5%

④世帯状況別

「小学生未満の子どもがいる」世帯では「子育て世代に選ばれるまち」の回答割合が、「多くの人が働くことができるまち」を大きく上回っている。

それ以外について、世帯の状況で優先順位に大きな違いはみられない。

図表（Ⅲ）3-7 優先して取り組むべき課題―世帯状況別（無回答を除く）

	回答数	多くの人が訪れるまち	多くの人が働くことができるまち	子育て世代に選ばれるまち	学びを大切にするまち	高齢者が活躍するまち	障害を感じさせないまち	犯罪がないまち	災害に備えのあるまち	その他
回答者全体	867	33.3%	63.0%	49.6%	19.4%	33.5%	12.8%	54.1%	24.7%	6.1%
① 小学生未満の子どもがいる	93	30.1%	54.8%	83.9%	24.7%	20.4%	10.8%	52.7%	17.2%	5.4%
② 小学生～中学生の子どもがいる	117	26.5%	63.2%	63.2%	24.8%	26.5%	13.7%	59.0%	15.4%	7.7%
③ 65歳以上の高齢者がいる	348	32.5%	65.8%	44.0%	20.4%	38.8%	14.7%	53.4%	29.3%	5.2%
④ 単身世帯（一人暮らし）	133	42.1%	66.9%	44.4%	16.5%	35.3%	10.5%	55.6%	25.6%	4.5%
⑤ ①～④に該当なし	253	34.4%	65.6%	49.0%	16.6%	34.4%	12.3%	56.9%	24.5%	7.5%

4 自由記述について

設問とは別に自由記述欄を設け、「元気な横須賀」を実現するためのアイディア、「元気な横須賀」の実現のために取り組みが不足していることがあるか、市政全般に対する意見など、市民の実感を尋ねた。

(1) 集計結果の概要

集計結果は、図表(Ⅳ) 4-1 のとおりで、将来像別では、「にぎわいを生む社会」についての記述が 27.7%で最も多く、次いで、「新しい芽が伸びゆく社会」が 12.0%となっており、昨年と同様の傾向である。

施策の方向性別で見ると、「多くの人が訪れるまち」についての記述が最も多く 24.4%、次いで「子育て世代に選ばれるまち(9.4%)」に対する記述が多くなっている。

また、将来像別の意見以外に、市政全般や環境や交通に対する記述のほか、市政運営や市職員の対応についての記述が多い結果となった。

(2) 将来像別の主な記述概要

① 「にぎわいを生む社会」

- ・ 横須賀の魅力を見つめなおし、独自の魅力ある取り組みの検討をすすめる。
- ・ 農業、漁業を見つめなおし、朝市など、地域の産品の活用
- ・ テレビや雑誌などメディアのさらなる活用
- ・ 米軍基地の活用、国際性を生かした取り組みの充実
- ・ 雇用を生み出すため、積極的な企業誘致の取り組み
- ・ 若者の定住促進

② 「新しい芽が伸びゆく社会」

- ・ 産科医、小児科医不足の改善、各種助成制度の充実
- ・ 子育て世代同士や世代間交流ができる場づくり
- ・ 保育所、学童保育の拡充

③ 「長寿を楽しめる社会」

- ・ 町内会活動の活性化、ボランティア活動など高齢者の活躍の場の提供
- ・ 老人介護施設の充実
- ・ コミュニティーバスの整備、高齢者バスの導入など移動に対する支援
- ・ 山坂、狹隘道路や階段が多いなど、本市特有の課題への対応
- ・ 道路や公共施設のバリアフリー化の推進

④「安全で安心して暮らせる社会」

- ・ 米軍人の犯罪に対する不安の解消
- ・ 原子力空母や基地に関する情報提供
- ・ みまわりなど地域の防犯活動など人の交流の重要性
- ・ 治安の向上に向けた取り組みの充実

図表 (IV) 4-1 自由記述について

将来像及び施策の方向性		内容	件数	割合（％）
将来像 1 「にぎわいを生む社会」			122	31.0
	多くの人が訪れるまち	総数	109	27.7
		提案、要望	96	24.4
		苦言・苦情、その他	13	3.3
	多くの人が働くことができるまち	総数	13	3.3
		提案、要望	4	1.0
		苦言・苦情、その他	9	2.3
将来像 2 「新しい芽が伸びゆく社会」			47	12.0
	子育て世代に選ばれるまち	総数	37	9.4
		提案、要望	32	8.1
		苦言・苦情、その他	5	1.3
	学びを大切にするまち	総数	11	2.8
		提案、要望	6	1.5
		苦言・苦情、その他	5	1.3
将来像 3 「長寿を楽しめる社会」			42	10.7
	高齢者が活躍するまち	総数	36	9.2
		提案、要望	30	7.6
		苦言・苦情、その他	6	1.5
	障害を感じさせないまち	総数	6	1.5
		提案、要望	6	1.5
		苦言・苦情、その他	0	0.0
将来像 4 「安全で安心して暮らせる社会」			19	4.8
	犯罪がないまち	総数	3	0.8
		提案、要望	10	2.5
		苦言・苦情、その他	5	1.3
	災害に備えのあるまち	総数	0	0.0
		提案、要望	0	0.0
		苦言・苦情、その他	0	0.0
市政全般			56	14.2
環境・交通			26	6.6
市組織に対する意見など			58	14.8
分類不能			23	5.9
合計			393	

※自由記述内容の分類の方法について

分類	内容
提案	主に、政策、施策に対する、新しい考え方や意見、既存の政策・施策、事務事業の代替案を提案するものなど
要望	主に、個別具体的な事象に対する改善などを望むもの
苦言・苦情	政策・施策、事務事業など行政活動や市民の行動やモラルなどの是正を求めるもの
その他	市政への感謝、感想など

5 基本的な属性（F 1～F 5）

(1) 性別（F 1）

回答数	883人
男性	41.2%
女性	58.8%

無回答	9人
-----	----

(2) 年齢（F 2）

回答数	883人
15～19歳	4.8%
20～29歳	7.9%
30～39歳	14.9%
40～49歳	16.1%
50～59歳	17.3%
60～69歳	20.3%
70歳以上	18.7%

無回答	9人
-----	----

(3) 居住地域（F 3）

回答数	878人
本庁地域	14.4%
追浜地域	5.4%
田浦地域	5.1%
逸見地域	2.7%
衣笠地域	16.1%
大津地域	11.0%
浦賀地域	13.2%
久里浜地域	15.0%
北下浦地域	7.2%
西地域	9.9%

無回答	14人
-----	-----

(4) 職業（F 4）

回答数	875人
農林漁業	0.3%
会社員	22.1%
自営業(商・工業・建設業・サービス業など)	3.5%
自由業	1.4%
公務員・教員	7.4%
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	16.5%
家事専業	18.5%
学 生	4.2%
無 職	23.2%
その他	2.9%

無回答	17人
-----	-----

(5) 世帯の状況（F 5）

回答数	875人
① 小学生未満の子どもがいる	10.6%
② 小学生～中学生の子どもがいる	13.4%
③ 65歳以上の高齢者がいる	41.0%
④ 単身世帯(一人暮らし)	16.0%
⑤ ①～④に該当なし	29.0%

無回答	17人
-----	-----

(参 考 資 料)

新世紀ビジョン市民アンケート

回答の理由欄の分類

回答の理由欄の分類

問1 多くの人が訪れるまち横須賀（現在について）

①②の理由

分 類	件 数	割 合
猿島、美術館など施設が充実	46	20.4%
カレーフェスティバルなどイベントが盛ん	41	18.2%
米軍基地・自衛隊	22	9.8%
まちに人を多く見る	21	9.3%
海軍カレー・ネイビーバーガー	19	8.4%
広告等で横須賀が知られている	15	6.7%
自然・海が魅力	13	5.8%
首都圏に近い、利便性がよい	13	5.8%
歴史がある	4	1.8%
横須賀出身の有名人	3	1.3%
国際的な都市	2	0.9%
その他	18	8.0%
具体的記述なし	8	3.6%
計	225	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
観光スポット・目玉なし	58	31.7%
他都市との比較	16	8.7%
商業施設・商店街に活気がない	11	6.0%
特定の施設への不満	9	4.9%
交通の便が悪い・半島としての特性	8	4.4%
人がいない・活気がない	8	4.4%
米軍基地の存在	6	3.3%
PR不足	6	3.3%
イベントが少ない	5	2.7%
自然環境が変化している	4	2.2%
他市に住む人の意見から	4	2.2%
若い世代が市外に出てしまっている	4	2.2%
企業が撤退している	2	1.1%
その他	32	17.5%
具体的記述無し	10	5.5%
計	183	-

回答の理由欄の分類

問1 多くの人が訪れるまち横須賀(以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
施設の充実	49	23.6%
カレーフェスティバルなどイベントが盛ん	33	15.9%
道路が整備されてきた	21	10.1%
海軍カレー・ネイビーバーガー	16	7.7%
まちに人を多く見る	13	6.3%
まち並みがきれいになった	12	5.8%
広告等で横須賀が知られている	6	2.9%
市の取り組み	6	2.9%
自然・海が残っている	4	1.9%
大型店舗の開店	3	1.4%
米軍基地・自衛隊	3	1.4%
横須賀出身の有名人	3	1.4%
その他	26	12.5%
具体的記述なし	13	6.3%
計	208	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
企業が撤退している	7	12.5%
開発で自然を壊している	7	12.5%
観光客が減った・活気がない	6	10.7%
観光スポット・目玉なし	6	10.7%
他市との比較	6	10.7%
治安の悪化	5	8.9%
道路の混雑・利便性が悪い	3	5.4%
商店街に元気がない	2	3.6%
特定の施設への不満	2	3.6%
その他	11	19.6%
具体的記述無し	1	1.8%
計	56	-

回答の理由欄の分類

問2 多くの人が働くことができるまち横須賀 (現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
デパートなど商店が増えた	14	24.1%
米軍基地があるから	13	22.4%
働く場が増えた	7	12.1%
YRP	6	10.3%
求人が多い	3	5.2%
首都圏から近い	2	3.4%
その他	12	20.7%
具体的記述なし	1	1.7%
計	58	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
働く場がない	148	55.0%
産業が少ない・衰退している	29	10.8%
市外へ就職している	22	8.2%
フリーター・失業者が多い	6	2.2%
ベッドタウンとしての特性ゆえ	6	2.2%
子育て環境が悪い	5	1.9%
不況の影響	4	1.5%
労働条件が悪い	4	1.5%
その他	41	15.2%
具体的記述なし	4	1.5%
計	269	-

回答の理由欄の分類

問2 多くの人が働くことができるまち横須賀(以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
働く場がある・増えた	26	60.5%
YRP関連	11	42.3%
商店・商店街関連	10	38.5%
その他	5	19.2%
人が多くなっている	2	4.7%
その他	12	27.9%
具体的記述なし	3	7.0%
計	43	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
企業の撤退	67	38.7%
市内に仕事がない・減っている	35	20.2%
景気の悪化	26	15.0%
企業を誘致できない・少ない	13	7.5%
市内に活気なし	7	4.0%
労働力の市外流出	5	2.9%
市政への不満	3	1.7%
その他	15	8.7%
具体的記述なし	2	1.2%
計	173	-

回答の理由欄の分類

問3 にぎわいを生む社会（現在について）

①②の理由

分 類	件 数	割 合
イベント	51	33.6%
公共施設・観光スポット	29	19.1%
観光客が多い・活気がある	26	17.1%
バーガー・カレー	11	7.2%
自然	8	5.3%
人口	5	3.3%
基地・米軍	3	2.0%
施策	3	2.0%
その他	12	7.9%
具体的記述無し	4	2.6%
計	152	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
活気がない	47	37.0%
商店街関連	17	36.2%
横須賀中央周辺の活気について	15	31.9%
その他全般	15	31.9%
観光スポット・施設なし	17	13.4%
市外との比較	11	8.7%
イベントがない・少ない	8	6.3%
行政への不満・PR不足	6	4.7%
施設建設の疑問	6	4.7%
仕事なし・企業の移転	3	2.4%
人の繋がりが希薄になった	3	2.4%
横須賀のカラーが自衛隊・米軍	3	2.4%
その他	16	12.6%
具体的記述なし	7	5.5%
計	127	-

回答の理由欄の分類

問3 にぎわいを生む社会 (以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
イベントが増えた	40	30.5%
人が集まる場所が増えた	22	16.8%
市の取り組み姿勢を評価	17	13.0%
道路・公園整備	12	9.2%
来訪者が増えている・まちに活気がある	8	6.1%
商店街の活気	3	2.3%
横須賀出身芸能人の影響	2	1.5%
人口の増加	2	1.5%
その他	18	13.7%
具体的記述なし	7	5.3%
計	131	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
活気を感じられない	26	43.3%
商店・商店街関連	13	50.0%
横須賀中央周辺の賑わい	3	11.5%
その他全般	10	38.5%
魅力ある施設がない・施設利用の不満	12	20.0%
人との繋がりが希薄になった、自分勝手な人間の増	4	6.7%
高齢化・人口減少などの社会的要因	3	5.0%
若者の市外流出	2	3.3%
特色あるイベントがない	2	3.3%
その他	11	18.3%
計	60	-

回答の理由欄の分類

問4 子育て世代に選ばれるまち横須賀(現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
自然が残っている・公園が多い	59	47.6%
子育てサービスの充実	18	14.5%
若い夫婦・子どもが多い	7	5.6%
住みやすい・愛着を持てる	6	4.8%
交通の便	5	4.0%
保育園・幼稚園	3	2.4%
犯罪が少ない	2	1.6%
その他	22	17.7%
具体的記述なし	2	1.6%
計	124	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
子育てサービスが不足している	30	19.7%
保育園など施設が不足している	29	19.1%
産科医不足、病院が少ない	25	16.4%
他都市との比較	14	9.2%
子どもの数が少ない、人口減少、少子高齢化	9	5.9%
安心安全に暮らせない	8	5.3%
教育環境が充実していない	7	4.6%
交通の便が悪い	4	2.6%
働く場が近くにない	2	1.3%
その他	22	14.5%
具体的記述なし	2	1.3%
計	152	-

回答の理由欄の分類

問4 子育て世代に選ばれるまち横須賀(以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
子育てサービスが充実	29	33.7%
公園など子育てのための施設が整備されてきた	19	22.1%
昔と比べよくなっている、改善されてきた	11	12.8%
若者・子どもが増えている	5	5.8%
暮らしやすい	4	4.7%
その他	15	17.4%
具体的記述無し	3	3.5%
計	86	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
出産環境の悪化、産科医不足、病院がない	11	20.8%
子供の遊び場が少ない	5	9.4%
教育環境がよくなっていない、親の教育への不満	5	9.4%
子どもが少なくなっている	4	7.5%
市内の自然環境の悪化	4	7.5%
市の対応の遅れ	3	5.7%
働く場がないため	3	5.7%
住環境の不安、騒音など	2	3.8%
保育園がない、子供を預けられる場がない	2	3.8%
その他	13	24.5%
具体的記述無し	1	1.9%
計	53	-

回答の理由欄の分類

問5 学びを大切にすまち横須賀(現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
学校教育に力を入れている、ALTなど	35	34.7%
取り組みが進んでいる、いじめが少なくなっている	18	17.8%
県立保健福祉大学ができた	10	9.9%
図書館が充実している、本を読む機会が多い	8	7.9%
歴史など文化を育むものがある	4	4.0%
講座が盛んに行われている	4	4.0%
施設が充実している	4	4.0%
その他	17	16.8%
具体的記述無し	1	1.0%
計	101	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
学校教育が不十分	37	48.1%
学校、図書館など施設が少ない	7	9.1%
いじめ、不登校はなくなる	5	6.5%
市の取り組みを知らない	5	6.5%
子供のモラルが低下	2	2.6%
その他	14	18.2%
具体的記述無し	7	9.1%
計	77	-

回答の理由欄の分類

問5 学びを大切にするまち横須賀(以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
学校教育	28	38.9%
施設の充実	11	15.3%
県立保健福祉大学	5	45.5%
はぐくみ館	2	18.2%
その他の整備	4	36.4%
いじめ・不登校	9	12.5%
特別支援学級	5	6.9%
生涯学習	4	5.6%
文化・歴史	2	2.8%
その他	10	13.9%
具体的理由無し	3	4.2%
計	72	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
教育環境が悪い	6	19.4%
校内暴力、学級崩壊	4	12.9%
先生に対する不満	4	12.9%
いじめ・不登校	3	9.7%
景気の悪化	3	9.7%
市の対応に対する不満	3	9.7%
その他	6	19.4%
具体的理由なし	2	6.5%
計	31	-

回答の理由欄の分類

問6 新しい芽が伸びゆく社会(現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
学ぶ環境の充実	15	20.3%
イベントが多い、地域の活動が盛ん	13	17.6%
国際化・外国人がたくさんいる	7	9.5%
市の取り組み	7	9.5%
美術館などの文化施設ができた	5	6.8%
大会などで若者が活躍している	2	2.7%
自然環境がよい	2	2.7%
その他	15	20.3%
具体的記述なし	8	10.8%
計	74	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
特色ある取り組みがない、独自性がない	9	13.8%
学校が減っている、伸ばす施設が少ない	8	12.3%
先生の質の向上が必要	8	12.3%
地域の協力がいない	8	12.3%
元気な子どもの姿を見ない	4	6.2%
不況で将来が不安	4	6.2%
若者が市外へ行ってしまう	2	3.1%
人口が減っている	2	3.1%
モラルが低下	2	3.1%
その他	12	18.5%
具体的記述なし	6	9.2%
計	65	-

回答の理由欄の分類

問6 新しい芽が伸びゆく社会 (以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
職業体験、ALT、学校の充実	14	22.2%
子どもが参加できるイベントが増えた	9	14.3%
市の取り組みを評価	7	11.1%
美術館など教育施設の充実	7	11.1%
子供がたくさんいる・地域の協力	5	7.9%
外国人との交流	2	3.2%
その他	11	17.5%
具体的記述無し	8	12.7%
計	63	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
子どもに対するしつけ、道徳を教える必要がある	4	22.2%
少子高齢化などの社会情勢により将来が不安	3	16.7%
特定の施設に対する不満	3	16.7%
学校・先生に対する不満	2	11.1%
その他	5	27.8%
具体的記述なし	1	5.6%
計	18	-

回答の理由欄の分類

問7 高齢者が活躍するまち横須賀 (現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
高齢者が活動している姿をよく見る	95	64.6%
活躍する場がある	7	4.8%
市の取り組み	6	4.1%
駅舎エレベーターの設置	4	2.7%
若者がいない	4	2.7%
自然や環境がよく住みやすい	3	2.0%
その他	26	17.7%
具体的記述無し	2	1.4%
計	147	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
活躍する場がない、少ない	25	26.3%
活動している姿を見ない	15	15.8%
高齢者の能力を活かす施策がない	7	7.4%
高齢者出かけるための交通が不便	6	6.3%
PR不足	5	5.3%
小額・無料で利用できる施設がない	2	2.1%
その他	30	31.6%
具体的記述なし	5	5.3%
計	95	-

回答の理由欄の分類

問7 高齢者が活躍するまち横須賀(以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
高齢者が元気に活動している	34	43.6%
バリアフリーが進んでいる	8	10.3%
市の取り組み	6	7.7%
各種施設が充実	4	5.1%
サービスの充実	2	2.6%
その他	17	21.8%
具体的記述無し	7	9.0%
計	78	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
シルバー人材などの仕事がない	4	13.8%
市の取り組みへの不満	4	13.8%
道路・周辺環境が悪い	3	10.3%
地域の協力がない	2	6.9%
その他	15	51.7%
具体的記述なし	1	3.4%
計	29	-

回答の理由欄の分類

問8 障害を感じさせないまち横須賀 (現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
駅の整備、エレベーター等の設置	67	39.6%
まちがバリアフリー化している	27	16.0%
ノンステップバスの導入	19	11.2%
放置自転車対策	7	4.1%
市の取り組み	6	3.6%
車椅子で外出している姿をみる	4	2.4%
その他	34	20.1%
具体的記述無し	5	3.0%
計	169	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
道路が狭い・歩きづらい、坂がある	35	30.4%
バリアフリーが不十分	31	27.0%
協力する意識が不足している	7	6.1%
エレベーター未設置駅あり	7	6.1%
対策が遅れている・市への不満	7	6.1%
バスが不便	5	4.3%
その他	21	18.3%
具体的記述なし	2	1.7%
計	115	-

回答の理由欄の分類

問8 障害を感じさせないまち横須賀 (以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
駅の整備、エレベーターなどの設置	86	43.7%
バリアフリーが進んでいる	32	16.2%
ノンステップバスの導入	17	8.6%
放置自転車対策	11	5.6%
市の取り組み	8	4.1%
周りの協力、人のやさしさを感じる	3	1.5%
その他	33	16.8%
具体的記述無し	7	3.6%
計	197	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
道路が悪い、歩きづらい	4	25.0%
市への不満・PR不足	2	12.5%
生活が不安定	2	12.5%
その他	7	43.8%
具体的記述無し	1	6.3%
計	16	-

回答の理由欄の分類

問9 長寿を楽しめる社会 (現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
ボランティアなどで高齢者が元気に活躍している	38	32.2%
参加できるイベントが多い	32	27.1%
自然環境が良い	14	11.9%
福祉の充実	11	9.3%
市の姿勢	3	2.5%
その他	19	16.1%
具体的記述なし	1	0.8%
計	118	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
高齢者が活躍できる場や楽しめる場がない	15	20.3%
長寿を楽しんでいる人がいない、1部しか楽しめていない	10	13.5%
体が不自由な人への支援が不足	7	9.5%
福祉が不十分	6	8.1%
広報不足	4	5.4%
税金・保険料・年金問題が不安	4	5.4%
山があり坂があるので歩きづらい	3	4.1%
その他	21	28.4%
具体的記述なし	4	5.4%
計	74	-

回答の理由欄の分類

問9 長寿を楽しめる社会 (以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
高齢者が活躍する場が増えた	24	31.2%
高齢者が元気に活動している	19	24.7%
福祉の充実	7	9.1%
人の優しさを感じる	5	6.5%
バリアフリーが進んでいる	2	2.6%
その他	20	26.0%
計	77	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
行政の対応が遅い	4	19.0%
よくなっている実感なし	4	19.0%
若い人・近所との交流がない	3	14.3%
その他	9	42.9%
具体的記述なし	1	4.8%
計	21	-

回答の理由欄の分類

問10 犯罪がないまち横須賀(現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
犯罪、事件が少ない	31	38.3%
外国人・米軍基地は不安であるがそれ以外は平気	10	12.3%
防犯パトロールなど地域活動が安心	9	11.1%
警察の活動、パトロール	6	7.4%
防犯カメラなどの設備の充実	5	6.2%
他都市と比較	4	4.9%
その他	13	16.0%
具体的記述無し	3	3.7%
計	81	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
犯罪が多い、治安が悪い	96	43.4%
米軍基地に不安を感じる	58	26.2%
イメージの悪い報道を目にする	21	9.5%
若年層の犯罪が多い、マナーが悪い	9	4.1%
警察に対する不満	8	3.6%
狭い道や暗い道がある	6	2.7%
不審者情報をよく目にする	6	2.7%
他都市と比較して	5	2.3%
その他	11	5.0%
具体的記述なし	1	0.5%
計	221	-

回答の理由欄の分類

問10 犯罪がないまち横須賀(以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
防犯パトロールなどの地域活動が安心	37	43.5%
犯罪の減少	17	20.0%
警察の活動	7	8.2%
防犯カメラなどの設備の充実	6	7.1%
まちが明るくなった	5	5.9%
その他	11	12.9%
具体的記述なし	2	2.4%
計	85	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
凶悪犯罪や軽犯罪が増えている	34	42.5%
米軍基地の存在が不安	13	16.3%
イメージの悪い報道を目にする	9	11.3%
若年の犯罪が増えている・マナーが悪い	3	3.8%
個人のモラルの低下、挨拶しないなど	3	3.8%
警察に対する不満	1	1.3%
その他	14	17.5%
具体的記述無し	3	3.8%
計	80	-

回答の理由欄の分類

問11 災害に備えのあるまち横須賀（現在について）

①②の理由

分 類	件 数	割 合
地震などの災害に対する整備の充実	41	30.4%
市の取り組み	23	17.0%
防災訓練などの自治会活動	17	12.6%
備蓄状況が充実している	15	11.1%
自衛隊の存在が安心	9	6.7%
災害情報がアナウンスで知ることができる	4	3.0%
AEDの設置	3	2.2%
その他	20	14.8%
具体的記述なし	3	2.2%
計	135	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
山があり崖もあるので災害時に不安	13	21.0%
災害に対する備えなどの広報が足りない	8	12.9%
トンネルや住宅の防災整備が不十分	6	9.7%
備蓄が不十分	6	9.7%
原子力・放射能への備えが不足している	5	8.1%
防災無線が聞き取れない	4	6.5%
その他	18	29.0%
具体的記述なし	2	3.2%
計	62	-

回答の理由欄の分類

問11 災害に備えのあるまち横須賀 (以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
地震などの災害に対する整備の充実	37	35.2%
AEDの設置・救命講習	15	14.3%
市の取り組み	15	14.3%
備蓄状況が充実している	8	7.6%
避難訓練などの自治会活動	6	5.7%
防災に対する市民意識が芽生えている	6	5.7%
その他	13	12.4%
具体的記述なし	5	4.8%
計	105	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
水道管整備、雑居ビル対策などが不十分	4	22.2%
市への不満	4	22.2%
原子力・放射能への備えが不十分	3	16.7%
ガケ対策が不十分	2	11.1%
医師が不足している	1	5.6%
周辺地域との連携が必要	1	5.6%
治安が悪い	1	5.6%
具体的記述なし	2	11.1%
計	18	-

回答の理由欄の分類

問12 安全で安心して暮らせる社会(現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
防犯パトロールなど地域活動が安心	29	29.3%
自分の周辺は安全である、危険を感じない	20	20.2%
警察の活動	10	10.1%
市の対策に安心を感じる	9	9.1%
街灯などの設備が充実	5	5.1%
災害が少ない	2	2.0%
安心安全に対する市民意識がある	2	2.0%
その他	20	20.2%
具体的記述なし	2	2.0%
計	99	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
米軍基地の存在が不安	25	26.0%
犯罪が多い、不審者が出る	19	19.8%
暗い道が多い、街灯やカメラの設備が不十分	14	14.6%
市の対応に対する不満	7	7.3%
警察の活動に不満	4	4.2%
路上駐車が増えた、モラルの低下	4	4.2%
病院が少ない、医療体制の不備	2	2.1%
その他	18	18.8%
具体的記述無し	3	3.1%
計	96	-

回答の理由欄の分類

問12 安全で安心して暮らせる社会 (以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
防犯パトロールなど地域活動が安心	28	49.1%
安全安心に対する市民意識が向上	4	7.0%
防犯カメラ、街灯などの設備の充実	4	7.0%
事件が少ない	3	5.3%
警察の活動	3	5.3%
その他	12	21.1%
具体的記述無し	3	5.3%
計	57	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
犯罪や事件が多い	13	30.2%
米軍基地の存在が不安	11	25.6%
警察の活動に対する不満	3	7.0%
近所付き合いが希薄	2	4.7%
個人のモラルが低下	2	4.7%
その他	10	23.3%
具体的記述なし	2	4.7%
計	43	-

回答の理由欄の分類

問13 元気な横須賀 (現在について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
将来像1「にぎわいを生む社会」関係	43	51.8%
将来像2「新しい芽が伸びゆく社会」関係	1	1.2%
将来像3「長寿を楽しめる社会」関係	6	7.2%
将来像4「安全で安心して暮らせる社会」関係	1	1.2%
全般、その他	32	38.6%
計	83	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
将来像1「にぎわいを生む社会」関係	39	45.9%
将来像2「新しい芽が伸びゆく社会」関係	4	4.7%
将来像3「長寿を楽しめる社会」関係	4	4.7%
将来像4「安全で安心して暮らせる社会」関係	1	1.2%
全般、その他	37	43.5%
計	85	-

回答の理由欄の分類

問13 元気な横須賀(以前との比較について)

①②の理由

分 類	件 数	割 合
将来像1「にぎわいを生む社会」関係	29	49.2%
将来像2「新しい芽が伸びゆく社会」関係	0	0.0%
将来像3「長寿を楽しめる社会」関係	4	6.8%
将来像4「安全で安心して暮らせる社会」関係	1	1.7%
全般、その他	25	42.4%
計	59	-

④⑤の理由

分 類	件 数	割 合
将来像1「にぎわいを生む社会」関係	22	48.9%
将来像2「新しい芽が伸びゆく社会」関係	5	11.1%
将来像3「長寿を楽しめる社会」関係	8	17.8%
将来像4「安全で安心して暮らせる社会」関係	0	0.0%
全般、その他	10	22.2%
計	45	-

新世紀ビジョン市民アンケート

質問・回答用紙

-
- ◇ こちらの用紙には、アンケートの質問と回答欄があります。
 - ◇ 別冊「新世紀ビジョン市民アンケート参考資料」を参考にして回答してください。
 - ◇ 回答欄にご記入の上、同封の返信用封筒（切手不用）をご利用いただき、平成 21 年 5 月 15 日（金）までにご投函ください。
-

将来像1『にぎわいを生む社会』

～多くの人が訪れるまち・多くの人が働くことができるまち横須賀～

⇒ 参考資料3ページ～4ページをご覧ください

『多くの人が訪れるまち横須賀』について

問1 横須賀市は「多くの人が訪れるまち」だと思いますか。

現在について、選択肢1-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、選択肢1-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢1-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢1-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

★ 将来像の数値目標★

指 標 名 (目標の達成度合を測るものさし)	計画策定時の 基準値	最新の数値	10年後 (平成28年度) の目標	目 標 に むかって
市内主要鉄道駅乗客数	4,775万人 (17年度)	4,731万人 (19年度)	100万人増加	
顧客吸引力指数(*1)	0.93 (17年度)	0.88 (19年度)	1.0以上	
YYポート横須賀(*2)来場者数	78,000人 (17年度)	117,794人 51%増加 (20年度)	30%増加	目標達成

*1 市内人口1人当たり小売業年間販売額/全国人口1人当たり小売業年間販売額の指数が1.0以上だと、周辺市町村から買い物客を引きつけているとみることができます。

*2 横須賀中央駅徒歩2分にある施設。1Fに観光インフォメーション、物産品コーナー、2Fにカレーレストラン(横須賀海軍カレー本舗)を備えている。

『多くの人が働くことができるまち横須賀』について

問2 横須賀市は「多くの人が働くことができるまち」だと思いますか。

現在について、選択肢2-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢2-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢2-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢2-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

★将来像の数値目標★

指 標 名 (目標の達成度合を測るものさし)	計画策定時の 基準値	最新の数値	10年後 (平成28年度) の目標	目 標 に むかって
新規開業率	3.8% (13年)	3.1% (18年)	4.6%以上	
横須賀リサーチパーク就業人口	4,600人 (18年)	5,400人 (20年)	9,500人以上	

横須賀リサーチパーク



将来像1『にぎわいを生む社会』について

問3 横須賀市は「にぎわいを生む社会」になっていると思いますか。

現在について、選択肢3-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢3-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢3-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢3-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかという悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない



YOKOSUKA
軍港めぐり



しょうぶ園



記念艦 三笠

将来像2『新しい芽が伸びゆく社会』

～子育て世代に選ばれるまち・学びを大切にするまち横須賀～

⇒ 参考資料5ページ～6ページをご覧ください

『子育て世代に選ばれるまち横須賀』について

問4 横須賀市は「子育て世代に選ばれるまち」だと思いますか。

現在について、選択肢4-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、選択肢4-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢4-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢4-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

★将来像の数値目標★

指 標 名 (目標の達成度合を測るものさし)	計画策定時の 基準値	最新の数値	10年後 (平成28年度) の目標	目 標 に むかって
保育園待機児童数(*3)	50人 (18年度)	61人 (20年度)	ゼロ	
放課後児童施設	未設置小学校区 8小学校区 (18年度)	未設置小学校区 8小学校区 (20年度)	1小学校区 1施設以上	
新生児から生後4カ月のいる家庭への訪問の実施	75%(想定) (18年度)	85.8% (20年度)	100%	

*3 保育所への入所資格を有し、認可保育園への入園を希望しているにもかかわらず、入園できない児童の数

『学びを大切にするまち横須賀』について

問5 横須賀市は「学びを大切にするまち」だと思いますか。

現在について、選択肢 5 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、選択肢 5 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢 5 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 5 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

★将来像の数値目標★

指 標 名 (目標の達成度合を測るものさし)	計画策定時の 基準値	最新の数値	10 年後 (平成 28 年度) の目標	目 標 に むかって
いじめ解消率	72.7% (18 年)	92.9% (20 年)	100%	
不登校児童・生徒の学校復帰改善率	児童（小学校） 45.4% 生徒（中学校） 54.6% (17 年度)	児童（小学校） 52.4% 生徒（中学校） 69.5% (19 年度)	100%	
特別支援学級(*4)の設置	47 校 (未設置 25 校) (18 年度)	62 校 (未設置 12 校) (20 年度)	全校	

*4 障害のあるこどもや、配慮を必要とする子どもたちのためにつくられた学級。
少人数指導で一人ひとりのニーズに応じて、きめ細やかな指導を行います。

将来像2『新しい芽が伸びゆく社会』について

問6 横須賀市は「新しい芽が伸びゆく社会」になっていると思いますか。

現在について、選択肢6-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢6-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢6-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢6-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかという悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない



横須賀美術館ワークショップのようす



外国人講師を活用した教育



将来像3『長寿を楽しめる社会』

～高齢者が活躍するまち・障害を感じさせないまち横須賀～

⇒ 参考資料7ページ～8ページをご覧ください

『高齢者が活躍するまち横須賀』について

問7 横須賀市は「高齢者が活躍するまち」だと思いますか。

現在について、選択肢7-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢7-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢7-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢7-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

★将来像の数値目標★

指 標 名 (目標の達成度合を測るものさし)	計画策定時の 基準値	最新の数値	10年後 (平成28年度) の目標	目 標 に むかって
要介護認定新規申請時平均年齢	77.7 歳 (18 年)	77.9 歳 (19 年)	80 歳	
肥満の予防(市民検診の受診者のうち BMI(*5)が25以上の人の割合)	男性 29% 女性 21% (16 年度)	男性 28.5% 女性 22.3% (19 年度)	男性 15%以下 女性 10%以下	

*5 体重[kg] ÷身長[m] ÷身長[m]で算出される体重(体格)の指標

『障害を感じさせないまち横須賀』について

問8 横須賀市は「障害を感じさせないまち」だと思いますか。

現在について、選択肢8-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢8-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢8-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢8-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかという悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

★将来像の数値目標★

指 標 名 (目標の達成度合を測るものさし)	計画策定時の 基準値	最新の数値	10年後 (平成28年度) の目標	目 標 に むかって
駅舎のエレベーター等設置(*6)	14 駅 (未設置6 駅) (18 年度)	17 駅 (未設置3 駅) (20 年度)	全駅	
ノンステップバスの普及率	5.8% (18 年度)	17% (20 年度)	30%以上	
放置自転車台数 (市内21 鉄道駅周辺)	1,900 台 (18 年度)	1,600 台 (20 年度)	800 台以下	

*6 1日当たり利用者5,000人以上で高低差5m以上の駅が対象

将来像3『長寿を楽しめる社会』について

問9 横須賀市は「長寿を楽しめる社会」になっていると思いますか。

現在について、選択肢9-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢9-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢9-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢9-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない



子ども見守り隊の活動風景



すこやかんのシニア元気アップ教室



ノンステップバス

将来像4『安全で安心して暮らせる社会』 ～犯罪がないまち・災害に備えのあるまち横須賀～

⇒ 参考資料9ページ～10ページをご覧ください

『犯罪がないまち横須賀』について

問10 横須賀市は「犯罪がないまち」だと思いますか。

現在について、選択肢10-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢10-(2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢10-(1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢10-(2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

★将来像の数値目標★

指 標 名 (目標の達成度合を測るものさし)	計画策定時の 基準値	最新の数値	10年後 (平成28年度) の目標	目 標 に むかって
犯罪発生件数	4,993件 － (18年)	3,934件 1,059件減少 (20年)	1,100件減少	
町内会・自治会における 防犯パトロール実施率	57.9% (18年度)	69.4% (19年度)	100%	

『災害に備えのあるまち横須賀』について

問 11 横須賀市は「災害に備えのあるまち」だと思いますか。

現在について、選択肢 11 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 11 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢 11 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 11 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

★将来像の数値目標★

指 標 名 (目標の達成度合を測るものさし)	計画策定時の 基準値	最新の数値	10 年後 (平成 28 年度) の目標	目 標 に むかって
小中学校の耐震化率	小学校 69% 中学校 76% (18 年度)	小学校 98% 中学校 100% (20 年度)	100%	
救急救命講習受講者数	26,949 人 (17 年)	40,984 人 (20 年)	60,000 人	



自動心臓マッサージ器



学校の耐震化

将来像4『安全で安心して暮らせる社会』について

問 12 横須賀市は「安全で安心して暮らせる社会」になっていると思いますか。

現在について、選択肢 12 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢 12 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢 12 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 12 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ どちらともいえない
④ どちらかという悪くなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない



消防団 操法訓練のようす



地域防犯パトロールのようす

『元気な横須賀』（新世紀ビジョンの目標）

ここまで4つの将来像「にぎわいを生む社会」「新しい芽が伸びゆく社会」「長寿を楽しめる社会」「安全で安心して暮らせる社会」について、みなさまの実感をお聞きしました。このページでは、『新世紀ビジョン』が目指している「元気な横須賀」の実現についてお聞きします。

『元気な横須賀』について

問 13 横須賀市は「元気な横須賀」だと思いますか。

現在について、選択肢 13 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、選択肢 13 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。特になければ空欄でかまいません。

現在について

回答欄

理由

選択肢 13 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 13 - (2)

- ① 元気になっている ② どちらかという元気になっている ③ どちらともいえない
④ どちらかという元気がなくなっている ⑤ 元気がなくなっている ⑥ わからない



問 14 「元気な横須賀」を実現するために、市はどの課題から優先して取り組むべきだと思いますか。

選択肢 14 から 3 つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。

なお、⑨その他を選んだ場合は、四角の中にその内容を記入してください。

回答欄

(順不同)

⑨その他のを選んだ場合→

選択肢 14

- ① 多くの人が訪れるまち横須賀
- ② 多くの人が働くことができるまち横須賀
- ③ 子育て世代に選ばれるまち横須賀
- ④ 学びを大切にするまち横須賀
- ⑤ 高齢者が活躍するまち横須賀
- ⑥ 障害を感じさせないまち横須賀
- ⑦ 犯罪がないまち横須賀
- ⑧ 災害に備えのあるまち横須賀
- ⑨ その他

その他ご意見がありましたら、記入欄に自由にご記入ください。

(「元気な横須賀」の実現に向けたアイデア、「元気な横須賀」の実現のために不足していると思う取り組み、市政全般に対する意見など)

(記 入 欄)

～統計処理のために必要な情報ですので、全員の方がお答えください～

F 1 <性別>

- 回答欄

11

回答欄

11

回答欄

10

回答欄

11

109

地域別一覧表

(町名)	(地域別)
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町	➡ <u>①本庁地域</u>
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台	➡ <u>②追浜地域</u>
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘	➡ <u>③田浦地域</u>
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町	➡ <u>④逸見地域</u>
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎	➡ <u>⑤衣笠地域</u>
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸	➡ <u>⑥大津地域</u>
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀町、二葉、南浦賀、吉井	➡ <u>⑦浦賀地域</u>
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台	➡ <u>⑧久里浜地域</u>
粟田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘	➡ <u>⑨北下浦地域</u>
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台	➡ <u>⑩西地域</u>

本アンケートの感想などがありましたら、自由にご記入ください。

別冊：返送不要

新世紀ビジョン市民アンケート

参 考 資 料

-
- ◇ この冊子は、アンケートにお答えいただく際に参考にしていただくためのものです。
 - ◇ この冊子を返送する必要はありません。
-

『新世紀ビジョン』策定の趣旨・目的

横須賀には、先人たちが守り育ててきた、丘陵部の緑や美しい海岸線に代表される、豊かな自然があります。また、三浦一族の活躍やペリーの来航、日本の近代化の礎を築いた横須賀製鉄所の建設など、時代の時どきに果たしてきた役割、培った文化、歴史があります。これらの自然環境や歴史は、私たちが受け継いできた貴重な財産であり、市民が横須賀らしさを感じ、郷土を愛する源です。これらの財産を子や孫といったこれからの世代にも引き継いでいきたいというのは、市民をはじめ横須賀にゆかりのある方すべてに共通する思いであり、市政運営の基本でもあります。

横須賀市は、平成 19 年（2007 年）2 月に市制施行 100 周年を迎え、新たな世紀に向けて歩み出す大きな節目にあたり、単に財産を引き継ぐだけではなく、市民が実感できる「元気な横須賀」を創り、より良いまちをこれからの世代に伝えていくために『新世紀ビジョン』を策定しました。

『新世紀ビジョン』では、目指すべき将来像として、「にぎわいを生む社会」「新しい芽が伸びゆく社会」「長寿を楽しめる社会」「安全で安心して暮らせる社会」の 4 つを掲げ、これらの将来像を実現することで、市民はこの暮らしの中から「いいね、よこすか」と思い、その暮らしぶりに市外の方々がふれたとき、「いいね、よこすか」とあこがれるまちになり、これこそが市民が実感できる「元気な横須賀」であるとしています。



ペリー艦隊久里浜上陸の図



住友重機械工業（株）浦賀工場跡地

将来像1

『にぎわいを生む社会』

- ◎多くの人が訪れるまち横須賀
- ◎多くの人が働くことができるまち横須賀

将来像2

『新しい芽が伸びゆく社会』

- ◎子育て世代に選ばれるまち横須賀
- ◎学びを大切にするまち横須賀

元気な 横須賀

将来像3

『長寿を楽しめる社会』

- ◎高齢者が活躍するまち横須賀
- ◎障害を感じさせないまち横須賀

将来像4

『安全で安心して暮らせる社会』

- ◎犯罪がないまち横須賀
- ◎災害に備えのあるまち横須賀



新たに栈橋が整備された猿島



横須賀芸術劇場

将来像1 『にぎわいを生む社会』

～多くの人が訪れるまち・多くの人が働くことができるまち横須賀～

活気に溢れる場所は、誰にでも魅力的に映ります。

その魅力が、人を呼び寄せ、そこに商いが生まれ、多くの人が働き、そしてまた人が集うという好循環を創り出します。

つまり、にぎわいは、横須賀の力になります。



横須賀美術館



ヨコスカネイビーバーガー

そこで、目指すべき将来像の一つ目を、「にぎわいを生む社会」とし、人々が輝き、行き交うまちの姿を目指します。

新世紀ビジョンでは『にぎわいを生む社会』を実現するための施策の方向性として「多くの人が訪れるまち横須賀」「多くの人が働くことができるまち横須賀」の2つを掲げています。

多くの人が訪れるまち横須賀

将来像を実現するための約束
来訪者を増やします

◆ 20 年度の主な市の取り組み

- ☆ 本市の魅力として下記の取り組みを広域的に発信し、交流人口の増加による地域経済の活性化と横須賀のイメージアップを図りました。
 - ・ YOKOSUKA 軍港めぐり（1 日平均乗船者数 185.8 人）
 - ・ ヨコスカネイビーバーガー（平日 約 300 食、土日・祝日 約 800 食 10 店舗合計）
- ☆ 20 代から 30 代の結婚・出産・子育て期の世帯を対象とした定住促進策を実施しました。
 - ・ ファーストマイホーム応援制度（申請 363 件）
 - ・ スイートホーム応援制度（申請 30 件）
- ☆ 横須賀美術館に 24 万 6 千人の来館者がありました。
- ☆ 「エコミュージアム猿島」として猿島を積極的に活用しました。猿島への来場者は過去最高となる 10 万 1,577 人になりました。
- ☆ よこすか開国祭を開催し、35 万 2 千人の来場者がありました。

多くの人が働くことができるまち横須賀

将来像を実現するための約束
働く場を増やします

◆ 20 年度の主な市の取り組み

- ☆ 市内の雇用状況を好転させるため、民間企業 3 社と協定を締結し、合同会社説明会を開催しました。（平成 20 年度開催回数 6 回）
- ☆ 新たに市内に立地する企業や、既存企業の設備投資拡大を支援しました。この制度を活用し、新たに 3 社が立地し、2 社が設備投資を行ったことに伴い、186 人の雇用拡大効果がありました。

将来像2 『新しい芽が伸びゆく社会』 ～子育て世代に選ばれるまち・学びを大切にするまち横須賀～

次世代を担う子どもたちは、横須賀の大切な宝です。

だからこそ、社会全体でその成長を見守り、喜びを分かち合っていくべきものではないでしょうか。



外国人教員による英語授業のようす



愛らんどよこすか

そこで、目指す将来像の二つ目を、「新しい芽が伸びゆく社会」とし、子どもたちの声がまちのあちこちに響いているような姿を目指します。

新世紀ビジョンでは『新しい芽が伸びゆく社会』を実現するための施策の方向性として「子育て世代に選ばれるまち横須賀」「学びを大切にするまち横須賀」の2つを掲げています。

子育て世代に選ばれるまち横須賀

将来像を実現するための約束
多様な子育てサービスを提供します

◆ 20 年度の主な市の取り組み

- ☆ 出張型妊産婦おしゃべりサロンや料理教室の開催回数を増やすなど、妊産婦に対する育児支援を強化しました。
- ☆ 市民病院助産師外来の回数（2回→3回）や1回あたりの時間（30分→45分）を増やすなど、きめ細かな対応を行いました。
- ☆ 小児医療費の一部助成について、所得制限を緩和しました。
- ☆ 民間保育園1園が新たに開設されました。
- ☆ 公立保育園全園で保育時間の延長を行いました。（7:30～18:30→7:00～19:00）
- ☆ 療育相談センターを開設し、発達障害や遅れがある児童の療育支援を充実しました。
- ☆ 安全な出産のために、妊婦健康診査の公費負担回数の拡充（2回→5回）や、検診項目の追加を行いました。

学びを大切にするまち横須賀

将来像を実現するための約束
魅力ある学校をつくります

◆ 20 年度の主な市の取り組み

- ☆ 特別支援学級介助員配置校の増（25校→28校）および介助員の配置日数の増（5,000日→5,625日）など、支援や配慮が必要となる幼児児童生徒への支援の拡充を図りました。
- ☆ 中学校への訪問相談員の配置を拡充するなど、不登校の児童生徒に対して、よりきめ細かい支援ができる体制を図りました。
- ☆ 幼稚園・保育園児、小学生、中学生へのブックリストの配布を行うなど、子どもたちが容易に本と出会うことのできる環境を整備しました。（平成20年度配布数 33,046冊）
- ☆ 市立学校（小・中・高）全校にALT（Assistant of Language Teacher：外国語指導助手）を配置し、ネイティブスピーカーと直接触れ合う時間を増やしました。
- ☆ 子どもたちの文化への関心を高めるため、子どものための親子コンサート（参加人数358人）と、子どもを対象とした歴史、伝統・生活文化、音楽の各講座（参加人数86人）を開催しました。

将来像3 『長寿を楽しめる社会』 ～高齢者が活躍するまち・障害を感じさせないまち横須賀～

わが国は、数年後には、いわゆる団塊の世代が65歳を超え、国民の4人に1人が65歳以上の高齢者になるといわれており、横須賀市も例外ではありません。このことは、マイナスであるかのようにいわれていますが、高齢者は、豊かな知識や技術、経験を持つ、横須賀の財産です。

これらの方々が活躍できなければ、「元気な横須賀」とはいえません。



そこで、目指す将来像の三つ目を、「長寿を楽しめる社会」とし、誰もが生き生きと活躍できるようなまちの姿を目指します。

新世紀ビジョンでは『長寿を楽しめる社会』を実現するための施策の方向性として「高齢者が活躍するまち横須賀」「障害を感じさせないまち横須賀」の2つを掲げています。

高齢者が活躍するまち横須賀

将来像を実現するための約束
健康寿命を延ばします

◆ 20 年度の主な市の取り組み

- ☆ 40 歳から 74 歳の国民健康保険の被保険者を対象に、生活習慣病の予防に重点を置いた特定健康診査を実施しました。
- ☆ 市民一人ひとりが自主的な健康管理意識を持ち、生活習慣病の予防や健康増進に努めるための各種事業を実施しました。
 - ・ 健康づくり教室の開催（開催回数：62 回、参加人数：1,569 人）
 - ・ 健康づくりリーダー育成講座（食生活コース・運動コース）の開催
- ☆ 高齢者に対する介護予防を推進するための各種事業を実施しました。
 - ・ 高齢者運動機能向上教室（シニアはつらつ教室・水中ウォーキング教室・体力づくり教室 他）の開催
 - ・ 栄養改善教室、口腔機能改善教室（男性料理教室・お口元気教室 他）の開催
 - ・ 尿失禁予防（キュキュッと）教室の開催
- ☆ 高齢者の生活を支援するための社会環境整備、普及啓発を行いました。
 - ・ 認知症サポーター養成講座の開催
 - ・ よこすか市民後見人の養成
- ☆ 寄付者が支援したい特定非営利活動法人（NPO 法人）や活動分野を選ぶことができる基金を設置しました。

障害を感じさせないまち横須賀

将来像を実現するための約束
バリアフリーを進めます

◆ 20 年度の主な市の取り組み

- ☆ 京急追浜駅、JR 衣笠駅のエレベーター設置に対する助成を行いました。
- ☆ ノンステップバスの導入に対して助成しました。（平成 20 年度 12 台）
- ☆ だれもが安心して移動できるようにするため、交差点などの歩道の段差改善を 55 カ所、点字ブロックの設置を 78 カ所行いました。

将来像4 『安全で安心して暮らせる社会』 ～犯罪がないまち・災害に備えのあるまち横須賀～

これまで、三つの将来像を示してきましたが、これらを実現するためには、安全で安心して暮らせるまちであることが必要だと考えています。つまり、安全と安心は、元気な横須賀の基本です。



子ども見守り隊



高度救助隊

そこで、四つ目の将来像を、
「安全で安心して暮らせる社会」とし、暮らしの中で不安を感じることはないまちの姿を目指します。

新世紀ビジョンでは『安全で安心して暮らせる社会』を実現するための施策の方向性として「犯罪がないまち横須賀」「災害に備えのあるまち横須賀」の2つを掲げています。

犯罪がないまち横須賀

将来像を実現するための約束
犯罪を減らします

◆ 20 年度の主な市の取り組み

- ☆ 安心して暮らせる地域社会を実現するため、安全・安心まちづくりモデル地区への助成を行いました。（桜が丘 1 丁目自治会、湘南鷹取防犯対策委員会）
- ☆ 犯罪を未然に防ぐため、町内会や自治会が設置する防犯カメラの費用を助成しました。（平成 20 年度 ハイランド地区 7 台）
- ☆ 防犯力を高め、児童等の安全を確保するため、公立保育園全園に防犯カメラを設置（12 台）するとともに、私立保育園が設置する防犯カメラの費用を助成（15 園）しました。

災害に備えのあるまち横須賀

将来像を実現するための約束
災害に対する施設の強度を高めます

◆ 20 年度の主な市の取り組み

- ☆ 全国瞬時警報システム（J-ALERT）の整備や津波ハザードマップの作製など、災害時の安全を確保するために必要な情報提供の充実を図りました。
- ☆ 校舎等耐震補強工事を行い、校舎の耐震化率は小学校 98%、中学校 100%となりました。
- ☆ 普通救命講習会、上級救命講習会などを行い、新たに 5,328 人が応急手当に関する知識や技術を身につけました。
- ☆ 災害時の備えとして、断水時にも使用できる携帯トイレセット（112 万 5 千回分）、安全な避難誘導を行うための拡声器（33 個）やヘッドライト（110 個）などを整備しました。